

第351回

地震調査委員会 資料

2020年12月9日

GNSS 関連資料の見方

1. 解析の種類

GEONET では、軌道暦と解析に用いるデータの組合せにより最終解(F3)、速報解(R3)、迅速解(Q3)の3種類の解析を実施しています(下表参照)。1日間のデータは UTC の 0:00~23:59 で解析しています。各解析の詳細につきましては、国土地理院時報 118 集(2009)をご参照下さい。
(<http://www.gsi.go.jp/REPORT/JIHO/vol118-main.html>)

表 解析の種類による軌道暦等の違い

解析の種類	軌道暦	解析に用いるデータ	解の間隔	解析結果
F3 (最終解)	IGS 最終暦	24 時間分	1 日	2~3 週間後
R3 (速報解)	IGS 速報暦	24 時間分	1 日	2 日後
Q3 (迅速解)	IGS 超速報暦	6 時間分	3 時間	約 3 時間後

2. 電子基準点の保守

電子基準点の安定運用を図るため保守及び器材の更新を実施しています。その際、受信機やアンテナの機種を変更することにより、F3解等の解析結果にオフセットが生じることがあります。この場合、F3解を基にオフセット量を算出し、資料作成時に補正を行っています。なお、変動ベクトル図・変動ベクトルの差の図では、この補正を行った観測点を白抜き矢印で表示し、未補正の観測点は表示から外しています。

国土地理院で行っているオフセット補正の詳細につきましては、国土地理院時報 118 集(2009)(GPS 連続観測システム(GEONET) 解析結果に生じる人為的要因によるオフセットの補正手法について <http://www.gsi.go.jp/common/000054719.pdf>)をご参照下さい。

3. 2 期間の地殻水平変動ベクトルの差—〇〇—

期間①の変動ベクトルと期間②の変動ベクトルの差を表示しています(下図参照)。

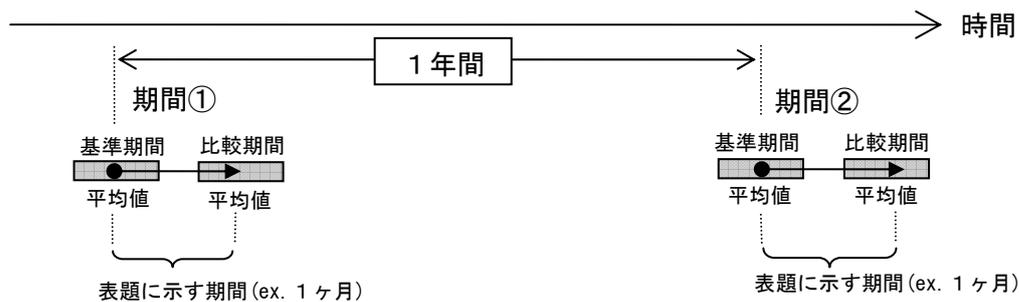
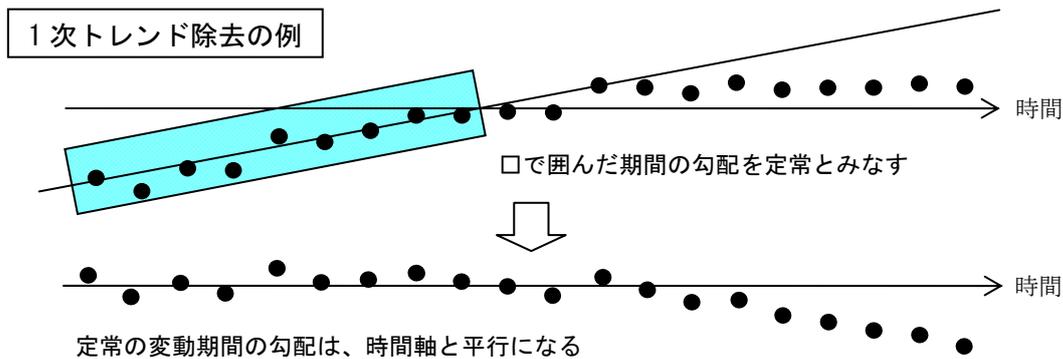


図 「2 期間の地殻水平変動ベクトルの差」の説明

4. 1 次トレンド・年周・半年周成分除去

より詳細な変動を見るために、定常の変動とみなした期間における 1 次トレンド・年周・半年周の成分を推定し、全期間から差し引いています。これにより、非定期的な変動を見やすくすることができます。定常とみなした期間は「計算期間」として、グラフ及びベクトル図に表示しています。



5. 基線ベクトル成分の速度

余効変動のような緩やかな非定常変動の推移を見積もる方法として、基線ベクトル成分の速度をプロットしています。基線ベクトル成分の速度は、指定された日数（下図の例では60日間）の変化の1次トレンドとして計算し、計算期間の中間日にプロットしています。この計算を1日ずつずらしてグラフにしています。

更に定常とみなした変動からの離れ具合を表すために、グラフ内の左上に「Linear Trend (期間)」として示す期間について基線ベクトル成分の変化から、1次トレンド、年周・半年周成分を推定し、得られた1次トレンドの値を平均的な速度として一定の値の横棒で表しています。



6. 移転

移転した電子基準点は、移転前の点と別個の点として扱われます。そのため、地殻変動観測の継続性を保つために、移転前・移転後の座標時系列を結合して資料を作成しています。この場合、時系列グラフには移転した点の名前と移転日の注記を入れています。

7. R3及びQ3における解析時の固定点について

R3解析及びQ3解析では解析固定点をノミナルな値に固定して解析していますが、解析固定点の実際の座標値がノミナル値から大きくずれると全国の観測点の解析結果に系統的な誤差が生じます。このため、平成23年東北地方太平洋沖地震後は、変動が生じた茨城県の「つくば1」(92110)に代えて、鹿児島県の「与論」(950495)を解析固定点としてきました。平成24年9月に、「与論」にデータの欠測が生じたため、9月20日からは、データ取得がより安定している福岡県の「前原」(950450)に再度解析固定点を変更しています。

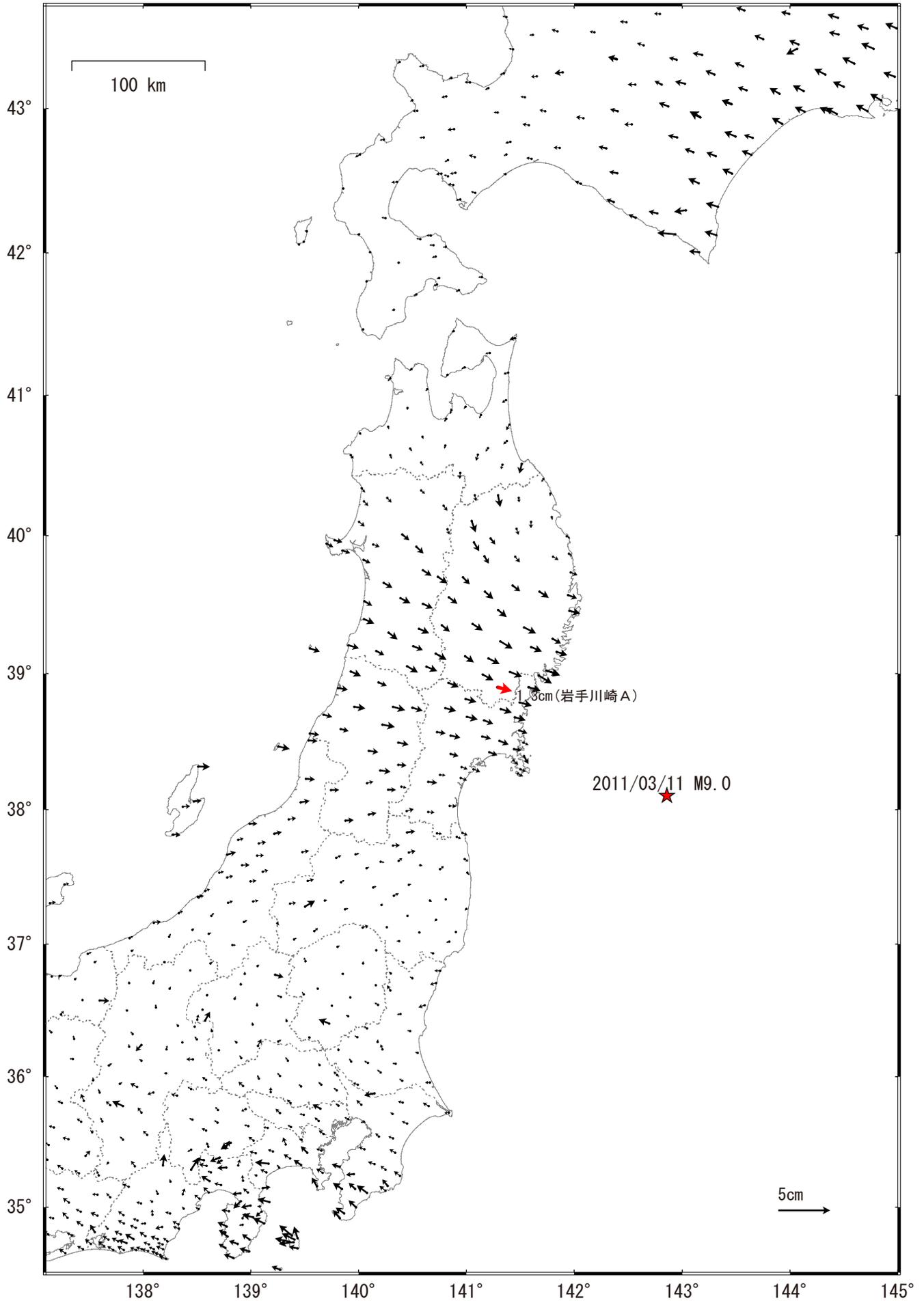
解析固定点の変更により、座標値に見かけ上の差が生じますが、通常、基線成分の変化を見ることでその差は相殺されます。1000kmを超えるような長距離基線では、最大で数ミリのずれが残ることがあります。

東北地方太平洋沖地震 (M9.0) 後の地殻変動 (水平) - 3か月 -

東北地方を中心に東向きの変動が見られる。

基準期間 : 2020/07/04 -- 2020/07/10 [F3 : 最終解]

比較期間 : 2020/10/04 -- 2020/10/10 [F3 : 最終解]



固定局 : 福江 (長崎県)

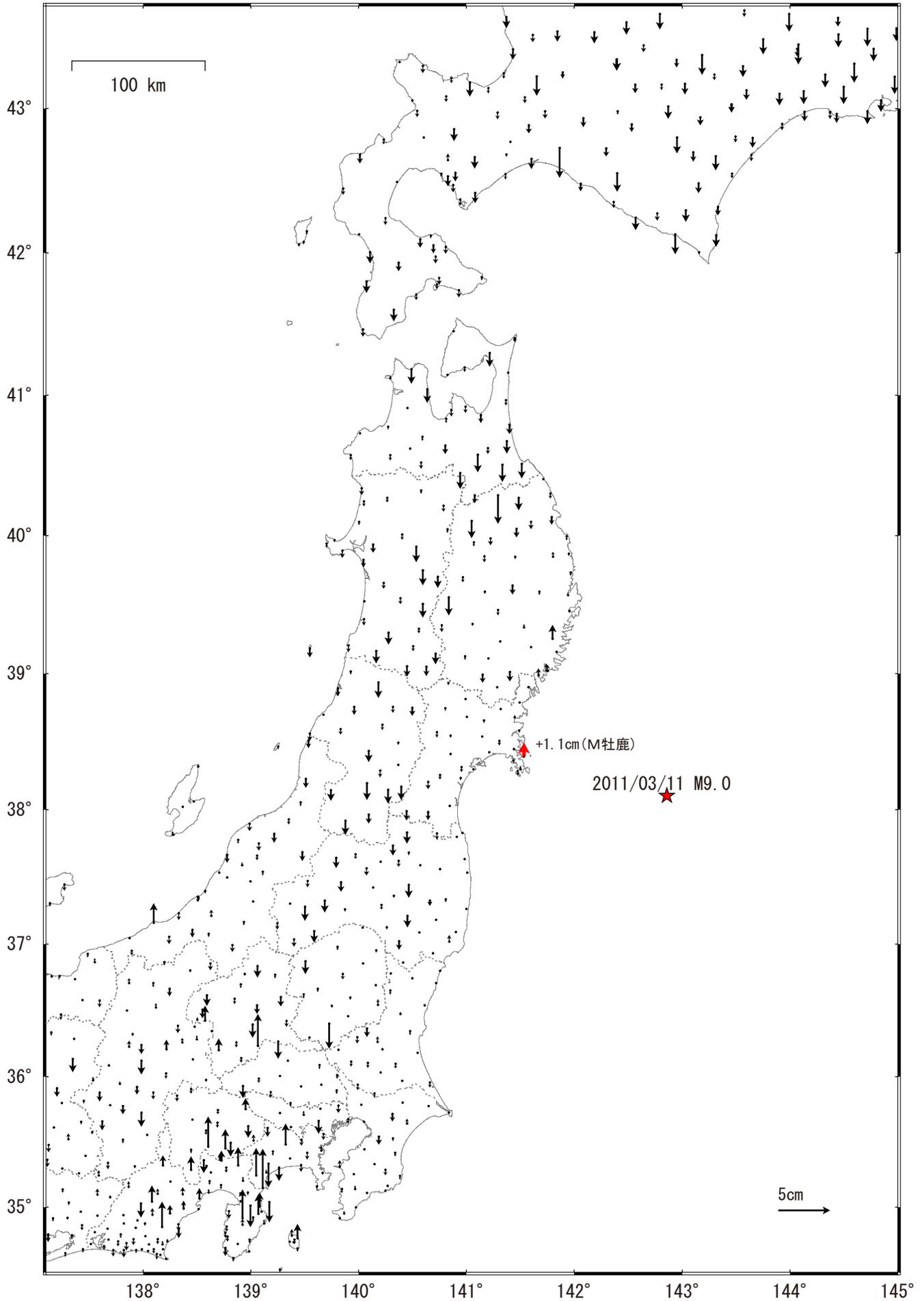
国土地理院

東北地方太平洋沖地震 (M9.0) 後の地殻変動 (上下) - 3か月 -

ノイズレベルを超える変動は見られない。

基準期間 : 2020/07/04 -- 2020/07/10 [F3 : 最終解]

比較期間 : 2020/10/04 -- 2020/10/10 [F3 : 最終解]



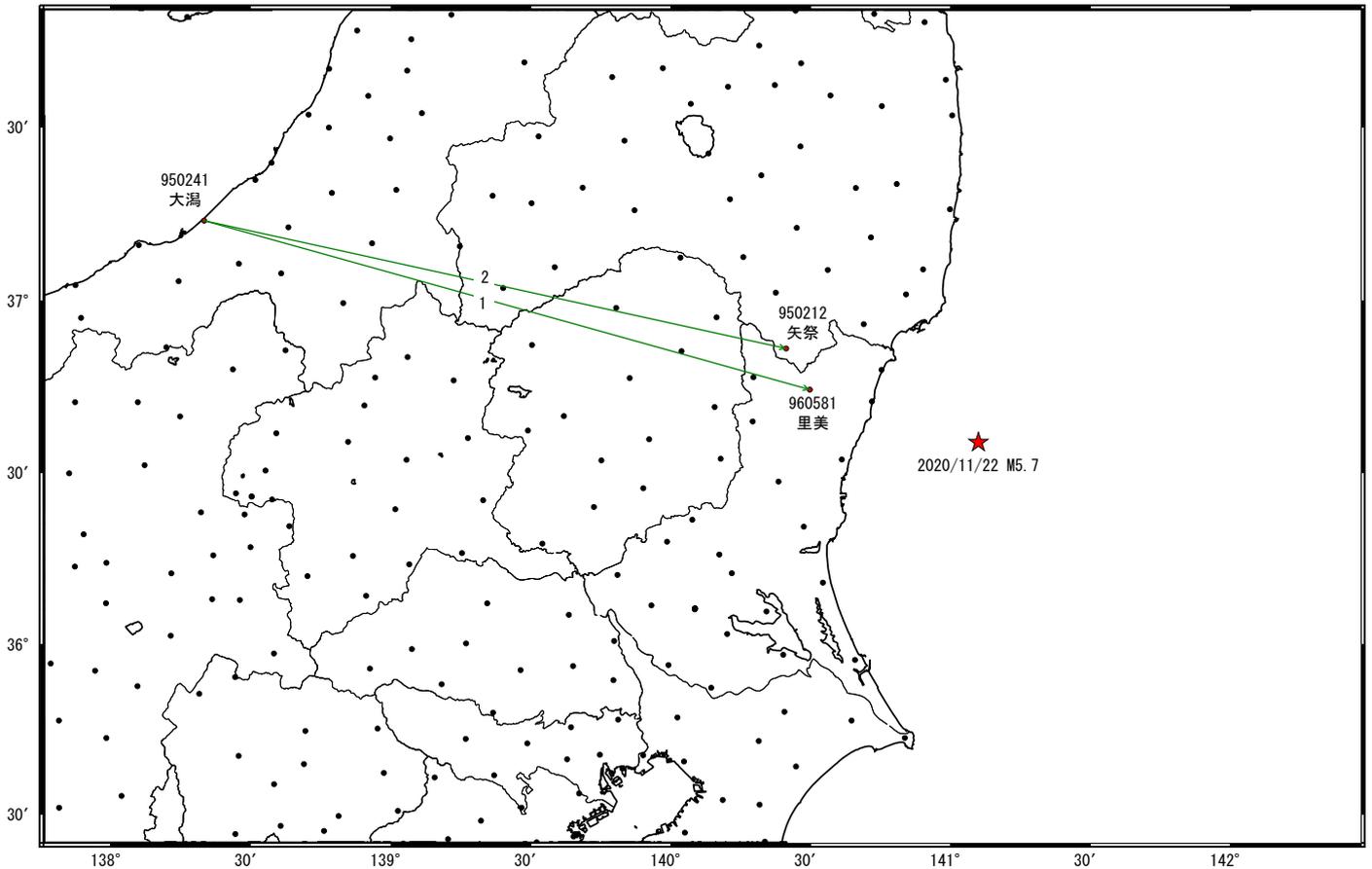
固定局 : 福江 (長崎県)

国土地理院

茨城県沖の地震(11月22日 M5.7)前後の観測データ (暫定)

この地震に伴う明瞭な地殻変動は見られない。

基線図

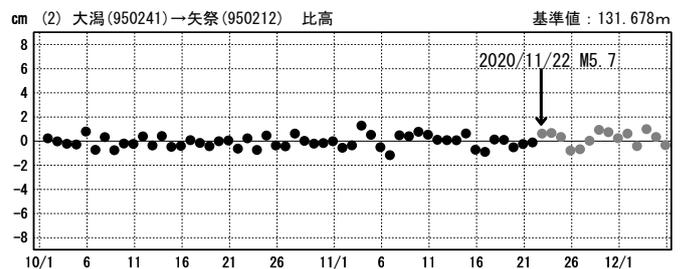
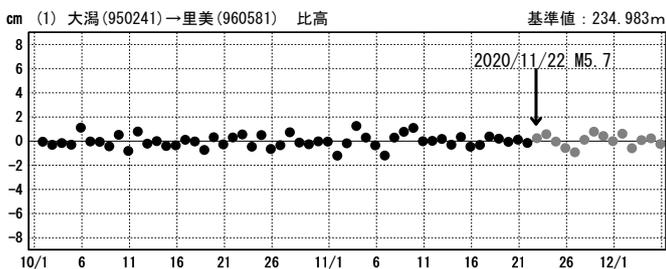
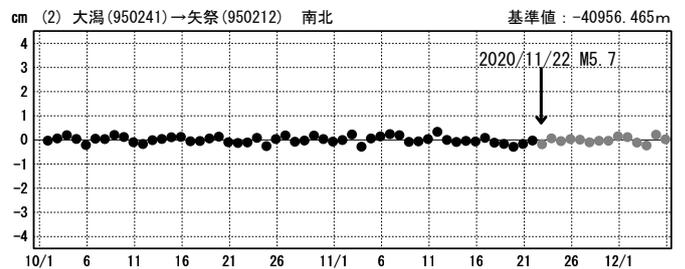
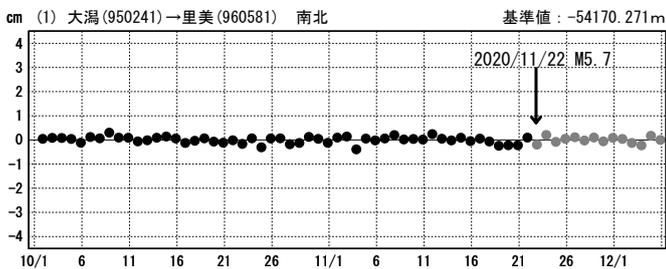
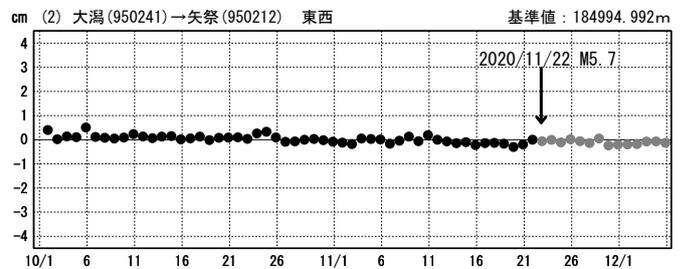
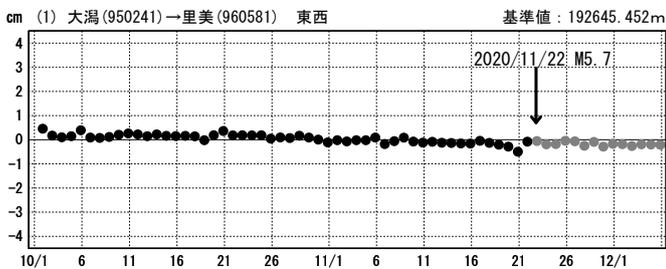


★震央

成分変化グラフ

期間: 2020/10/01~2020/12/05 JST

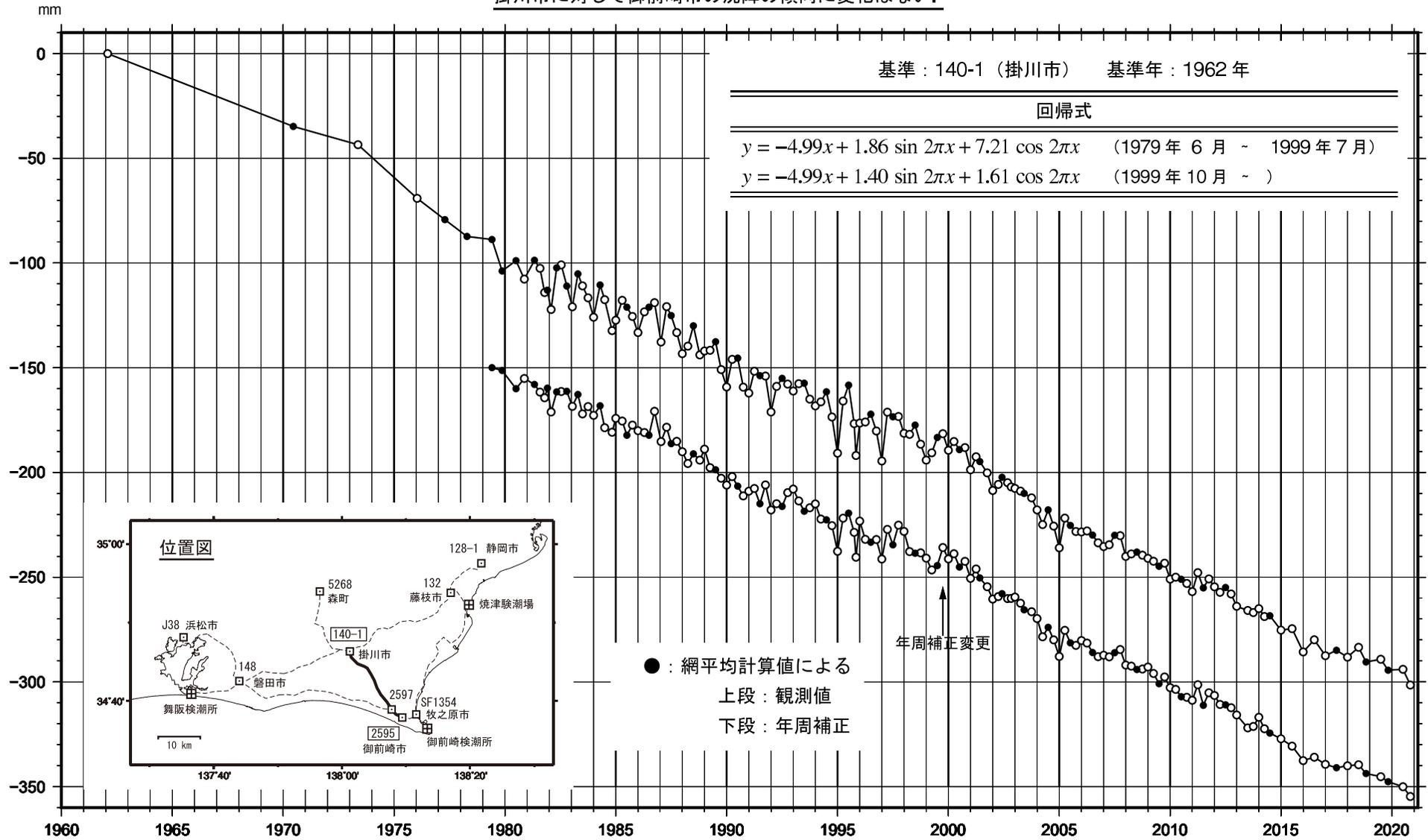
期間: 2020/10/01~2020/12/05 JST



●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

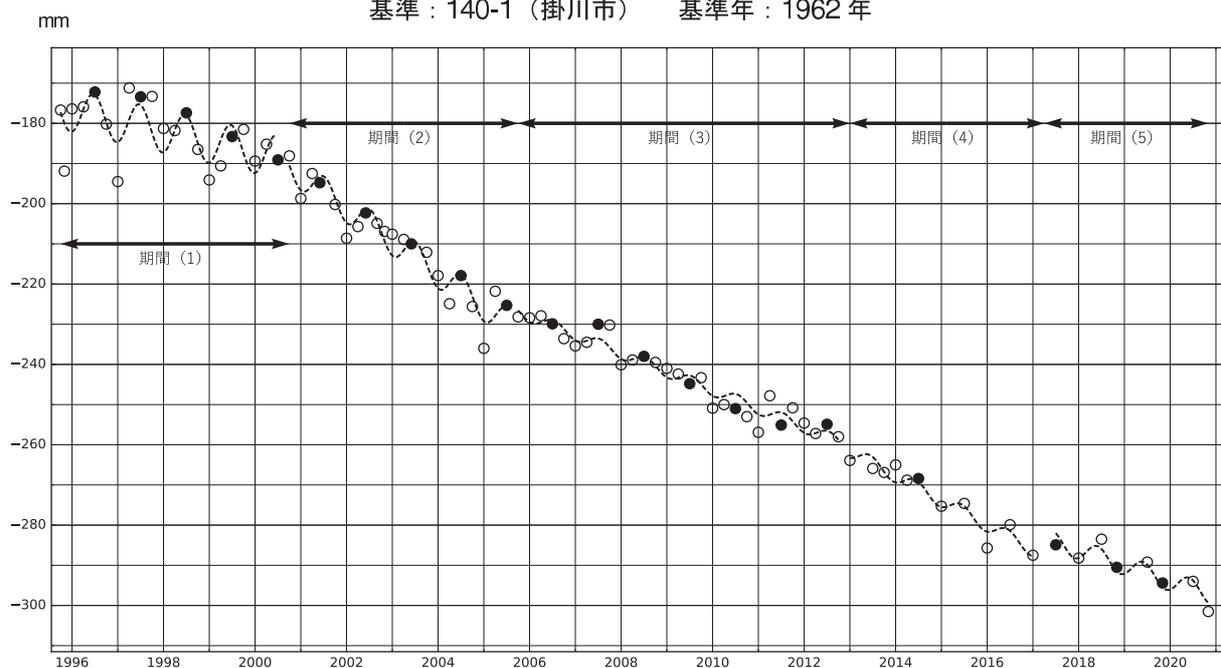
水準点 2595（御前崎市）の経年変化

掛川市に対して御前崎市の沈降の傾向に変化はない。



水準点 2595（御前崎市）の経年変化 スロースリップイベント期間で分けた回帰モデル

基準：140-1（掛川市） 基準年：1962年



- ・ スロースリップイベントの (1) 開始以前, (2) 進行期, (3) 停止期, (4) 進行期, (5) 停止以降の 5 期間でそれぞれ回帰モデルを推定している.
- ・ (1)~ (5) の各期間の 1 次トレンド+年周を破線で表示している.

No.	期間	傾き (mm/yr)	振幅 (mm)	位相 (deg)	標準偏差 (mm)
期間 (1)	1995 年 10 月 - 2000 年 7 月	-2.57	5.37	-79.0	5.39
期間 (2)	2000 年 10 月 - 2005 年 7 月	-8.15	3.80	-95.7	3.24
期間 (3)	2005 年 10 月 - 2012 年 10 月	-4.60	1.45	-103.6	2.53
期間 (4)	2013 年 1 月 - 2017 年 3 月	-6.12	1.74	-70.5	2.09
期間 (5)	2017 年 4 月 - 2020 年 11 月	-3.93	2.48	-58.5	1.64

期間 (2)~ 期間 (5) の拡大図



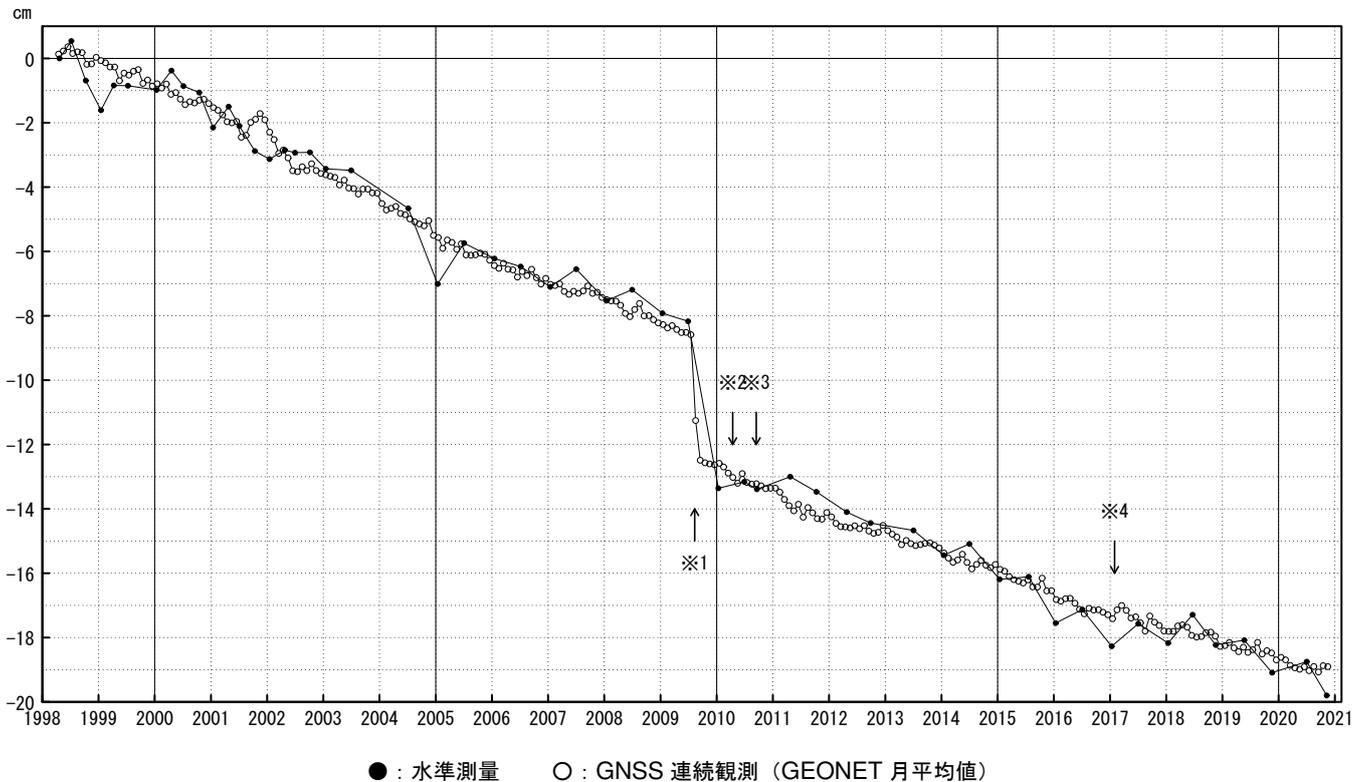
- ・ 各期間の回帰モデル (1 次トレンド+年周) を実線で表示している.
- ・ 回帰モデルからの残差による標準偏差を破線で示している.

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

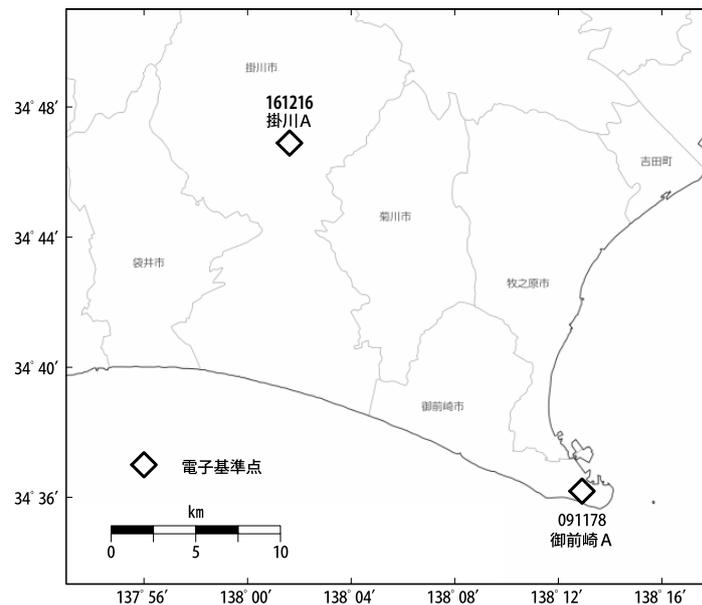
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



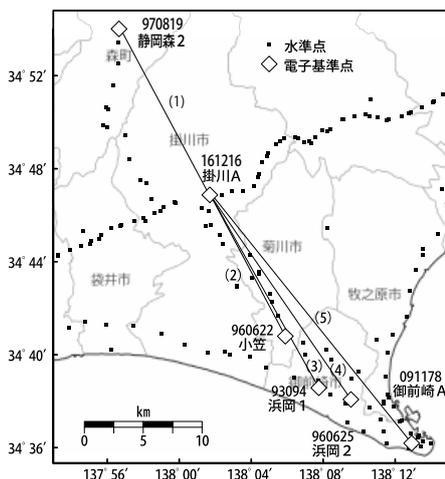
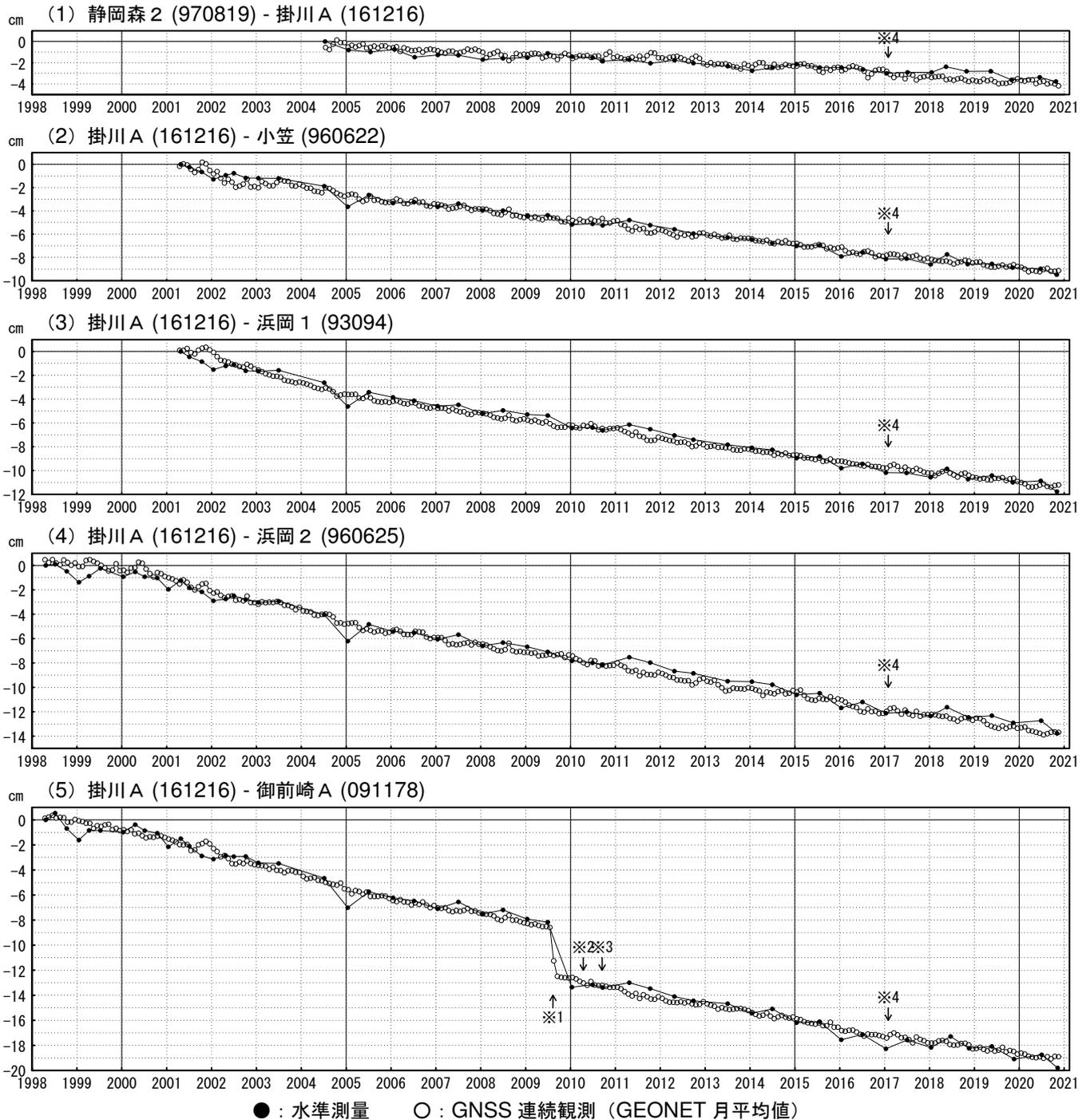
・ 最新のプロット点は 11/01~11/07 の平均。

- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



御前崎 電子基準点の上下変動 水準測量とGNSS連続観測

従来の傾向に変化は見られない。



- 水準測量による結果は、最初のプロット点の値を 0cm として描画している。
- GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F3: 最終解) から計算した値の月平均値。最新のプロット点は 11/01~11/07 の平均。
- GNSS 連続観測による結果については、水準測量の全期間との差が最小となるように描画している。

- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※ 4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。

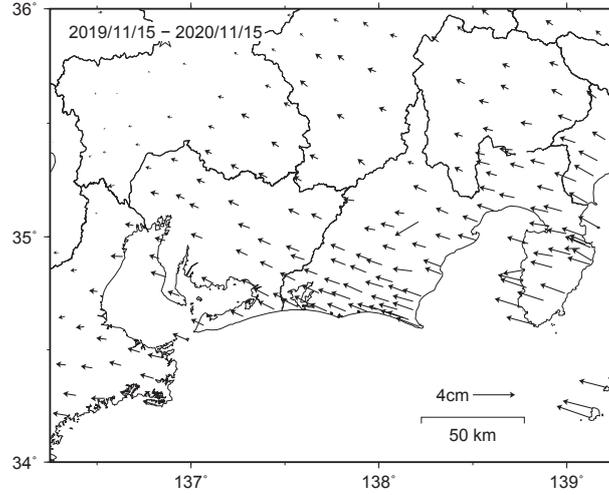
国土地理院

東海地方の水平地殻変動【固定局：白鳥】

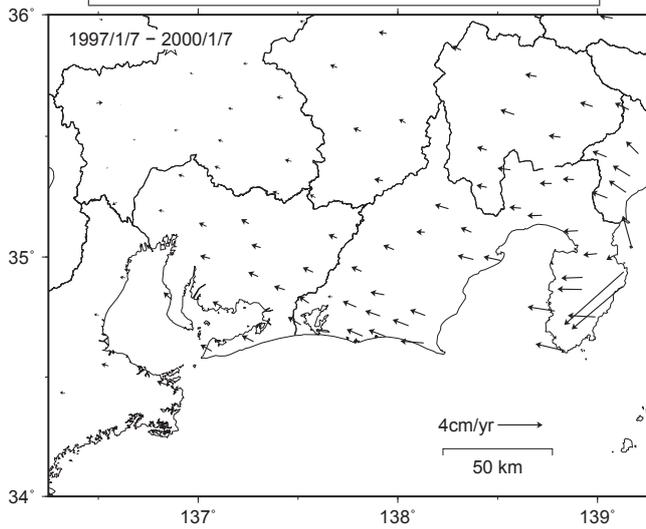
(2019 年 11 月 ~ 2020 年 11 月)

基準期間 : 2019/11/09 - 2019/11/21 [F3 : 最終解]

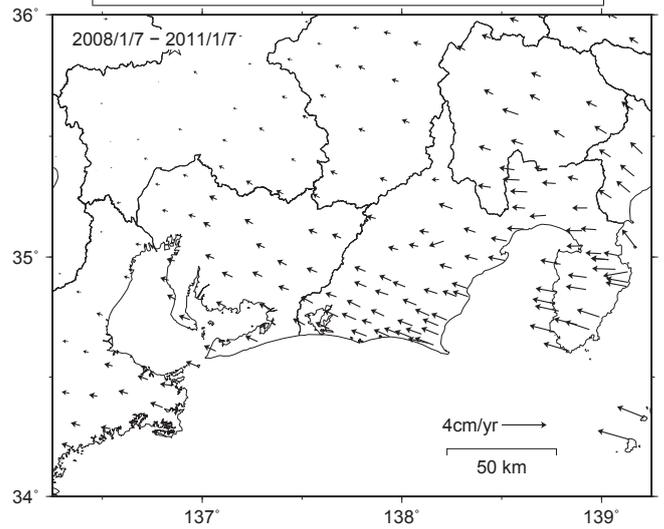
比較期間 : 2020/11/09 - 2020/11/21 [R3 : 速報解]



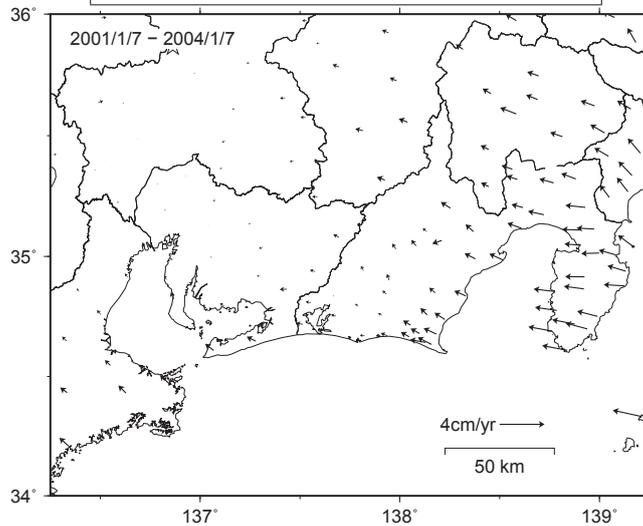
スロースリップ発生前の水平地殻変動速度
(1997年1月~2000年1月)



スロースリップ終息後の水平地殻変動速度
(2008年1月~2011年1月)

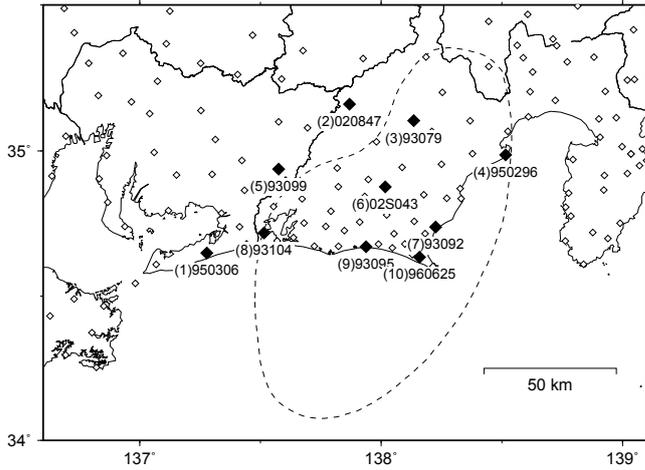


スロースリップ進行期の水平地殻変動速度
(2001年1月~2004年1月)

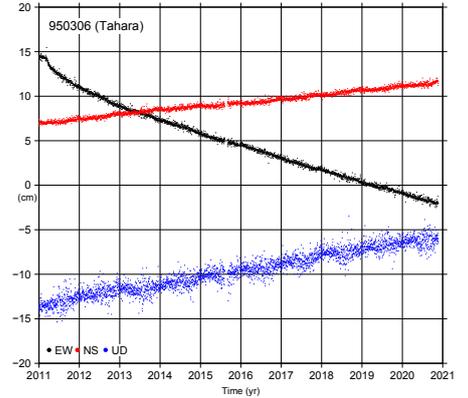


東海地方の地殻変動時系列【固定局：白鳥】

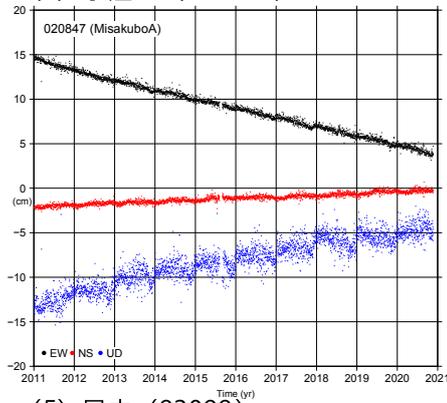
速報解含む 2011/1/1 - 2020/11/21



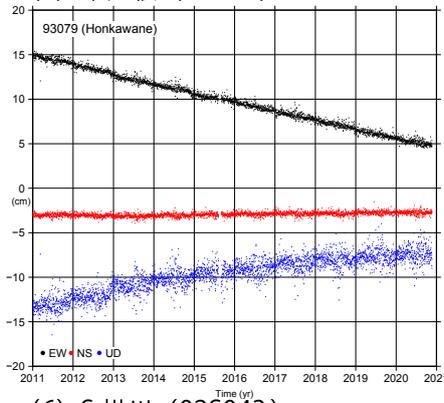
(1) 田原 (950306)



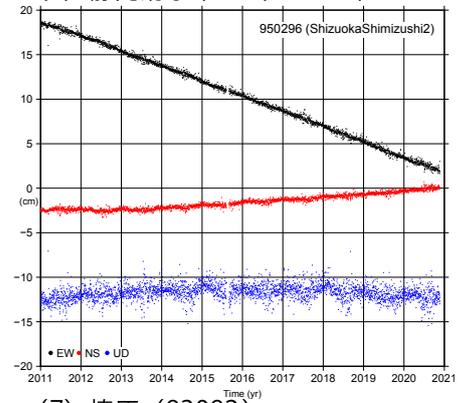
(2) 水窪 A (020847)



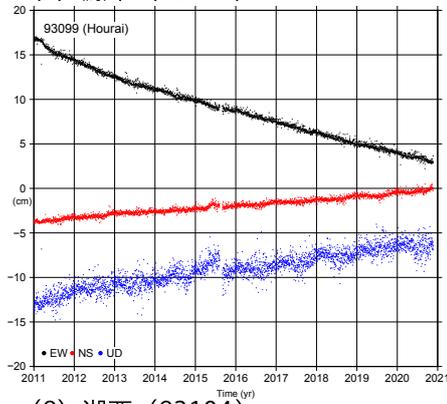
(3) 本川根 (93079)



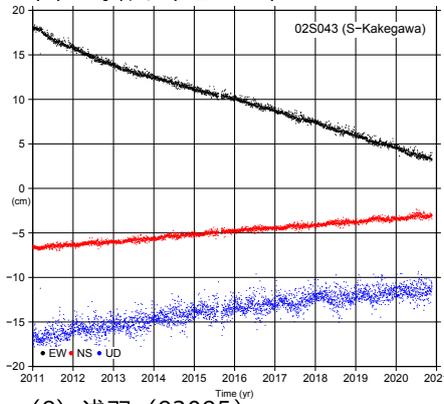
(4) 静岡清水市 2 (950296)



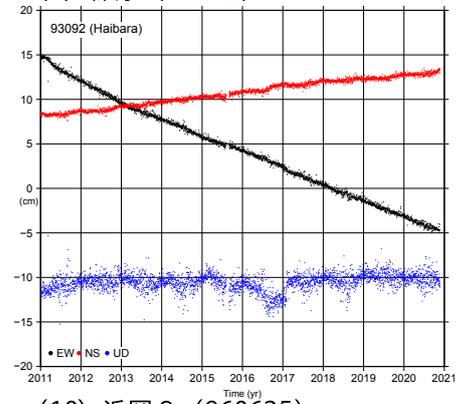
(5) 鳳来 (93099)



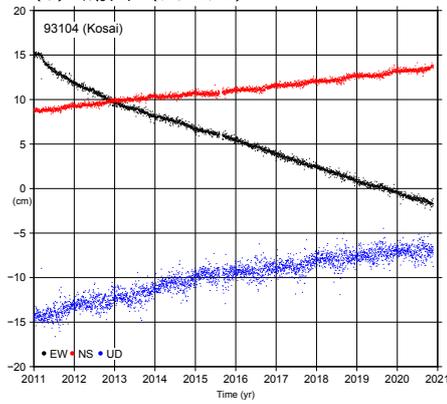
(6) S掛川 (02S043)



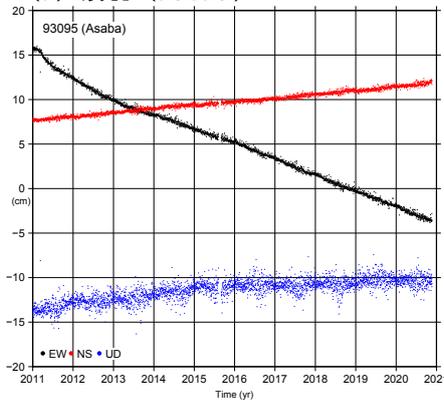
(7) 榛原 (93092)



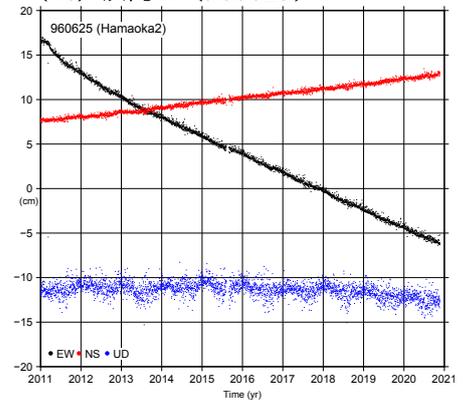
(8) 湖西 (93104)



(9) 浅羽 (93095)



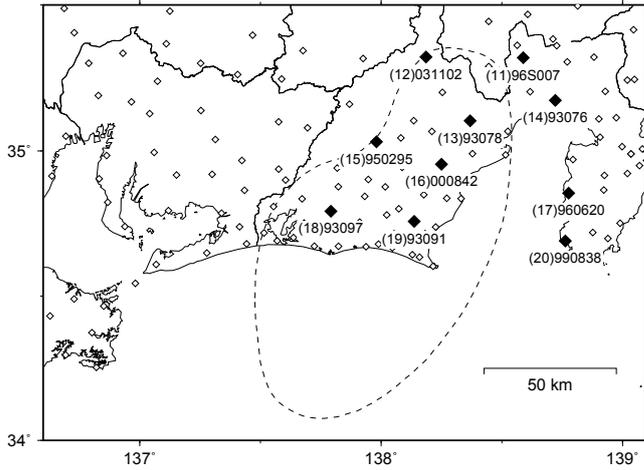
(10) 浜岡 2 (960625)



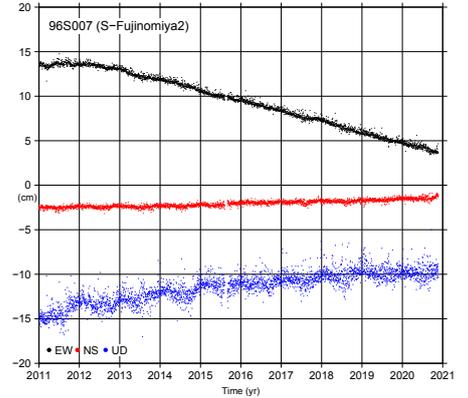
・平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いている。

東海地方の地殻変動時系列 2 【固定局：白鳥】

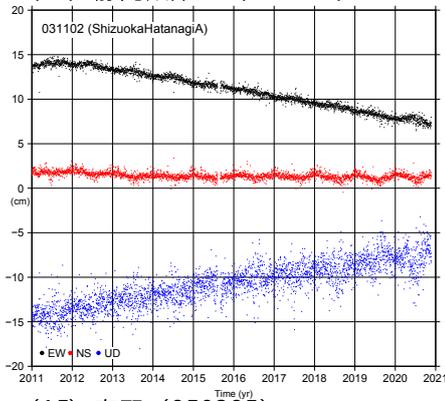
速報解合む 2011/1/1 - 2020/11/21



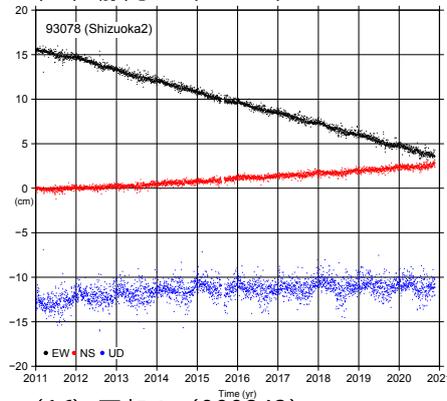
(11) S富士宮 2 (96S007)



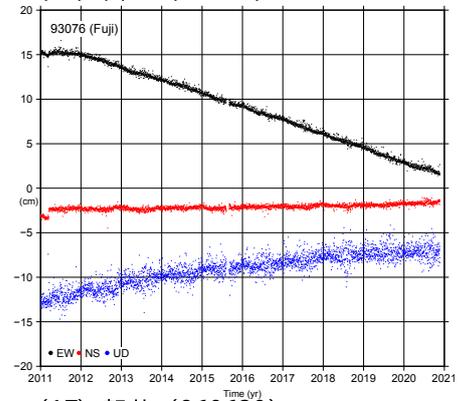
(12) 静岡畑薙 A (031102)



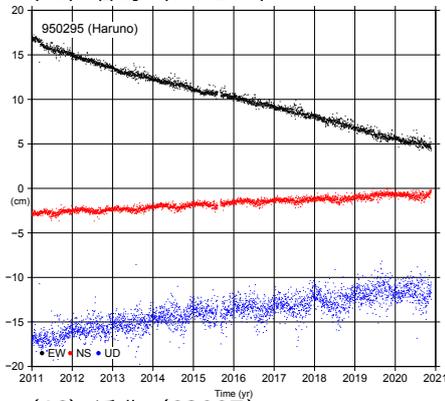
(13) 静岡 2 (93078)



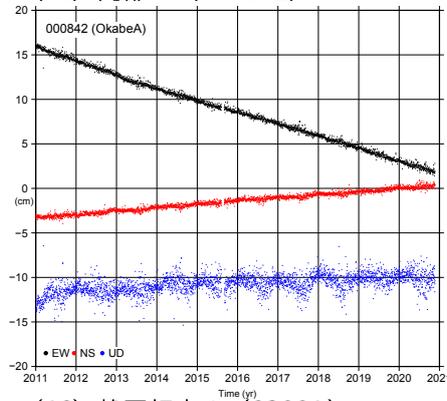
(14) 富士 (93076)



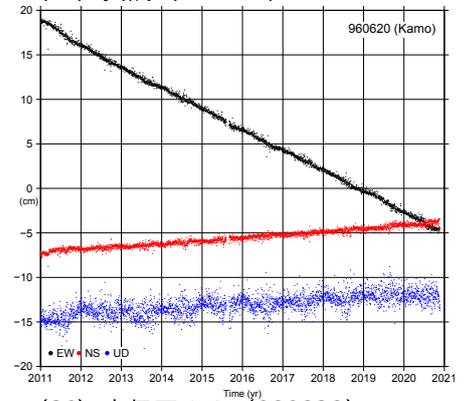
(15) 春野 (950295)



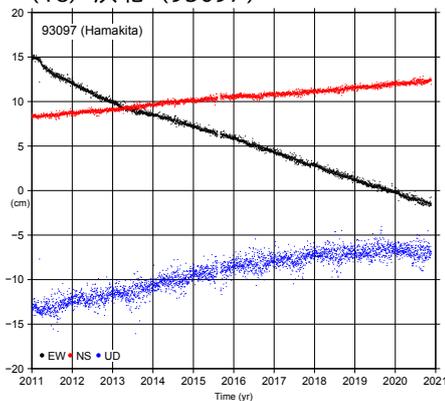
(16) 岡部 A (000842)



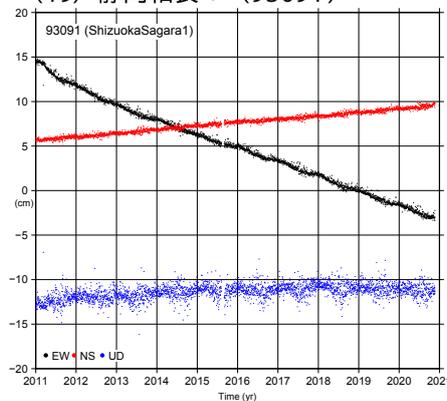
(17) 賀茂 (960620)



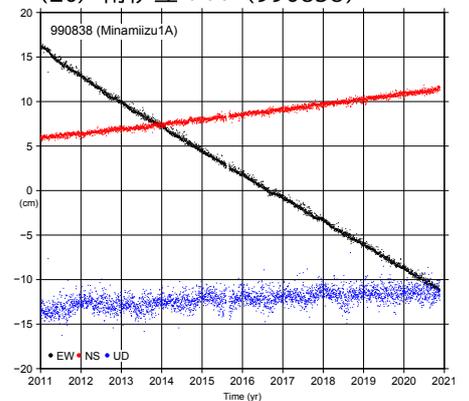
(18) 浜北 (93097)



(19) 静岡相良 1 (93091)

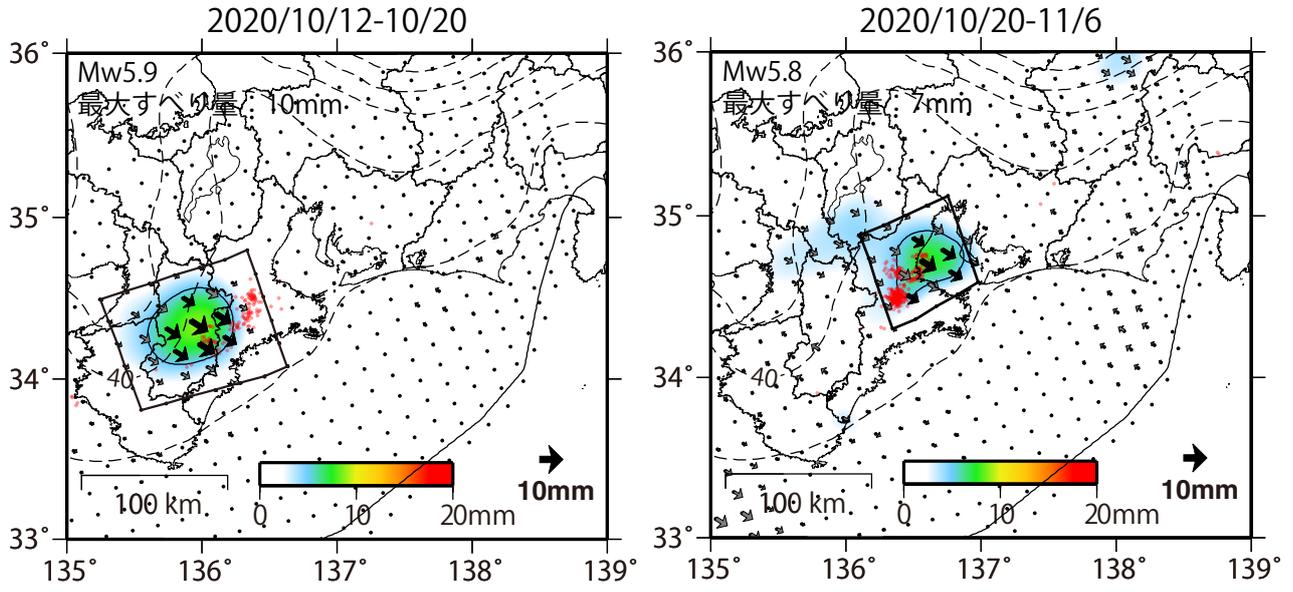


(20) 南伊豆 1 A (990838)



・平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いている。

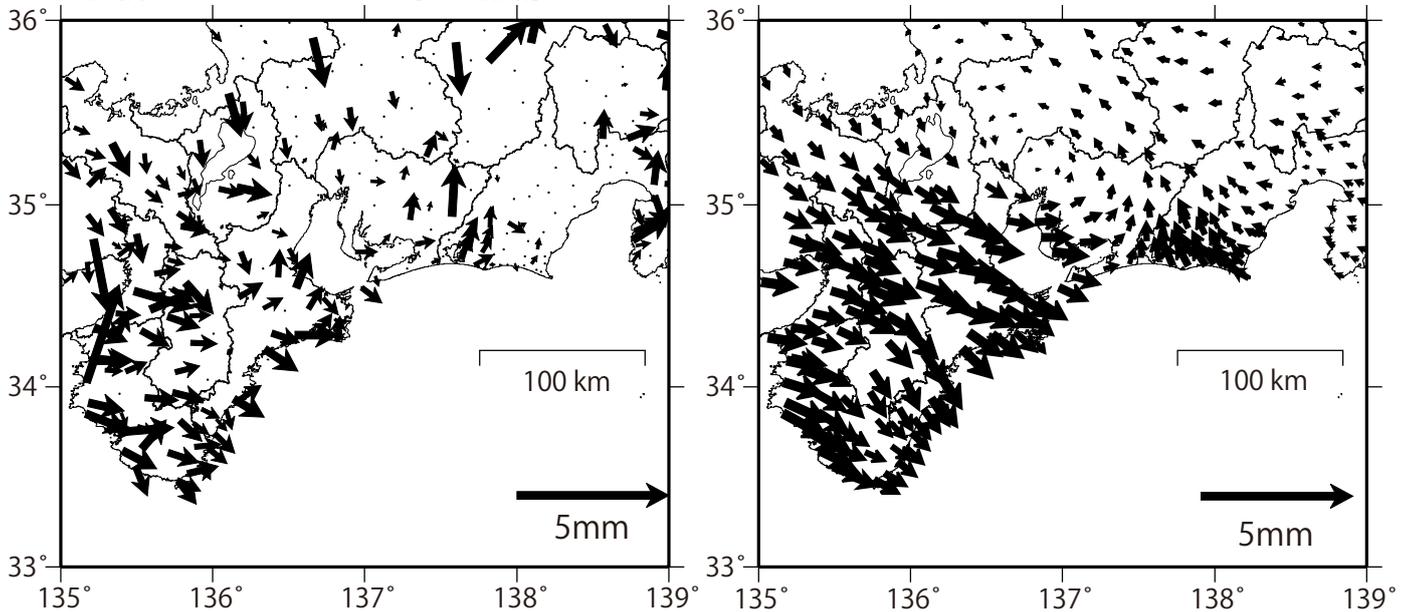
GNSSデータから推定された
紀伊半島北部の深部低周波微動と同期したスロースリップ(暫定)



観測

計算

基準期間：2020/09/1～2020/10/14 [F3：最終解]
比較期間：2020/10/24～2020/11/8 [R3：速報解]



解析に使用した全観測点の座標時系列から、共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。
また、基準期間と比較期間の間のオフセットをRamp関数で推定し、AICで有意でない成分及び西向き成分は除外している。
2期間の合算の変動を示している。

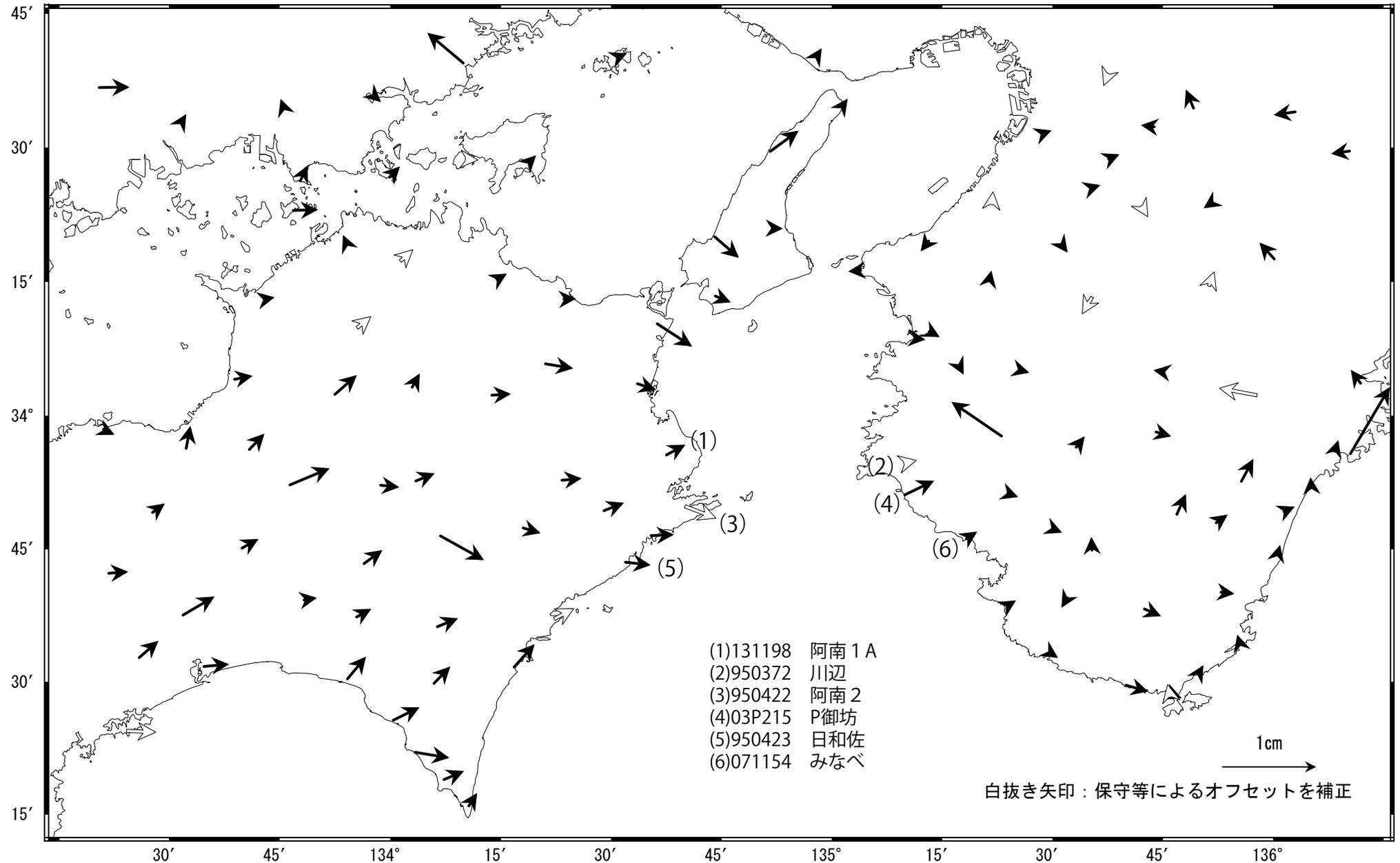
解析に使用した観測点の範囲：概ね北緯33.4～36°、東経135～139°
使用データ：F3解(2020/9/1 - 2020/10/17)+R3解(2020/10/18 - 2020/11/8)
トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1 (年周・半年周成分は2017/1/1 - 2020/11/8のデータで補正)
モーメント計算範囲：上段の図の黒枠内側
黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他、2007)
すべり方向：プレートの沈み込む方向と平行な方向に拘束
赤丸：低周波地震(気象庁一元化震源)
コンター間隔：5mm
固定局：三隅

紀伊半島西部・四国東部の非定常水平地殻変動(1次トレンド・年周期・半年周期除去後)

基準期間: 2020/05/29~2020/06/04 [F3: 最終解]

比較期間: 2020/11/25~2020/12/01 [R3: 速報解]

計算期間: 2017/01/01~2017/12/31

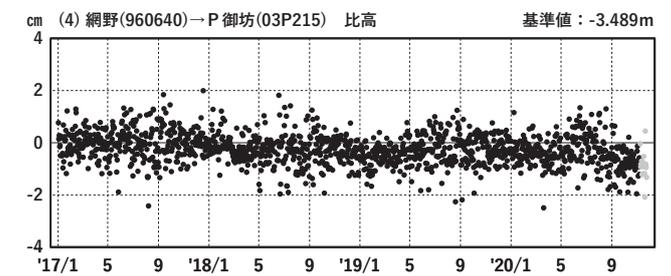
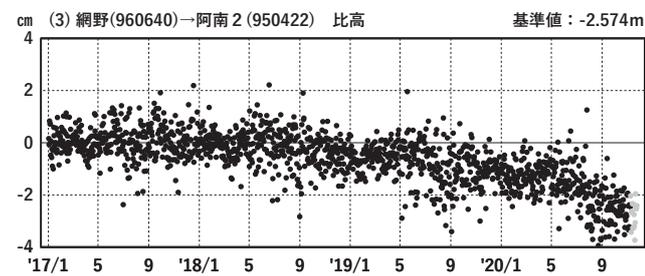
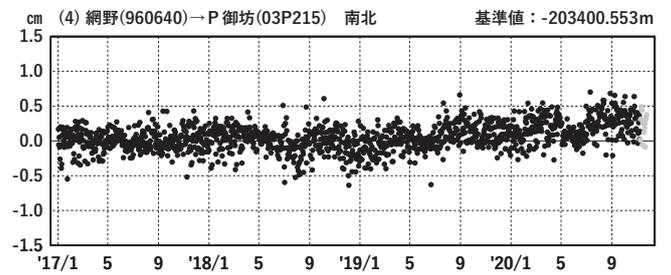
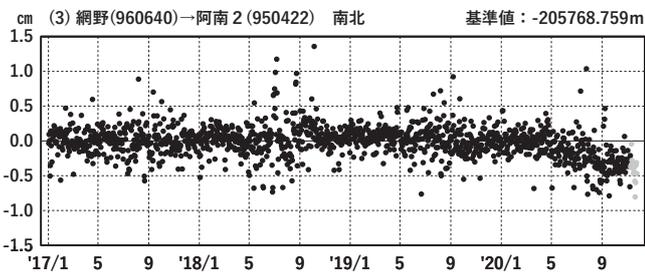
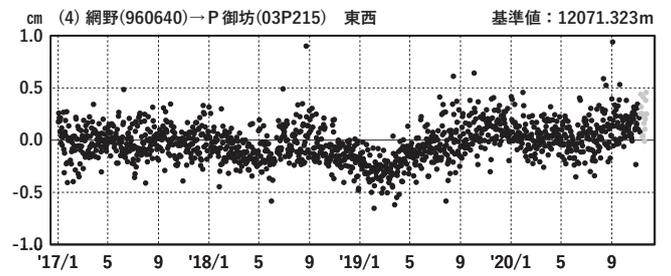
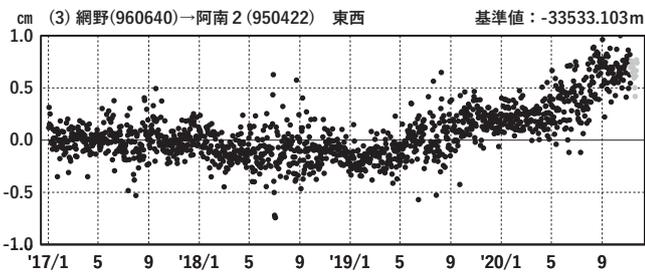
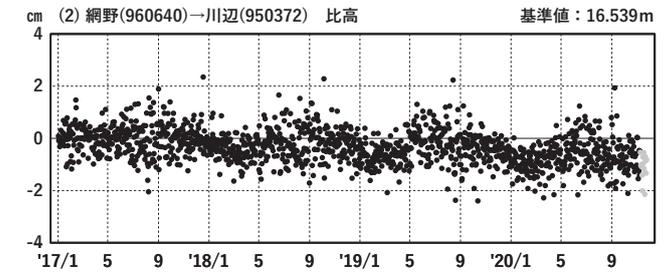
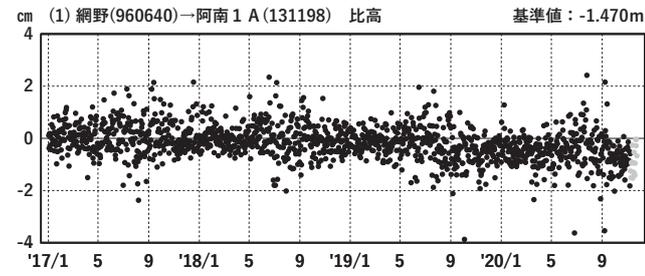
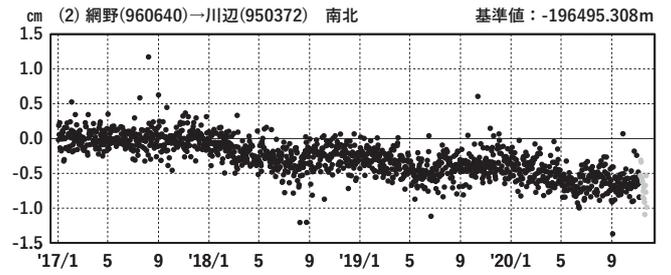
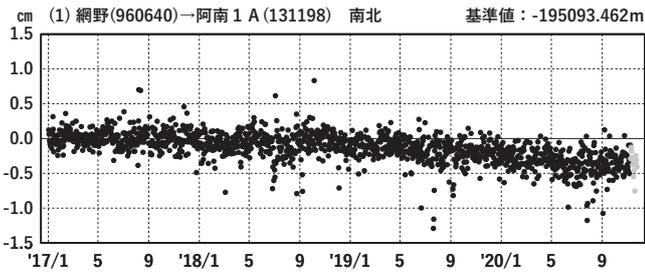
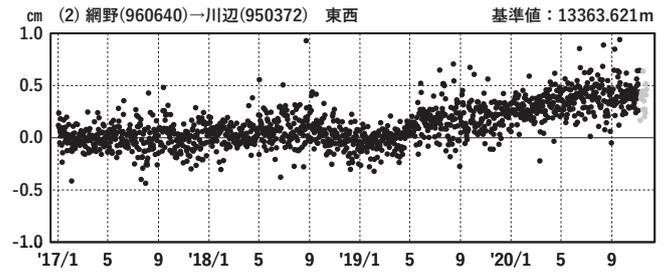
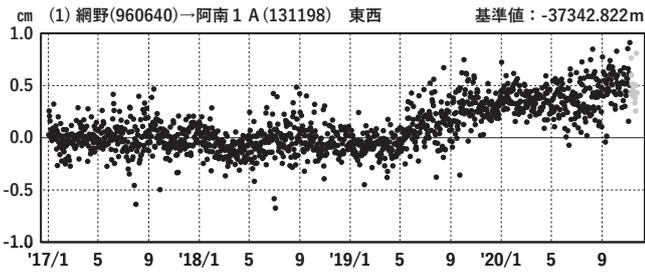


紀伊半島西部・四国東部 G N S S 連続観測時系列 (1)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

期間: 2017/01/01~2020/11/24 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01



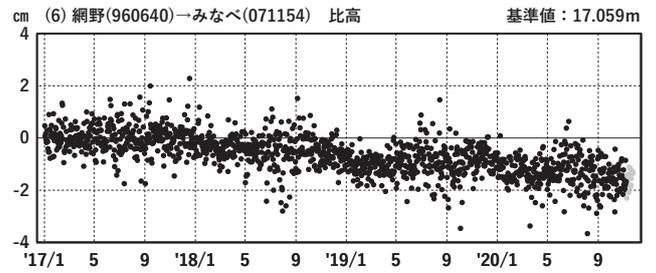
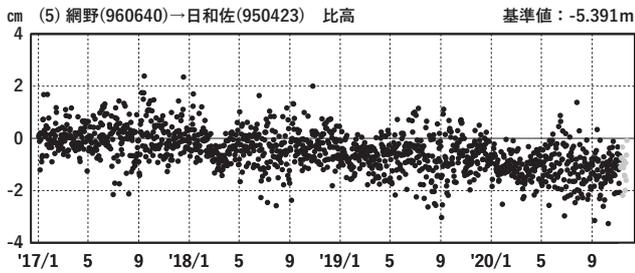
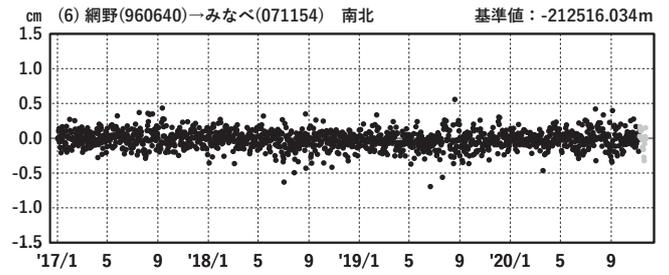
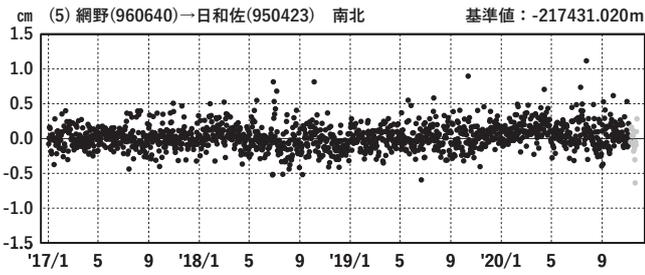
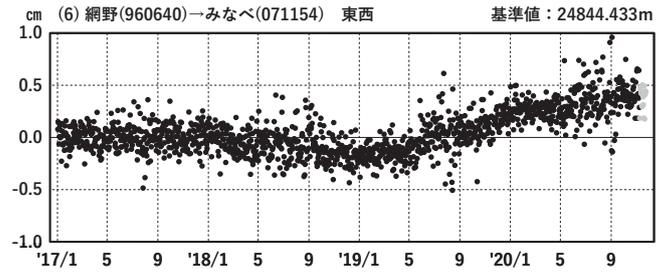
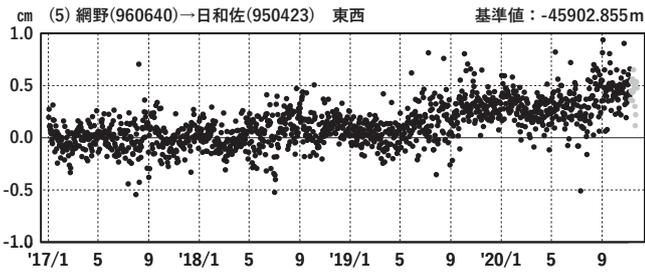
●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

紀伊半島西部・四国東部 G N S S連続観測時系列 (2)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

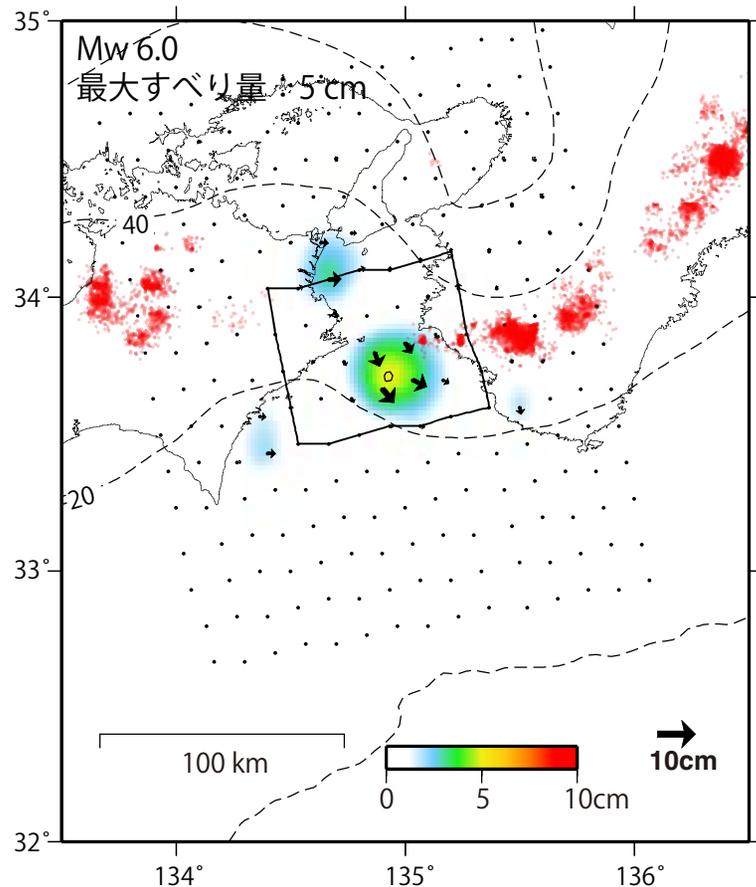
期間: 2017/01/01~2020/11/24 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

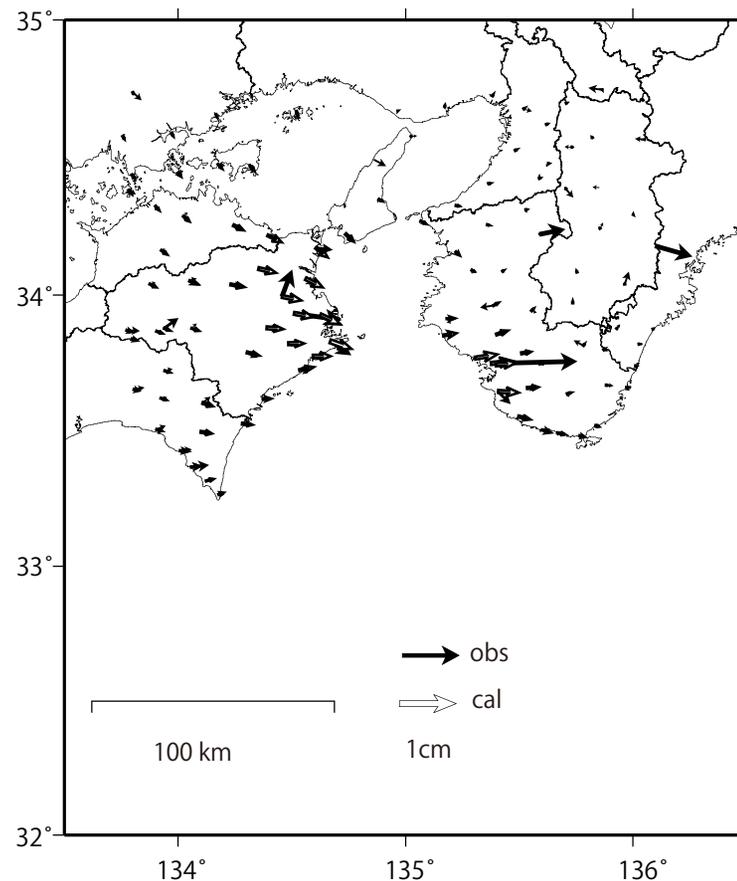


GNSSデータから推定された
紀伊水道の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布
(2020/6/1 - 2020/11/14)



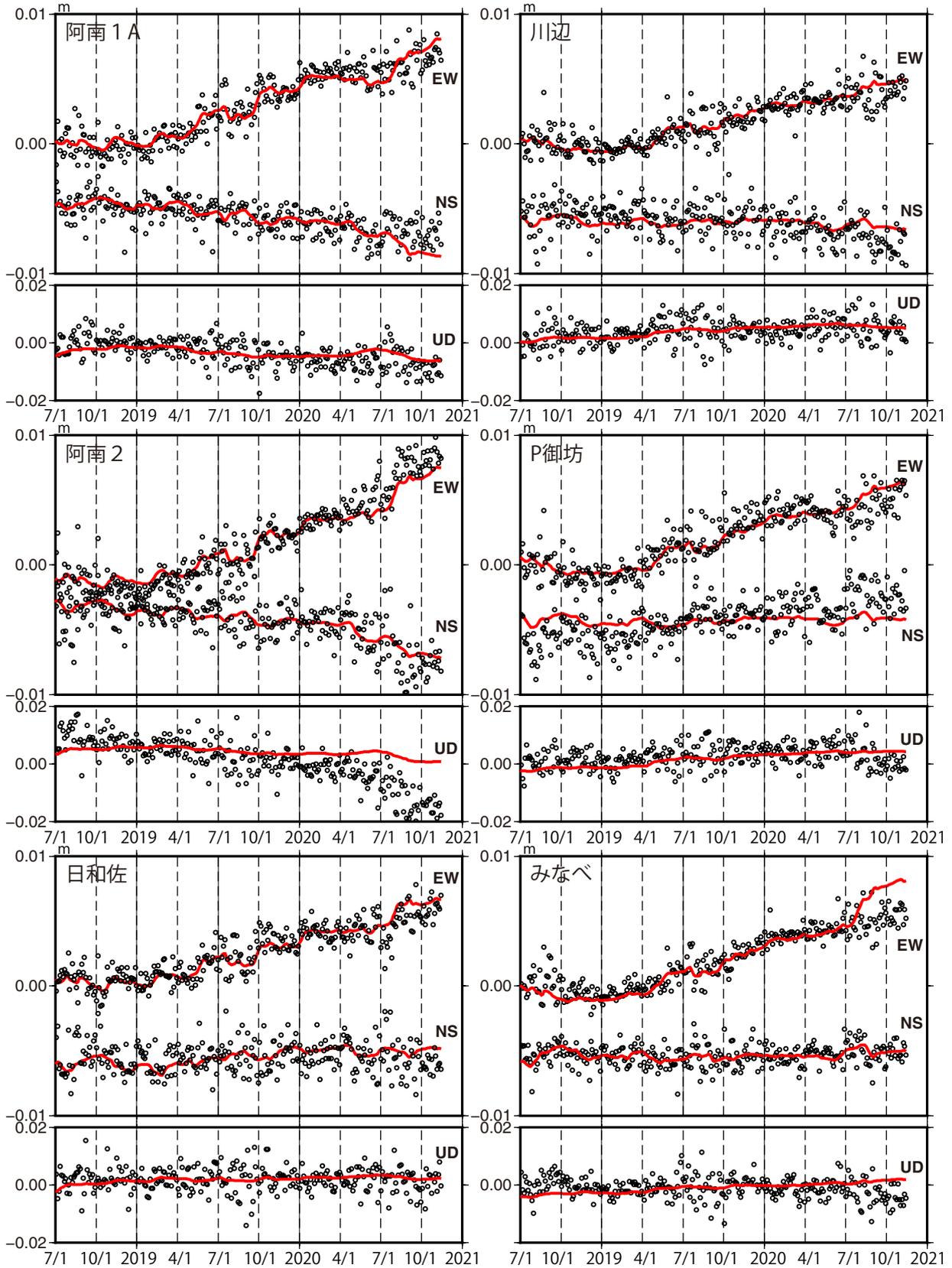
観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2020/6/1 - 2020/11/14)



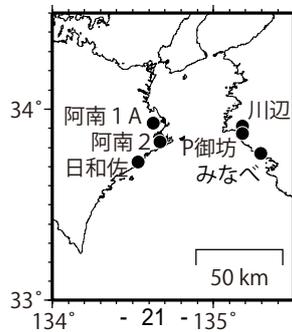
使用データ：F3解 (2018/1/1 - 2020/11/3) + R3解 (2020/11/4 - 2020/11/14) ※電子基準点の保守等による変動は補正済み
 トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1 (年周・半年周成分は2017/1/1 - 2020/11/14のデータで補正)
 モーメント計算範囲：左図の黒枠内側
 観測値：3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
 黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線 (弘瀬・他、2007)
 すべり方向：東向きから南向きの範囲に拘束
 赤丸：低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間：2019/1/1 - 2019/12/31)
 固定局：網野

紀伊水道地域の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

時間依存のインバージョン

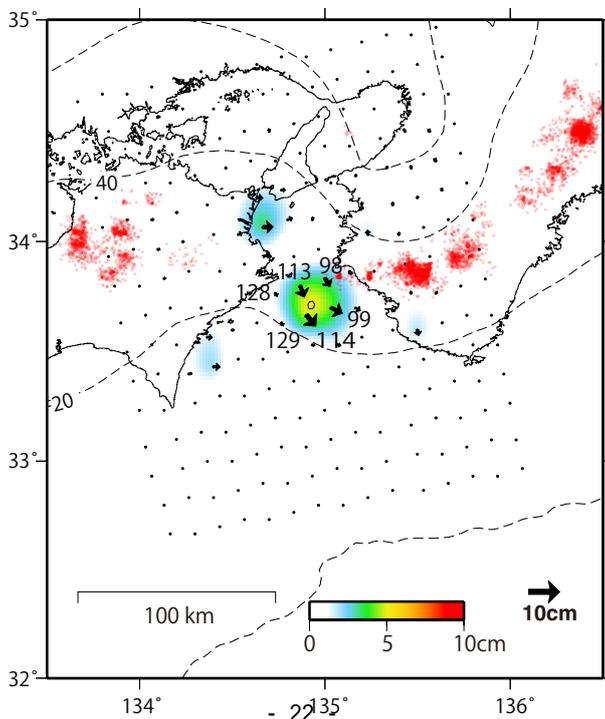
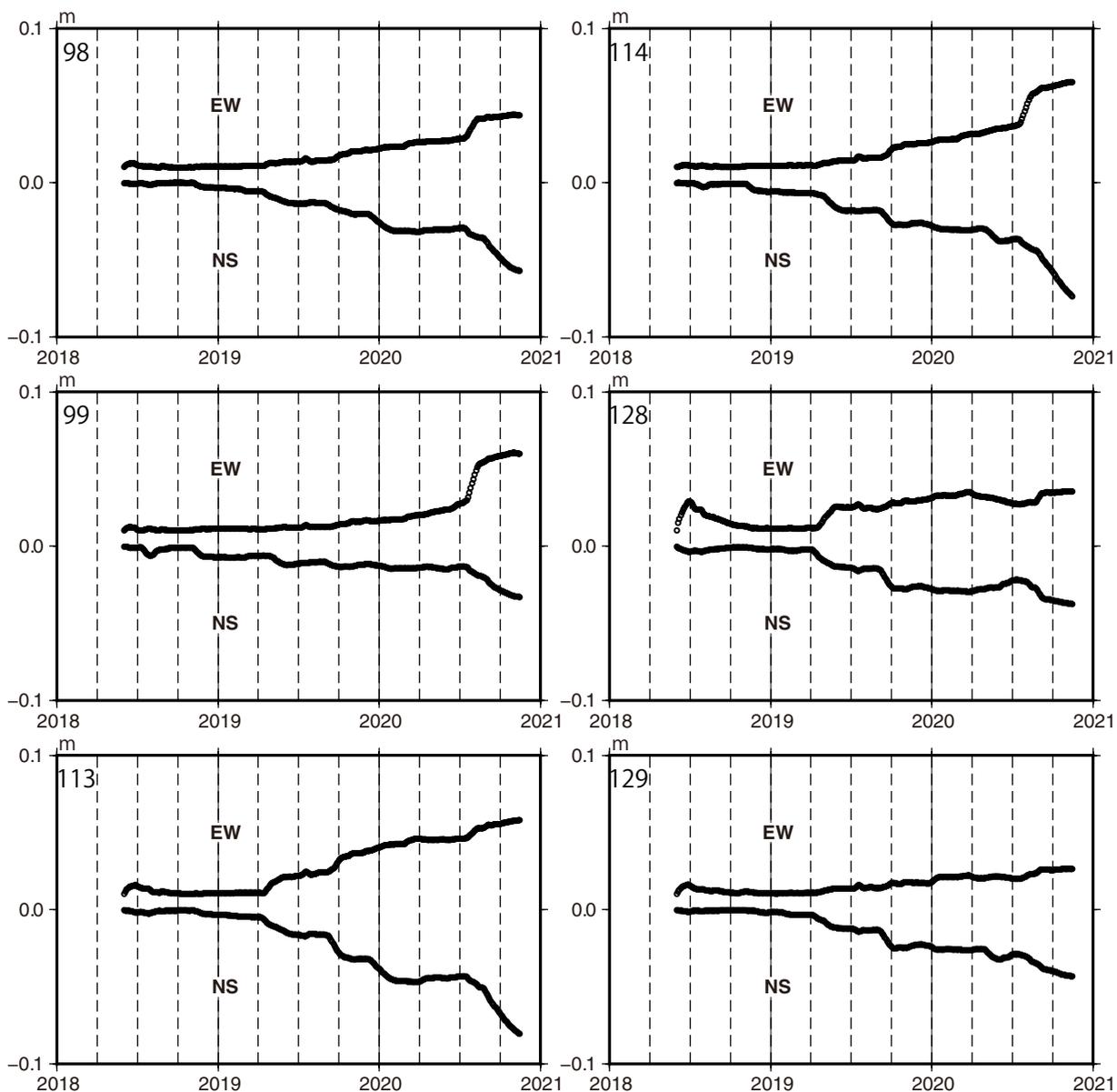


EW,NS,UD : 東西, 南北, 上下変動



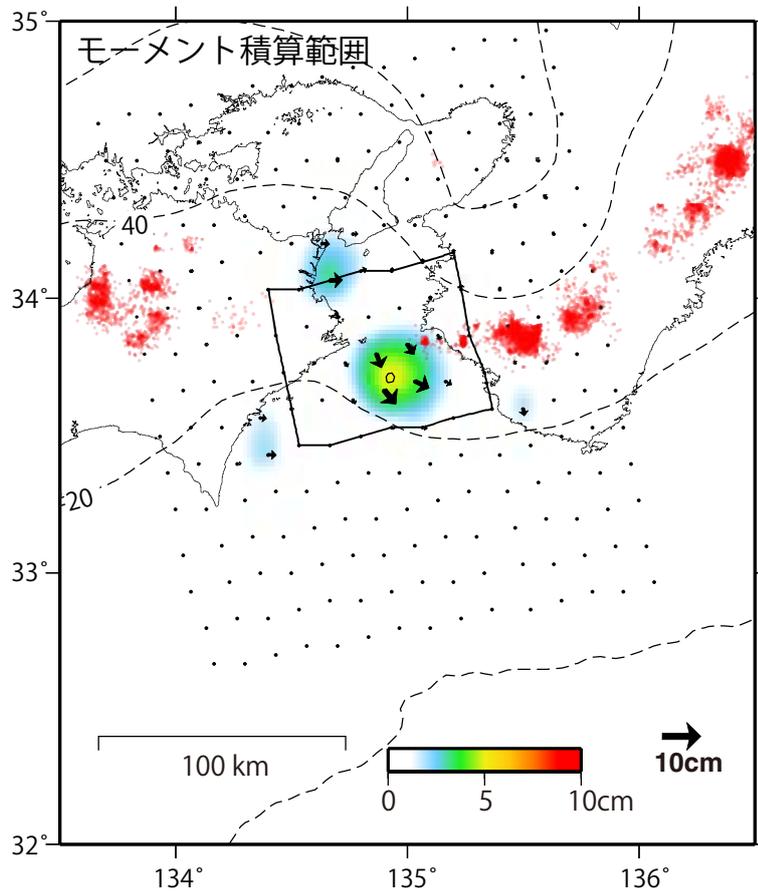
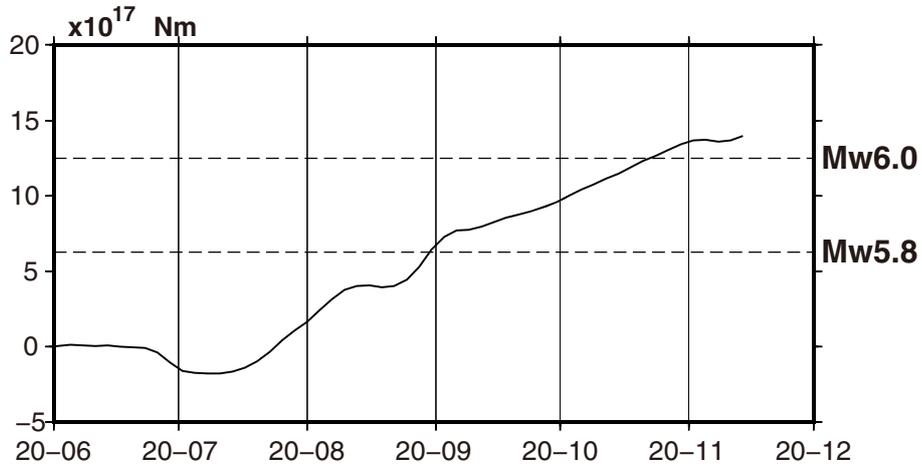
各グリッドにおけるすべりの時間変化

時間依存のインバージョン



紀伊水道SSEのモーメント^{*}積算図(試算)

2020/6/1-2020/11/14



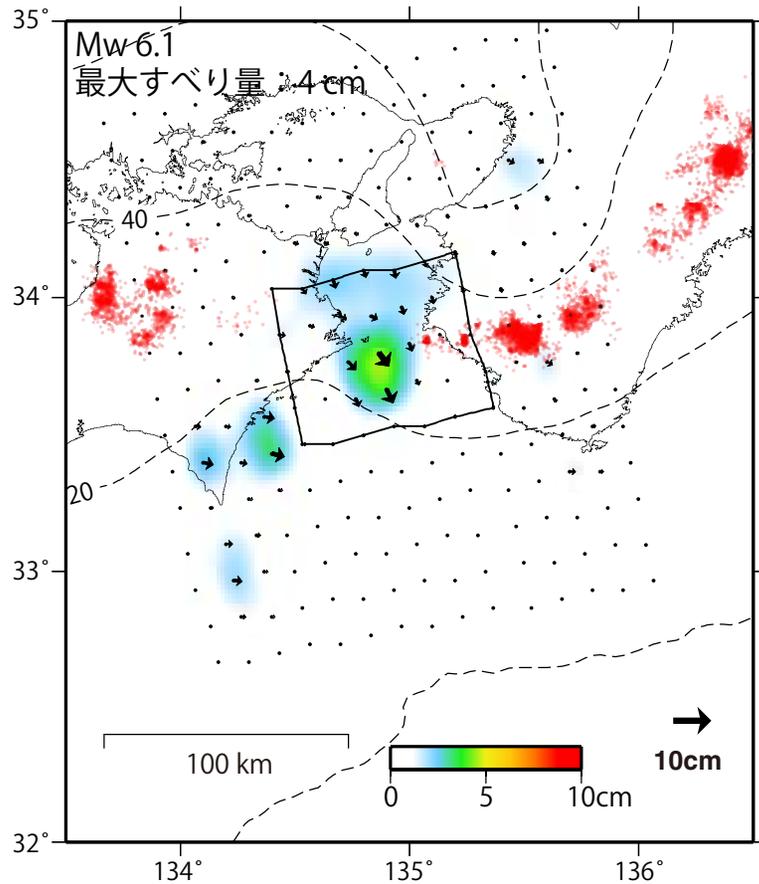
固定局:網野

※モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合の Mw (モーメント・マグニチュード)
に換算できる。

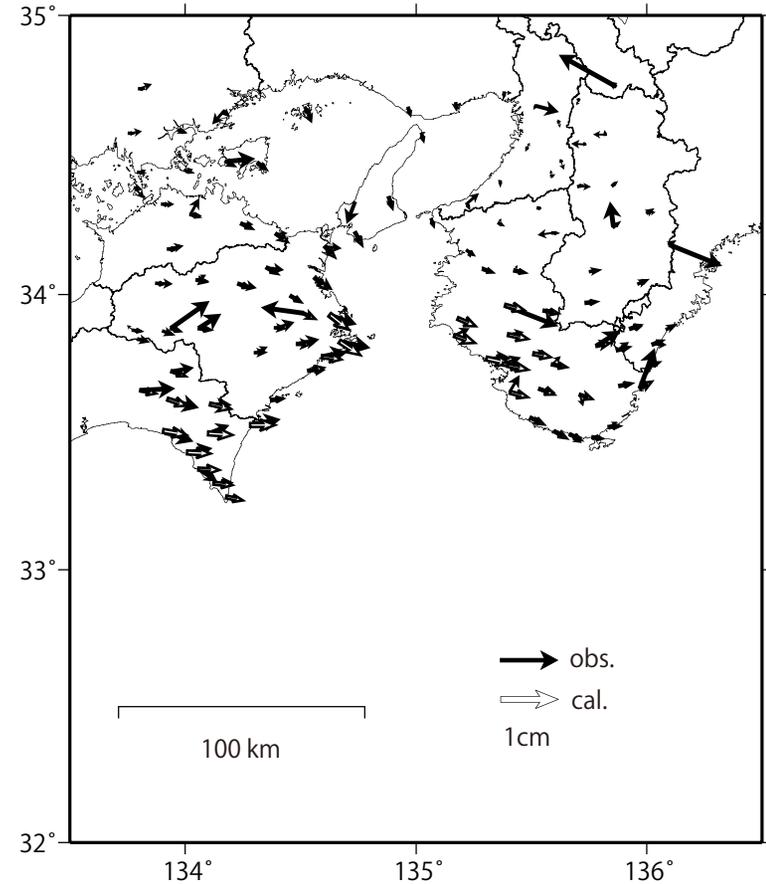
2019年春頃～

GNSSデータから推定された紀伊水道の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布
(2019/4/1 - 2020/6/11)



観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2019/4/1 - 2020/6/11)



使用データ：F3解 (2018/1/1 - 2020/5/31) + R3解 (2020/6/1 - 2020/6/11) ※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1（年周・半年周成分は2017/1/1 - 2020/6/11のデータで補正）

モーメント計算範囲：左図の黒枠内側

観測値：3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線（弘瀬・他、2007）

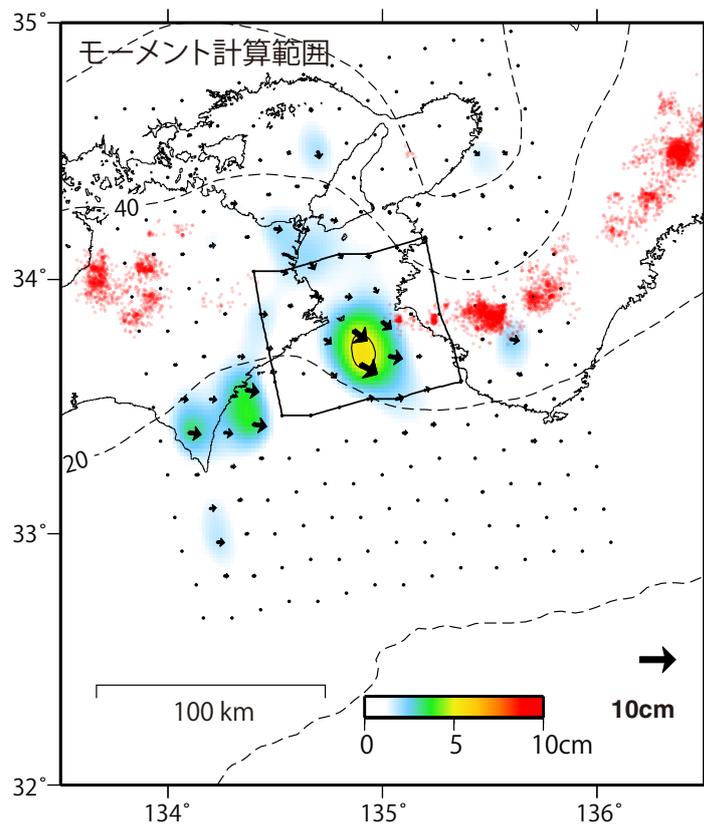
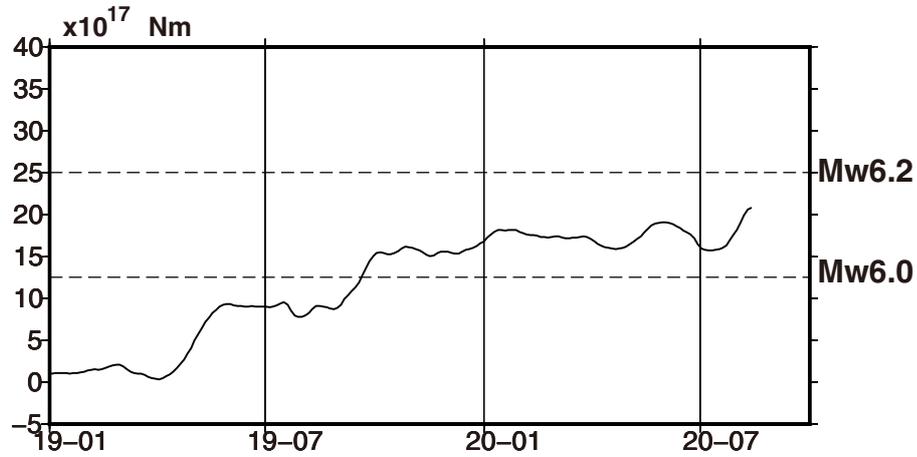
すべり方向：東向きから南向きの範囲に拘束

赤丸：低周波地震（気象庁一元化震源）（期間：2019/1/1 - 2019/12/31）

固定局：網野

2019年春頃～ 紀伊水道SSEのモーメント^{*}積算図(試算)

2019/1/1-2020/8/13

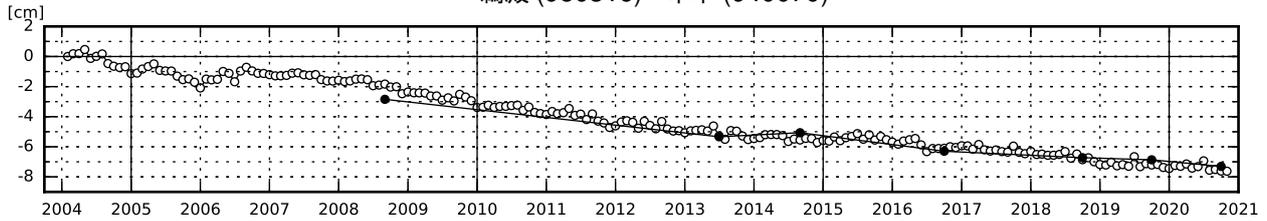


※モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合のMw (モーメント・マグニチュード)
に換算できる。

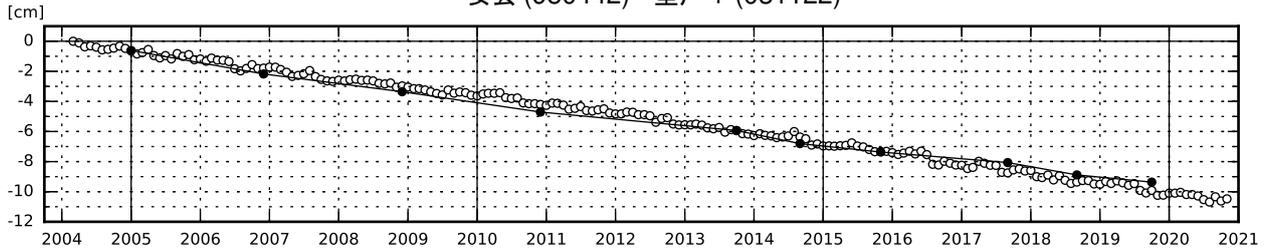
紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

鵜殿 (950316) - 串本 (940070)

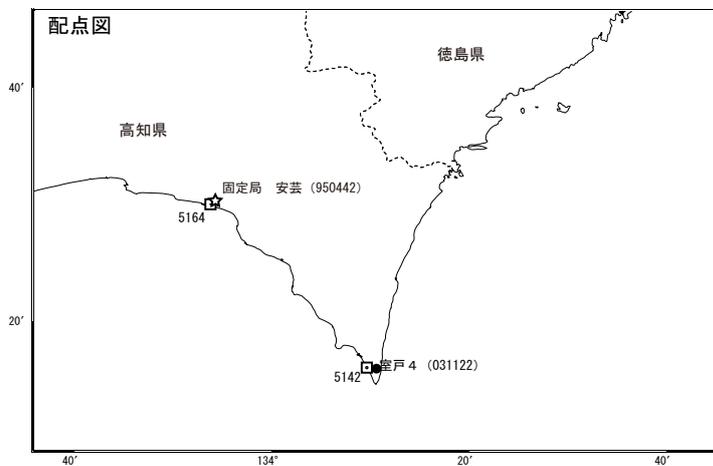
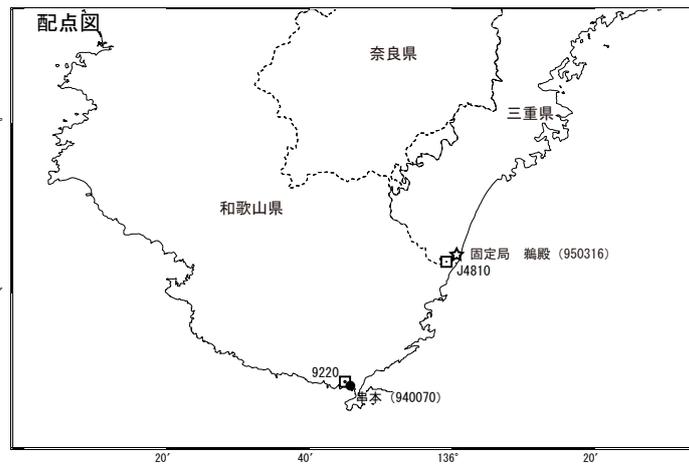


安芸 (950442) - 室戸 4 (031122)



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

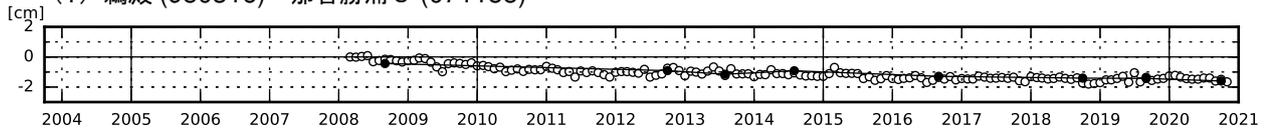
- ・ 最新のプロット点は 11/1~11/7 の平均.
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している.



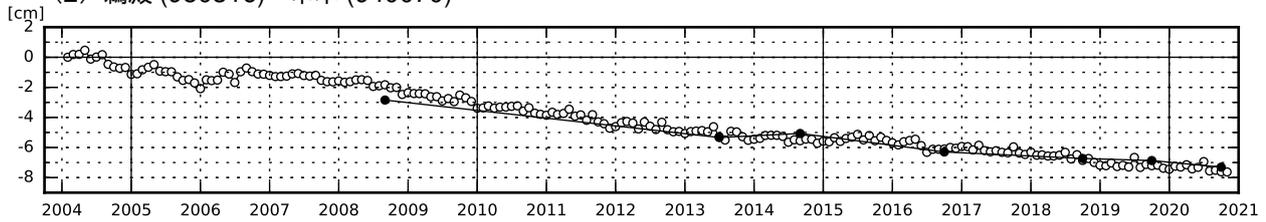
紀伊半島 電子基準点の上下変動（１）

潮岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

(1) 鵜殿 (950316) - 那智勝浦 3 (071155)

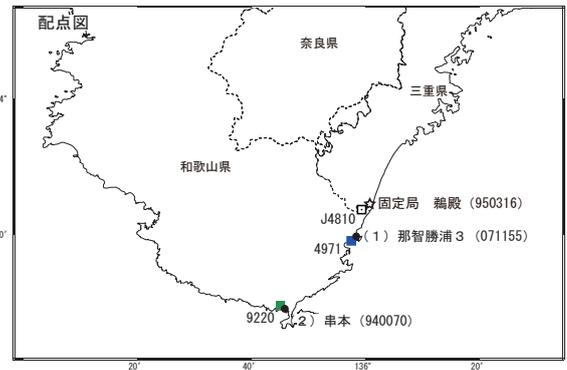
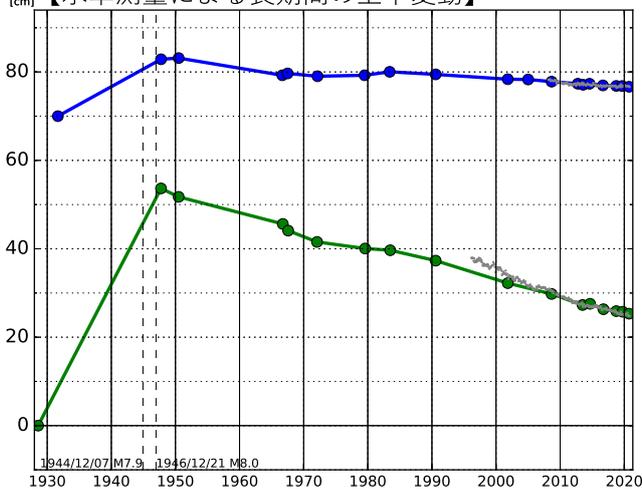


(2) 鵜殿 (950316) - 串本 (940070)



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

【水準測量による長期間の上下変動】

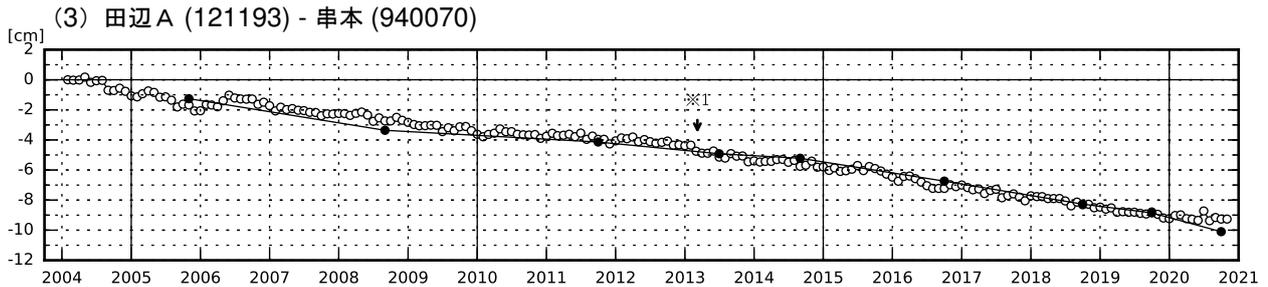
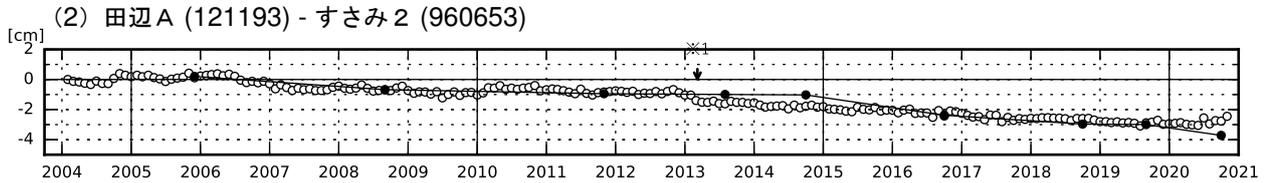
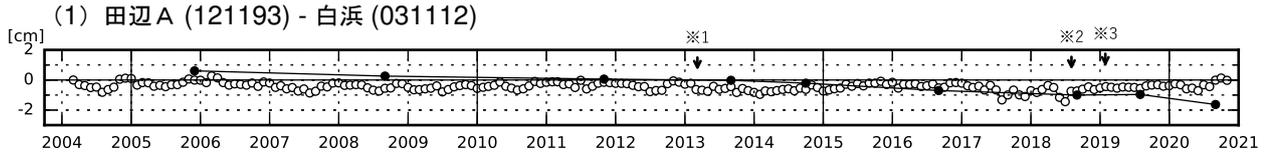


- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F3: 最終解) から計算した値の月平均値である。(最新のプロット点: 11/1~11/7 の平均値)
- ・ 水準測量の結果は、最寄り的一等水準点の結果を表示しており、GNSS 連続観測の全期間の値との差が最小となるように描画している。
- ・ 「水準測量による長期間の上下変動」のグラフにおける、各プロットの色は配点図の水準点の色と対応する。また、灰色のプロットは GEONET の月平均値を示している。

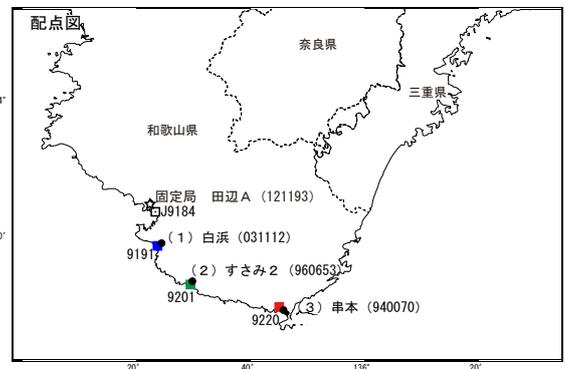
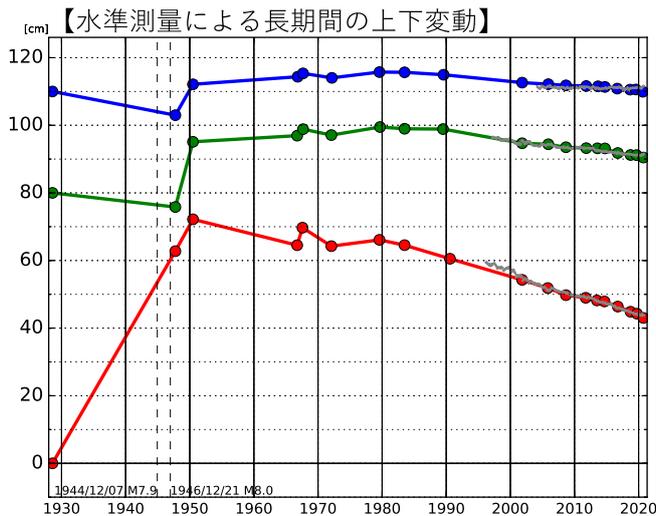
国土地理院

紀伊半島 電子基準点の上下変動（２）

潮岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)



- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F3: 最終解) から計算した値の月平均値である。(最新のプロット点: 11/1~11/7 の平均値)
- ・ 水準測量の結果は、最寄り的一等水準点の結果を表示しており、GNSS 連続観測の全期間の値との差が最小となるように描画している。
- ・ 「水準測量による長期間の上下変動」のグラフにおける、各プロットの色は配点図の水準点の色と対応する。また、灰色のプロットは GEONET の月平均値を示している。

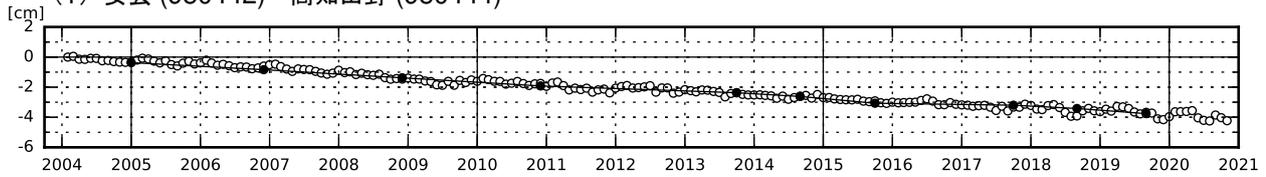
- ※ 1 2013/3/8 に電子基準点「田辺」を移転し、電子基準点「田辺 A」とした。
- ※ 2 2018/8/3 に電子基準点「白浜」周辺の樹木を伐採した。
- ※ 3 2019/1/29 に電子基準点「白浜」周辺の樹木を伐採した。

国土地理院

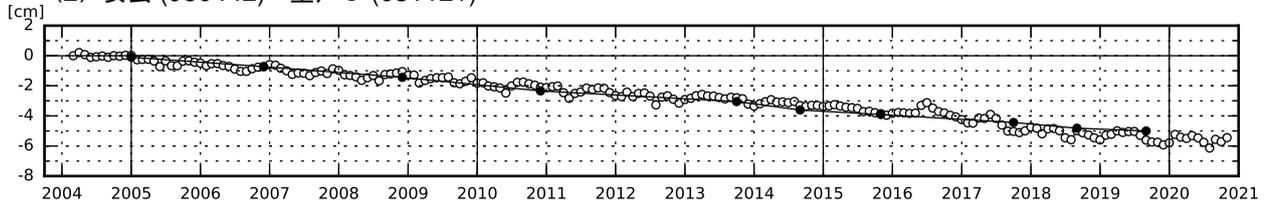
室戸岬周辺 電子基準点の上下変動（１）

室戸岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

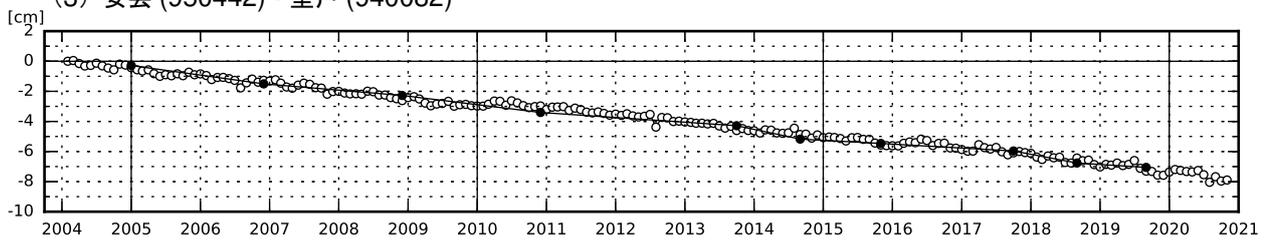
(1) 安芸 (950442) - 高知田野 (950444)



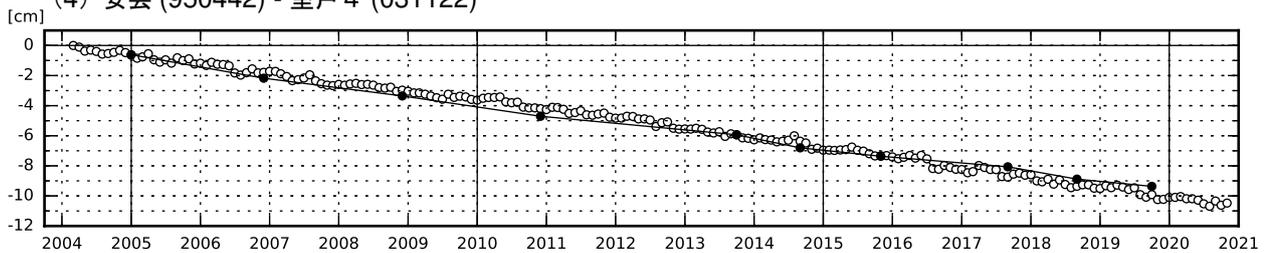
(2) 安芸 (950442) - 室戸 3 (031121)



(3) 安芸 (950442) - 室戸 (940082)

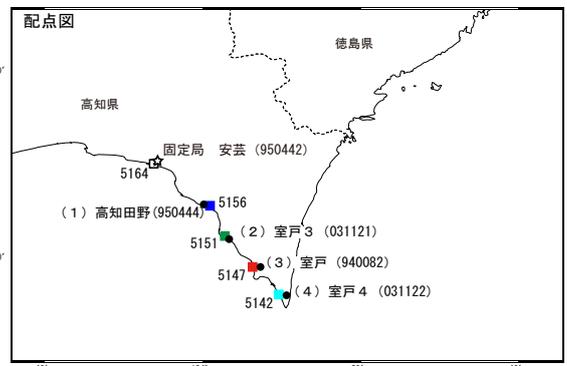
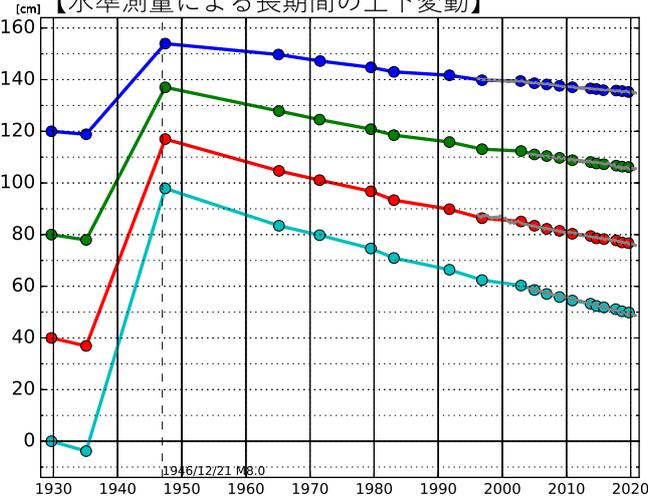


(4) 安芸 (950442) - 室戸 4 (031122)



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

【水準測量による長期間の上下変動】

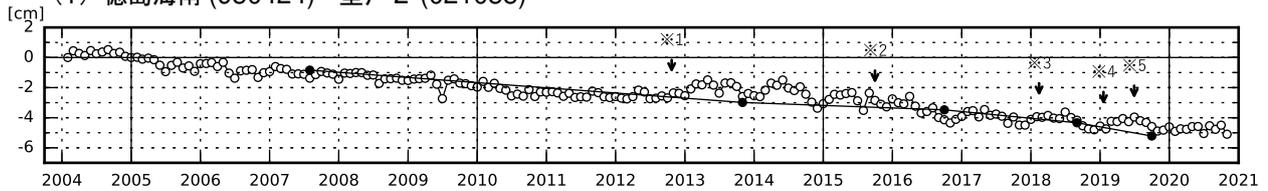


- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F3: 最終解) から計算した値の月平均値である。(最新のプロット点: 11/1~11/7 の平均値)
- ・ 水準測量の結果は、最寄りの一等水準点の結果を表示しており、GNSS 連続観測の全期間の値との差が最小となるように描画している。
- ・ 「水準測量による長期間の上下変動」のグラフにおける、各プロットの色は配点図の水準点の色と対応する。また、灰色のプロットは GEONET の月平均値を示している。

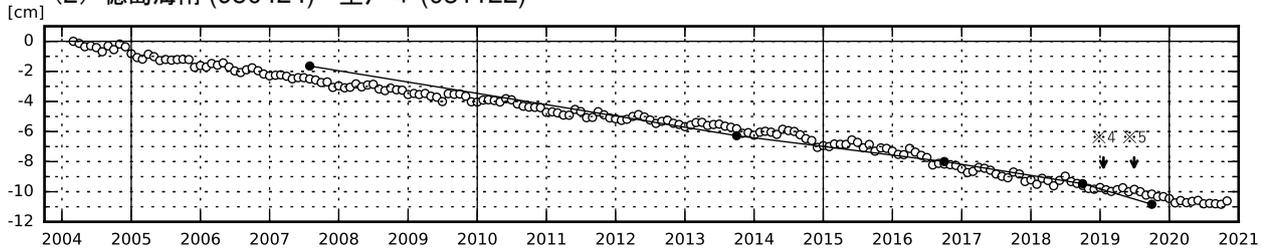
室戸岬周辺 電子基準点の上下変動（２）

室戸岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

(1) 徳島海南 (950424) - 室戸 2 (021055)

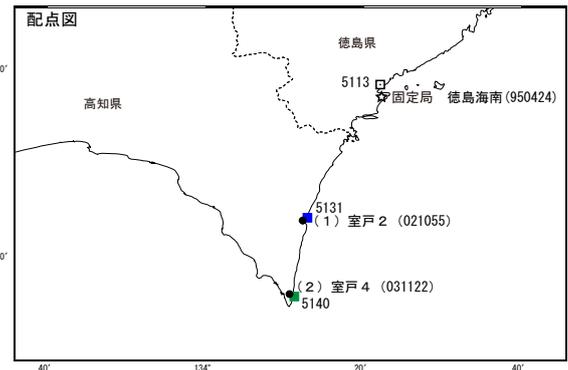
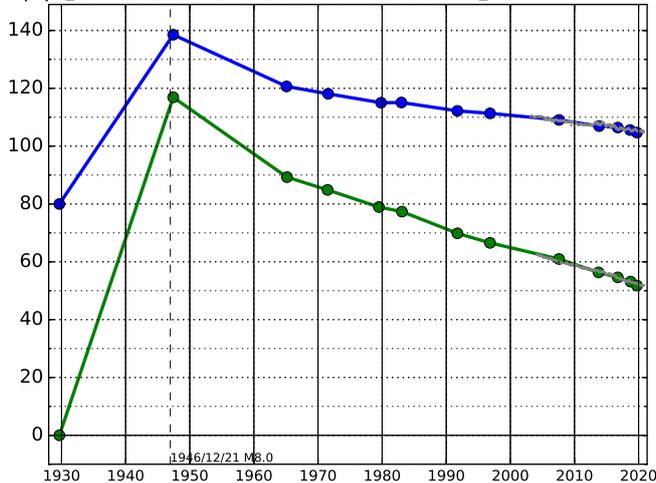


(2) 徳島海南 (950424) - 室戸 4 (031122)



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

【水準測量による長期間の上下変動】



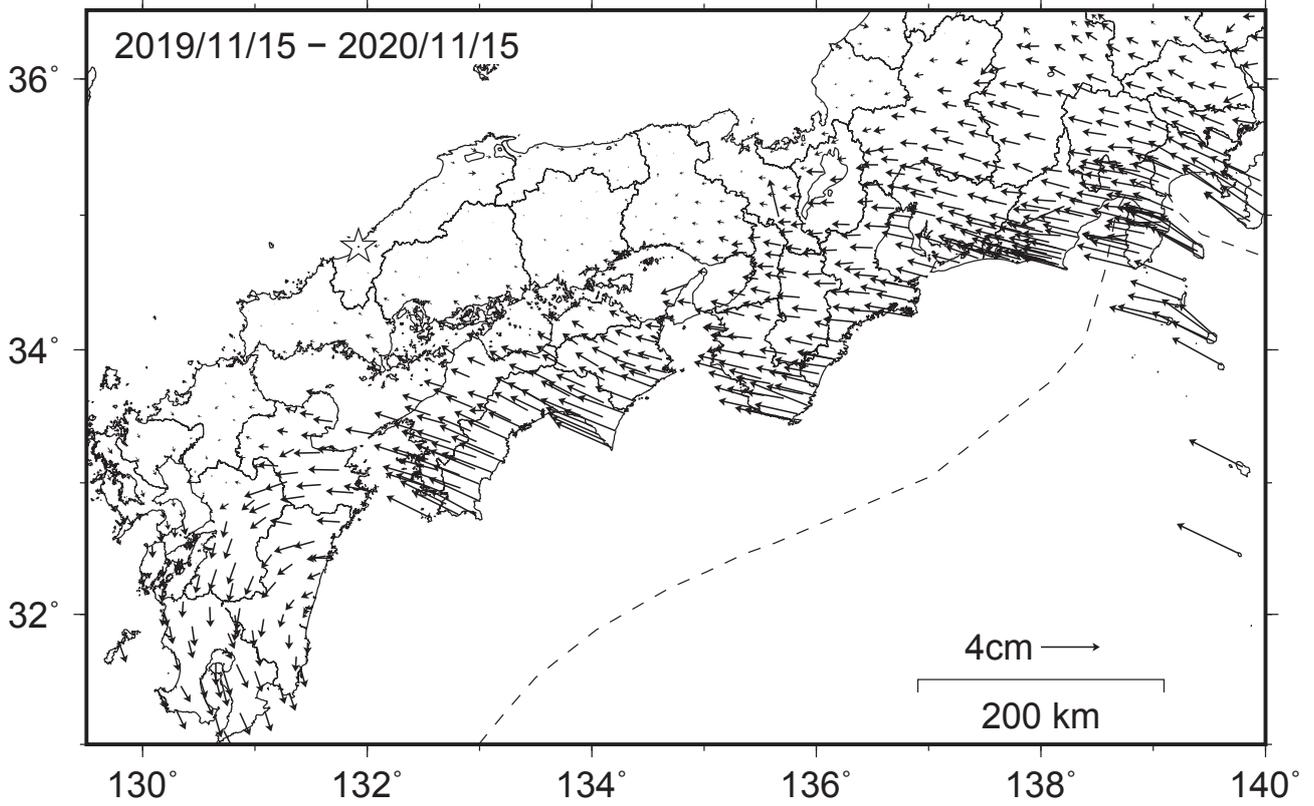
- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F3: 最終解) から計算した値の月平均値である。(最新のプロット点: 11/1~11/7 の平均値)
- ・ 水準測量の結果は、最寄り的一等水準点の結果を表示しており、GNSS 連続観測の全期間の値との差が最小となるように描画している。
- ・ 「水準測量による長期間の上下変動」のグラフにおける、各プロットの色は配点図の水準点の色と対応する。また、灰色のプロットは GEONET の月平均値を示している。

- ※ 1 2012/10/23 に電子基準点「室戸 2 (021055)」のアンテナ及び受信機交換を実施した。
- ※ 2 2015/10/1 に電子基準点「室戸 2 (021055)」の受信機交換を実施した。
- ※ 3 2018/2/13 に電子基準点「室戸 2 (021055)」のアンテナ及び受信機交換を実施した。
- ※ 4 2019/1/16 に電子基準点「徳島海南 (950424)」の受信機交換を実施した。
- ※ 5 2019/7/11 に電子基準点「徳島海南 (950424)」のアンテナ交換を実施した。

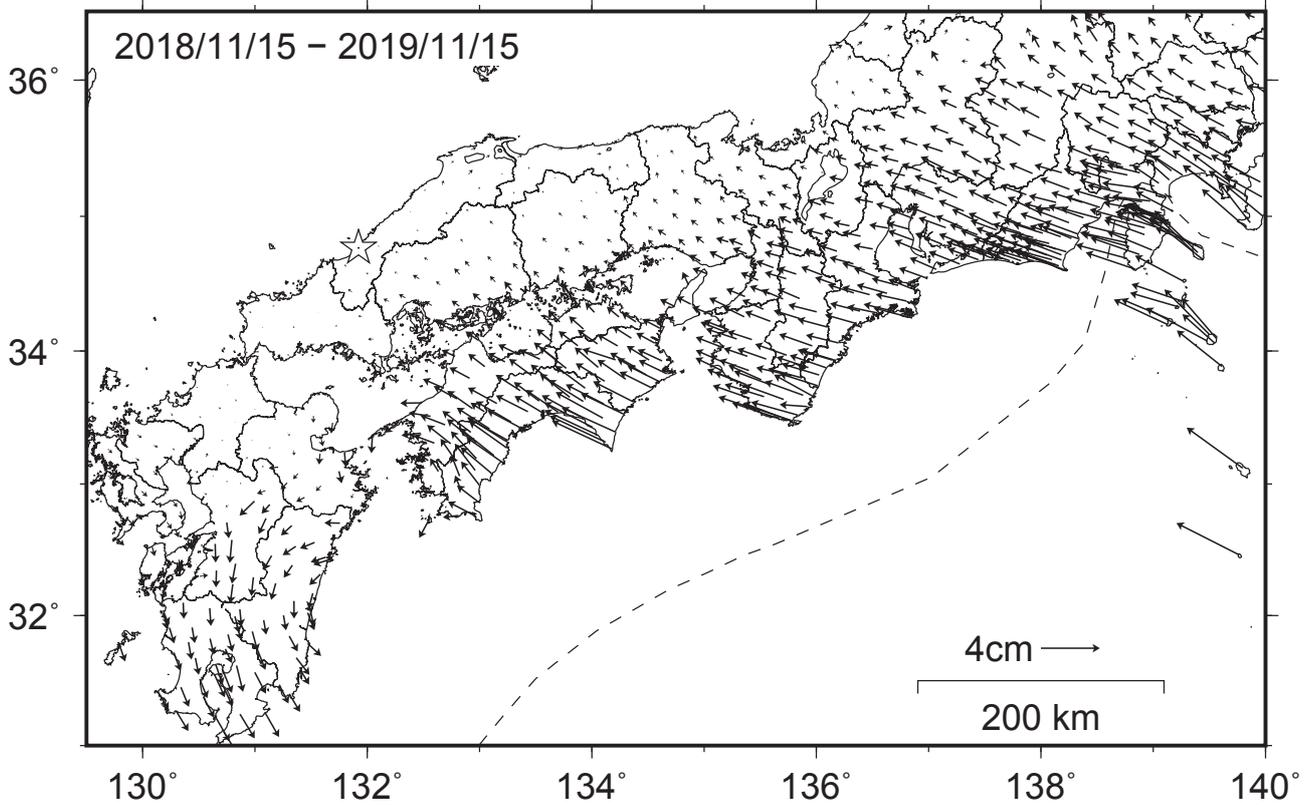
国土地理院

南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



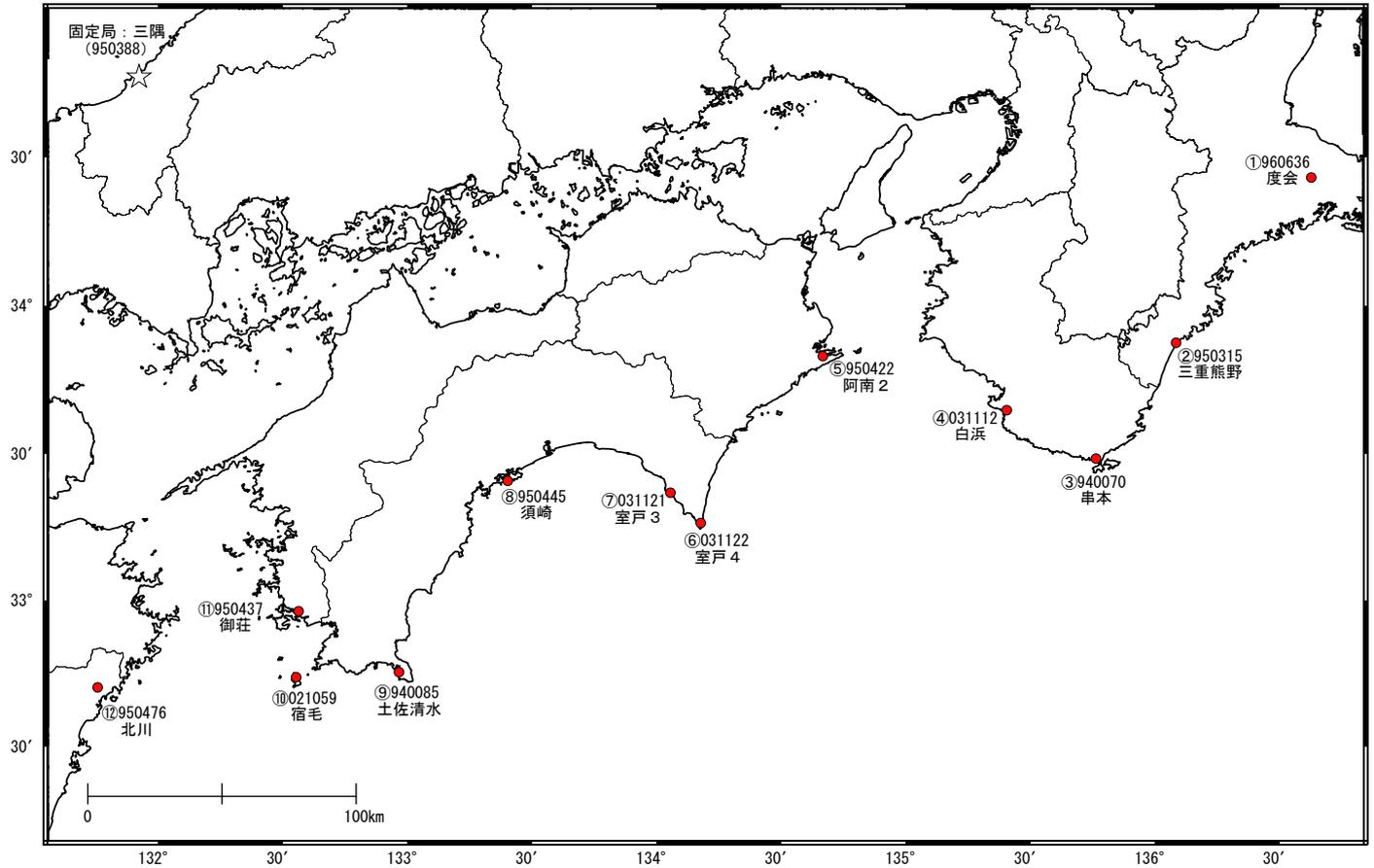
【1年前の1年間】



・各日付 ± 6日の計 13日間の変動量の中央値をとり、その差から1年間の変動量を表示している。

南海トラフ周辺 G N S S 連続観測時系列 (1)

配点図



各観測局情報

点番号	点名	日付	保守内容
960636	度会	2010/02/09	受信機交換・レドーム開閉
		2012/11/07	アンテナ更新
		2014/08/12	アンテナ交換・受信機交換
		2017/11/27	受信機交換
950315	三重熊野	2011/01/14	受信機交換・レドーム開閉
		2012/10/31	アンテナ更新
940070	串本	2012/11/14	アンテナ更新・受信機交換
		2017/01/22	アンテナ交換
031112	白浜	2010/01/22	受信機交換
		2012/11/13	アンテナ更新
		2018/01/10	受信機交換
		2018/08/03	周辺伐採
950422	阿南2	2012/12/04	アンテナ更新・受信機交換
		2015/11/17	アンテナ交換
		2018/04/02	アンテナ交換・受信機交換
		2019/12/04	受信機交換
031122	室戸4	2010/01/26	受信機交換
		2012/10/22	アンテナ更新
		2017/05/23	受信機交換
		2018/01/30	受信機交換

点番号	点名	日付	保守内容
031121	室戸3	2010/01/25	受信機交換
		2012/10/22	アンテナ更新
		2017/01/18	受信機交換
950445	須崎	2012/10/11	アンテナ更新・受信機交換
		2017/06/23	アンテナ交換
		2019/11/28	受信機交換
940085	土佐清水	2012/11/15	アンテナ更新・受信機交換
		2019/11/26	受信機交換
021059	宿毛	2012/11/16	アンテナ更新・受信機交換
		2015/11/19	アンテナ交換
		2018/01/28	周辺伐採
950437	御荘	2011/10/06	周辺伐採
		2012/12/05	アンテナ更新・受信機交換
		2015/10/05	周辺伐採
		2016/07/19	アンテナ交換
950476	北川	2012/11/22	アンテナ更新・受信機交換
		2014/12/18	アンテナ交換
		2019/11/28	受信機交換
950388	三隅	2012/10/29	アンテナ更新・受信機交換
		2014/10/01	周辺伐採
		2019/11/13	受信機交換

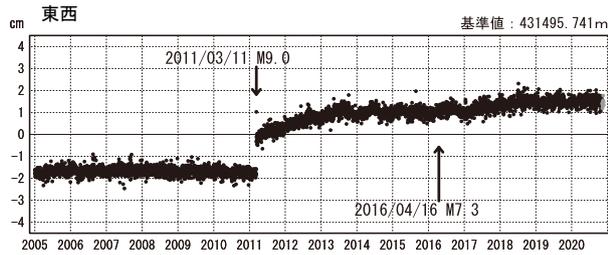
南海トラフ周辺 G N S S 連続観測時系列 (2)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

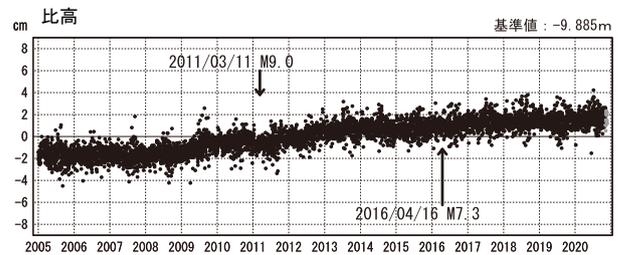
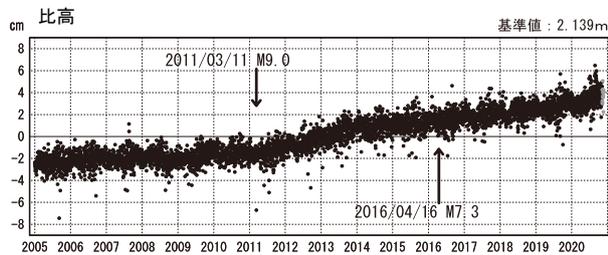
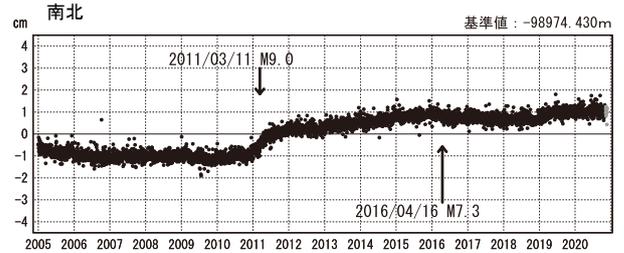
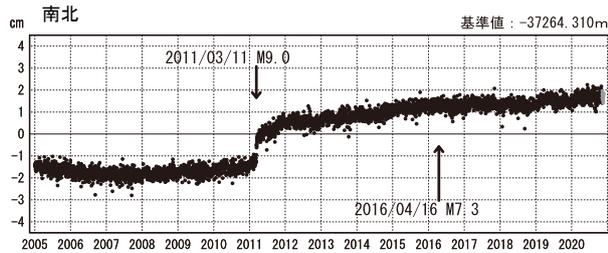
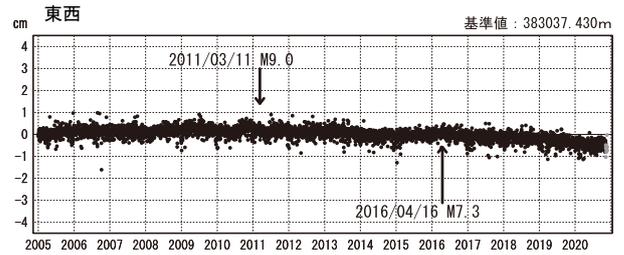
期間：2005/01/01～2020/11/22 JST

計算期間：2006/01/01～2009/01/01

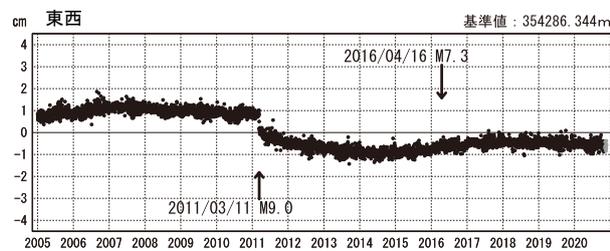
(1) 三隅(950388)→度会(960636)



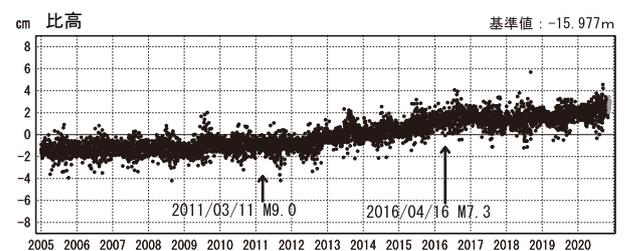
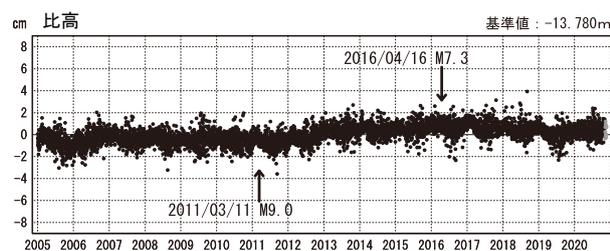
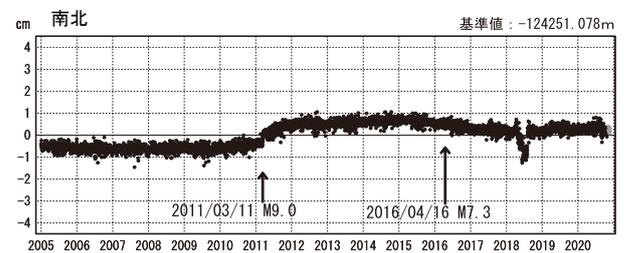
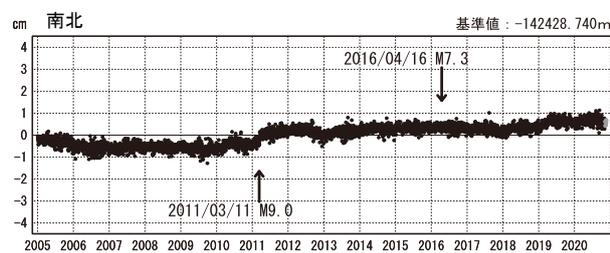
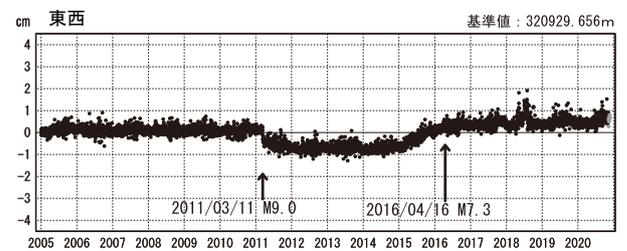
(2) 三隅(950388)→三重熊野(950315)



(3) 三隅(950388)→串本(940070)



(4) 三隅(950388)→白浜(031112)



●—[F3:最終解] ●—[R3:速報解]

※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

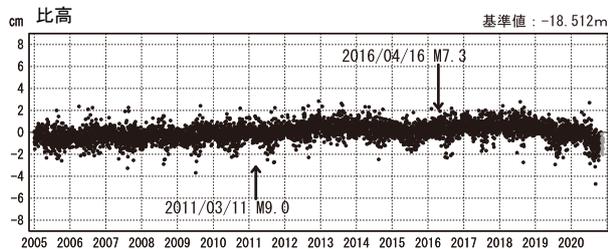
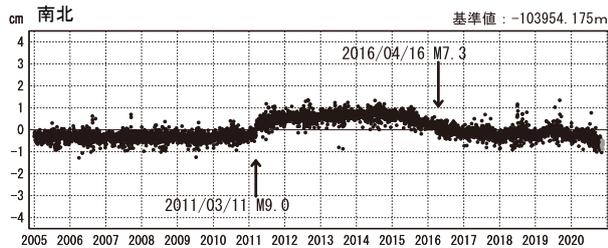
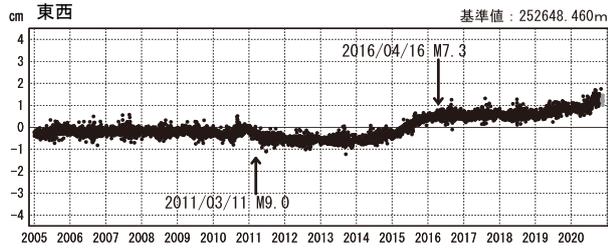
南海トラフ周辺 G N S S 連続観測時系列 (3)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

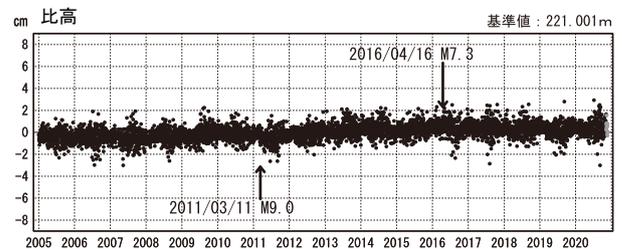
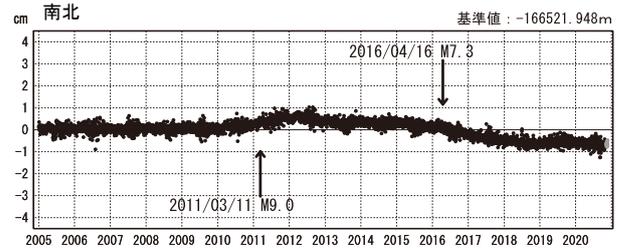
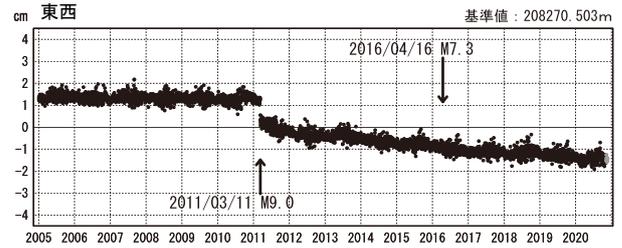
期間：2005/01/01～2020/11/22 JST

計算期間：2006/01/01～2009/01/01

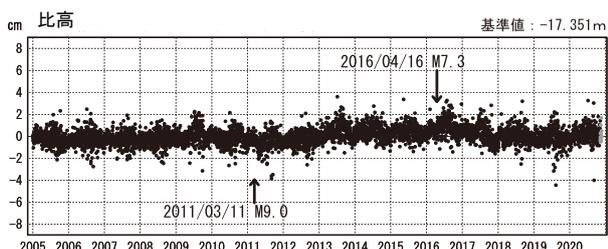
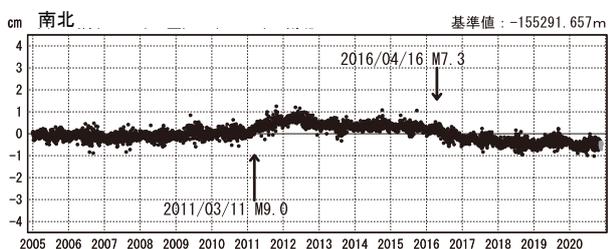
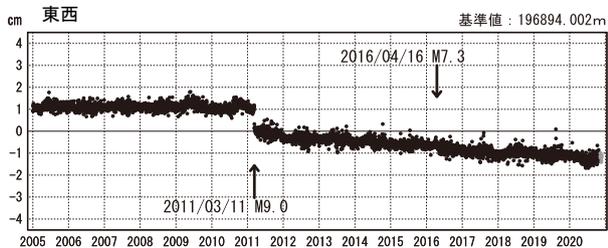
(5) 三隅(950388)→阿南2(950422)



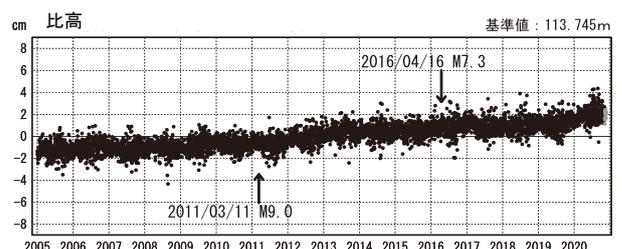
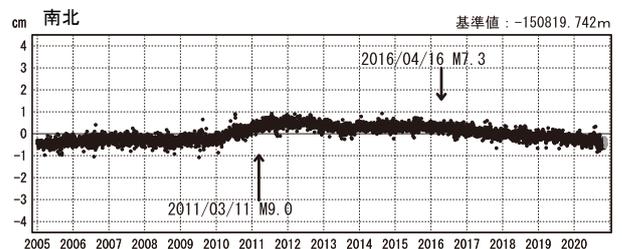
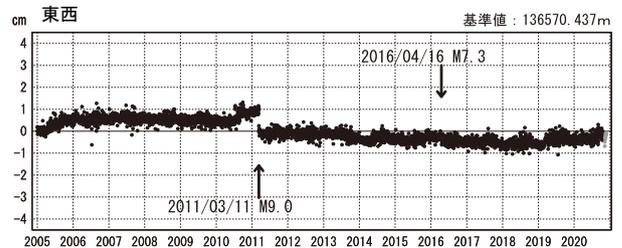
(6) 三隅(950388)→室戸4(031122)



(7) 三隅(950388)→室戸3(031121)



(8) 三隅(950388)→須崎(950445)



●—[F3:最終解] ●—[R3:速報解]

※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

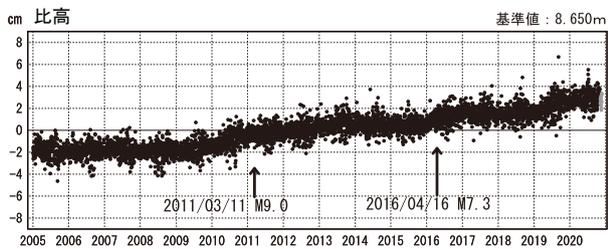
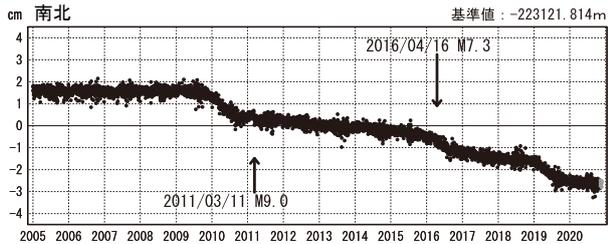
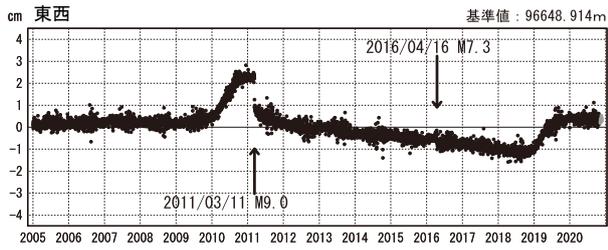
南海トラフ周辺 G N S S 連続観測時系列 (4)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

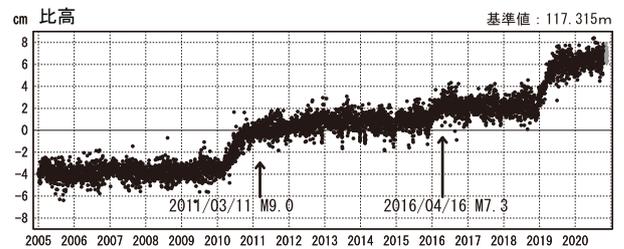
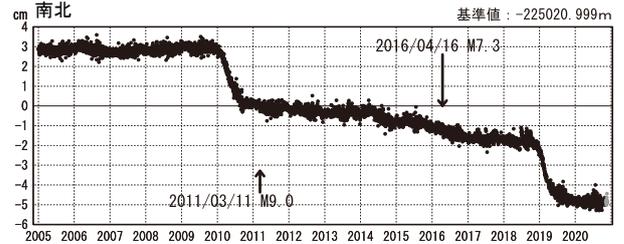
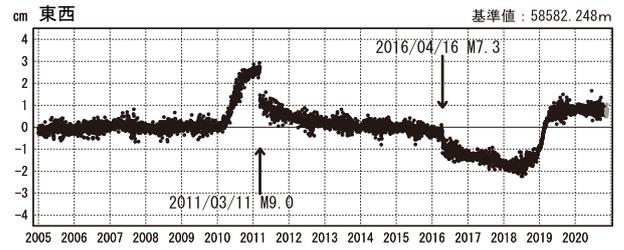
期間：2005/01/01~2020/11/22 JST

計算期間：2006/01/01~2009/01/01

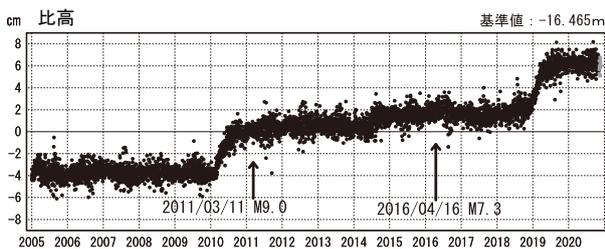
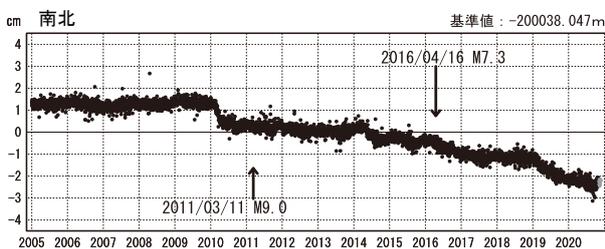
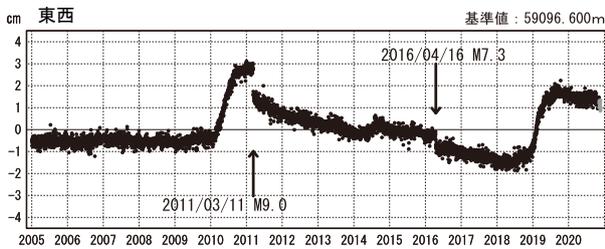
(9) 三隅(950388)→土佐清水(940085)



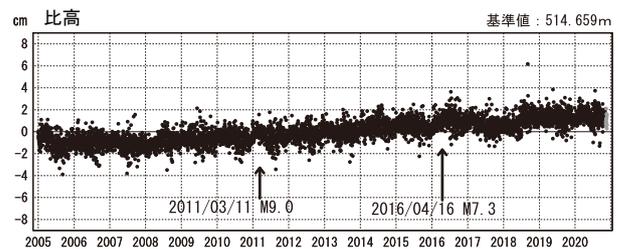
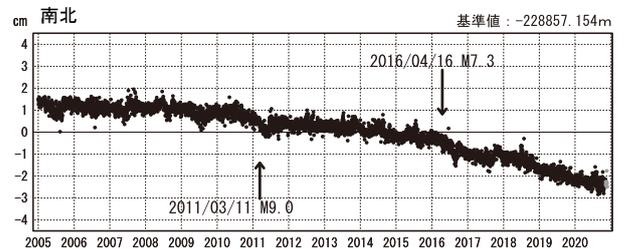
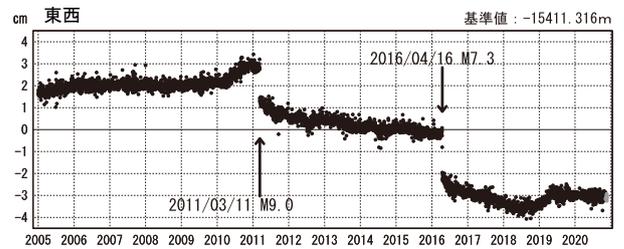
(10) 三隅(950388)→宿毛(021059)



(11) 三隅(950388)→御荘(950437)



(12) 三隅(950388)→北川(950476)



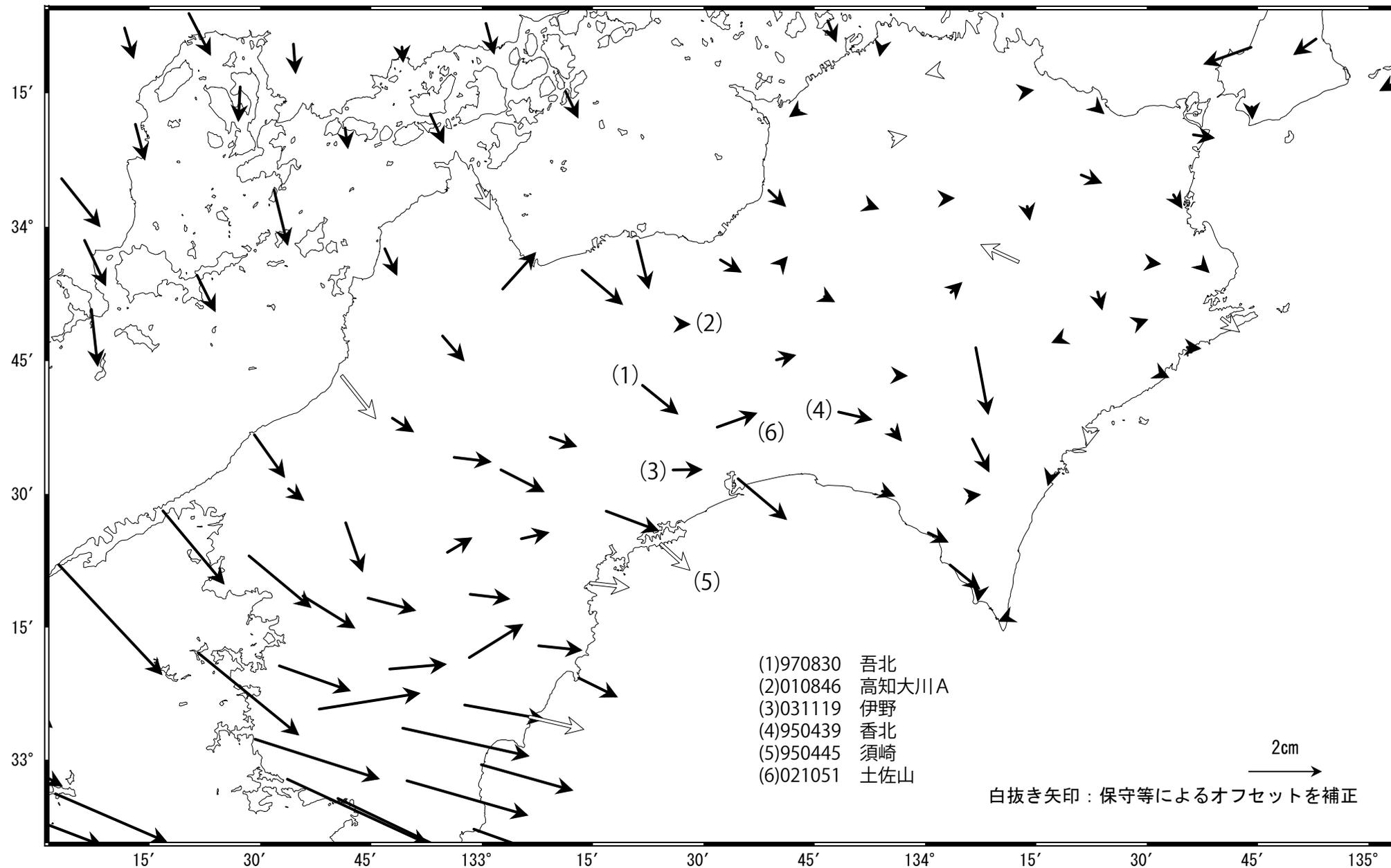
●—[F3:最終解] ●—[R3:速報解]

※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

四国中部の非定常水平地殻変動(1次トレンド・年周期・半年周期除去後)

基準期間: 2017/12/29~2018/01/04 [F3: 最終解]
 比較期間: 2020/11/17~2020/11/23 [R3: 速報解]

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01



固定局: 網野(960640)

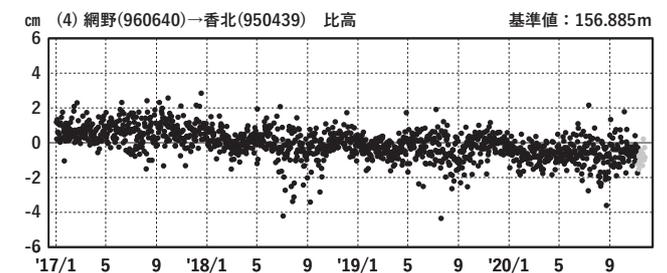
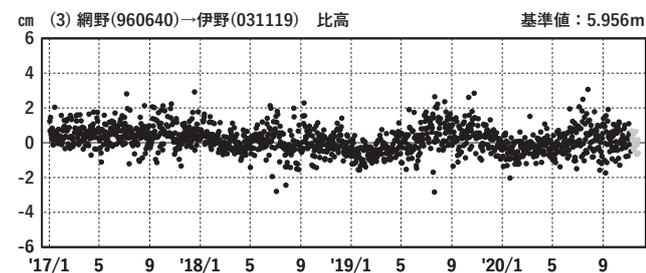
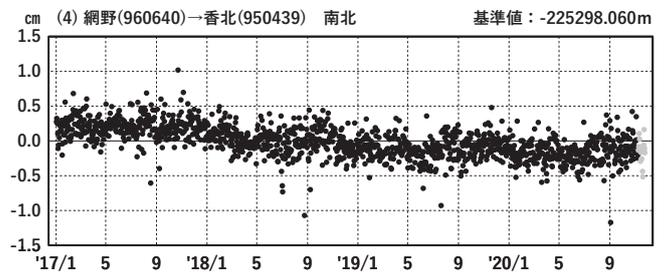
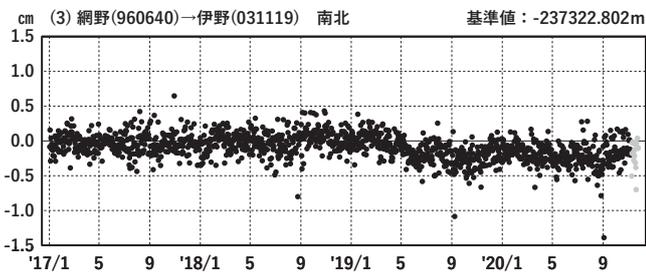
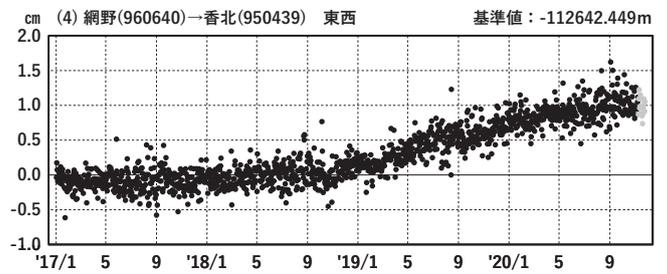
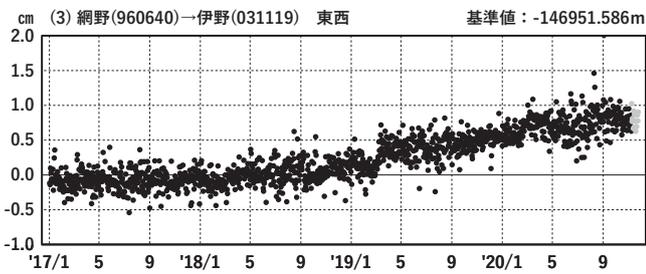
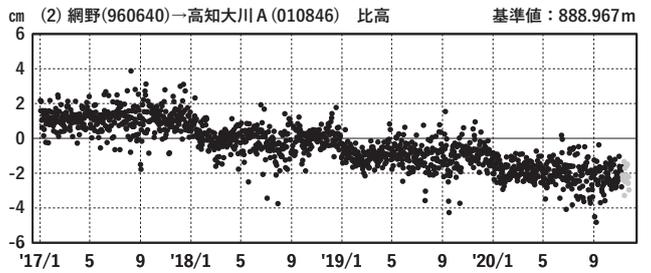
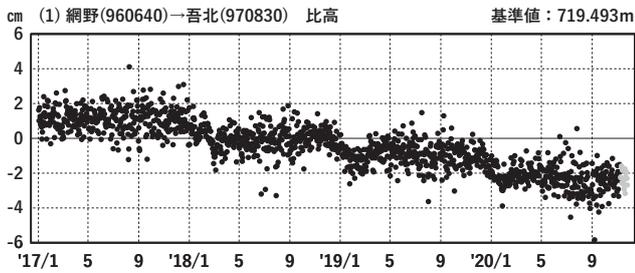
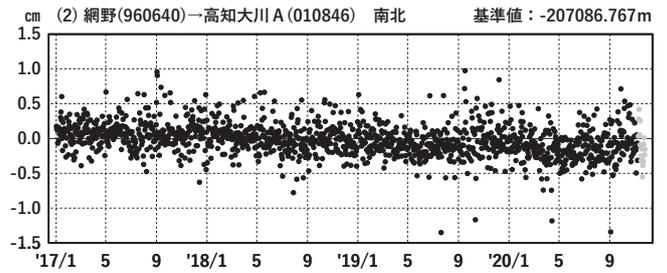
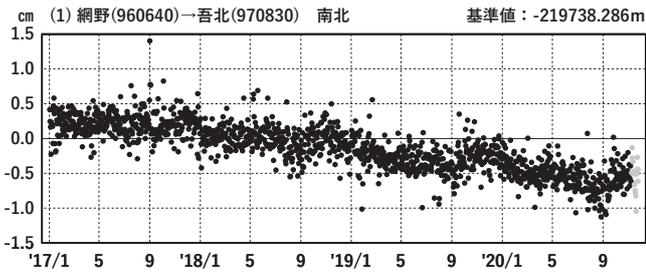
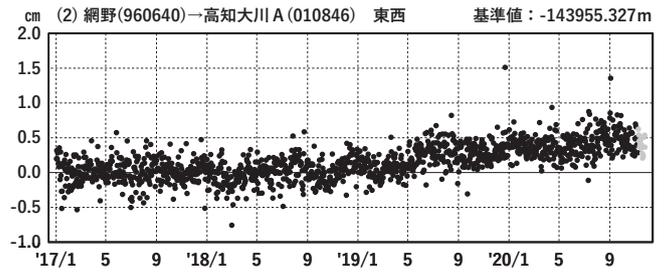
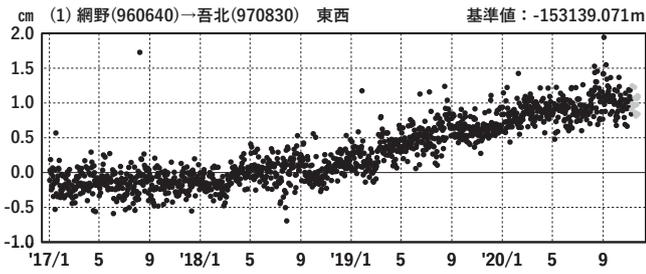
国土地理院

四国中部 G N S S 連続観測時系列 (1)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

期間: 2017/01/01~2020/11/24 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01



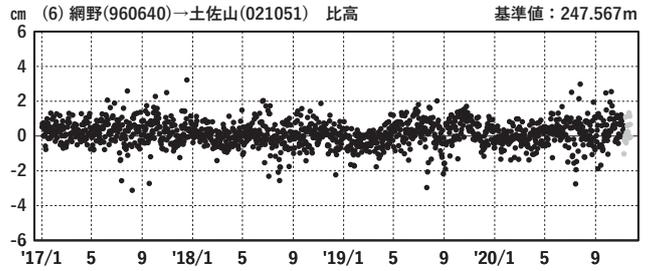
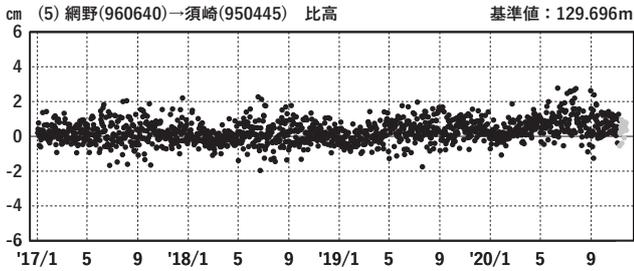
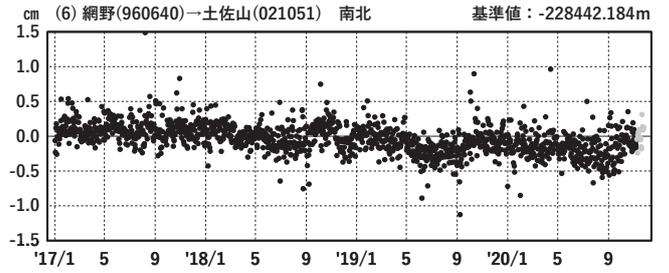
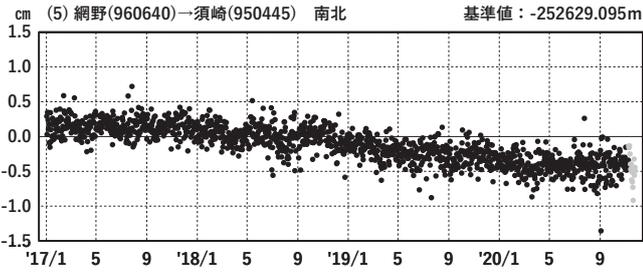
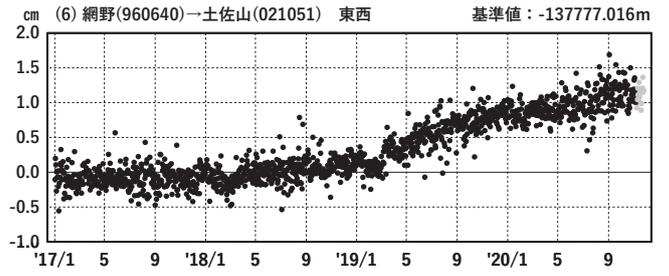
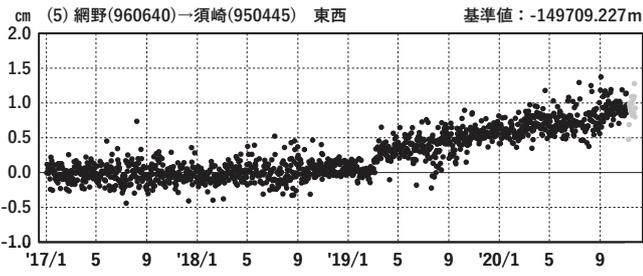
●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

四国中部 G N S S 連続観測時系列 (2)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

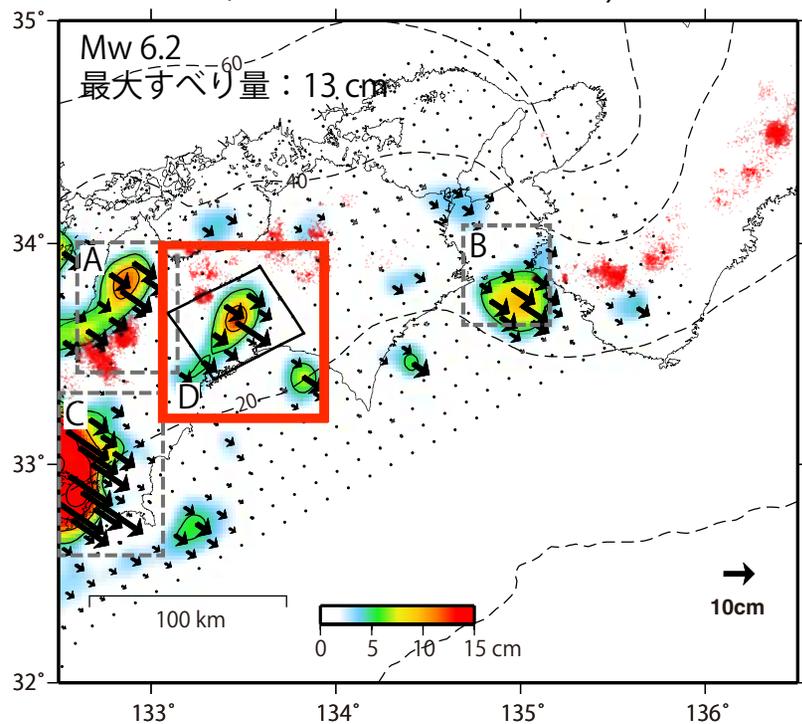
期間: 2017/01/01~2020/11/24 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01



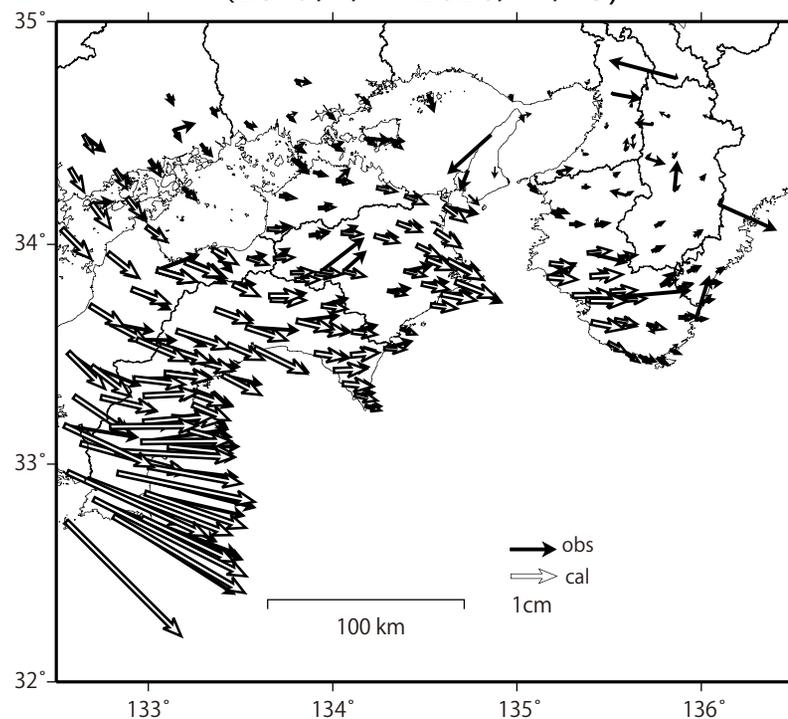
GNSSデータから推定された
四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布
(2019/1/1 - 2020/11/13)



- A 四国西部の短期的ゆっくりすべり
- B 紀伊水道の長期的ゆっくりすべり
- C 豊後水道の長期的ゆっくりすべり
- D 四国中部の長期的ゆっくりすべり**

観測値（黒）と計算値（白）の比較
(2019/1/1 - 2020/11/13)



使用データ：F3解 (2019/1/1 - 2020/11/3) + R3解 (2020/11/4 - 2020/11/13) ※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間：2017/1/1 - 2018/1/1（年周・半年周成分は2017/1/1 - 2020/11/13のデータで補正）

モーメント計算範囲：左図の黒枠内側

観測値：3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線（弘瀬・他、2007）

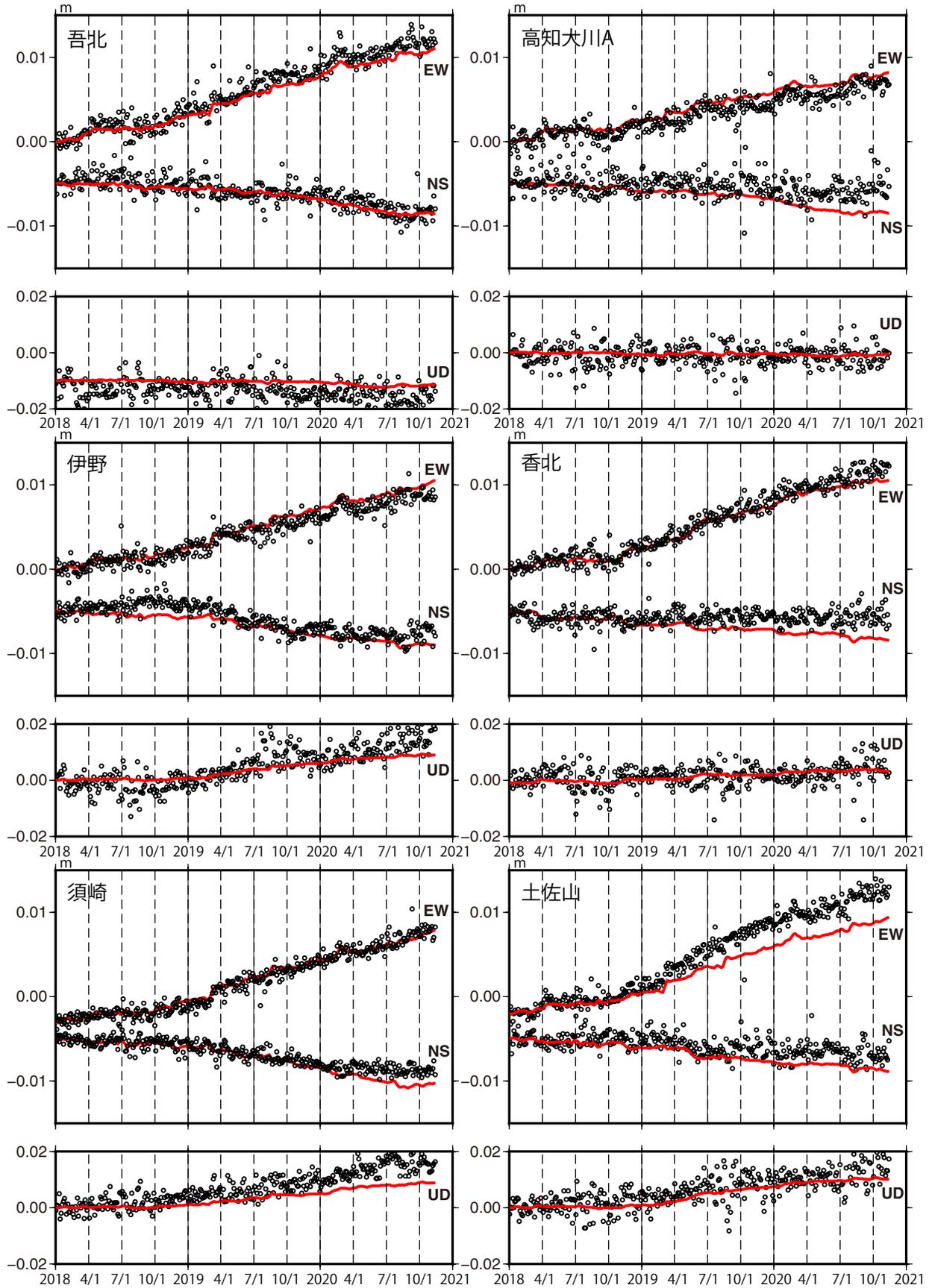
すべり方向：プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束

赤丸：低周波地震（気象庁一元化震源）（期間：2019/1/1 - 2019/12/31）

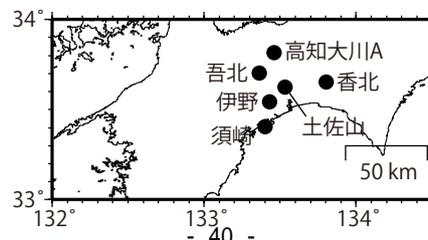
固定局：網野

四国中部の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

時間依存のインバージョン

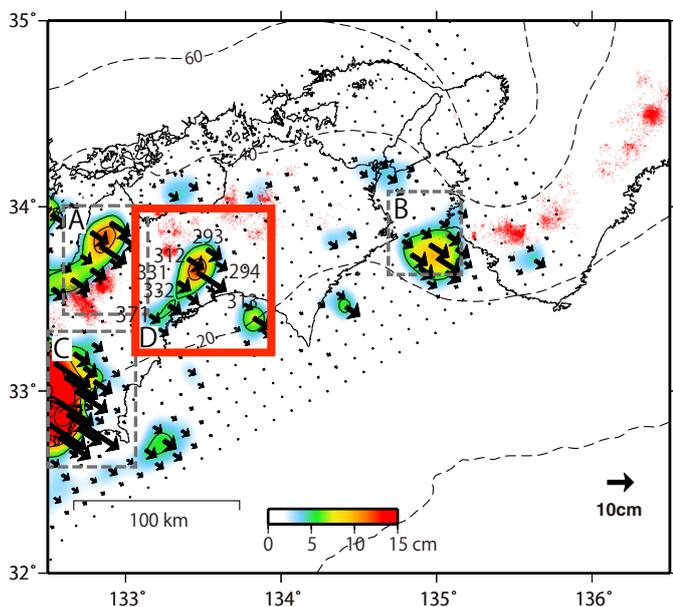
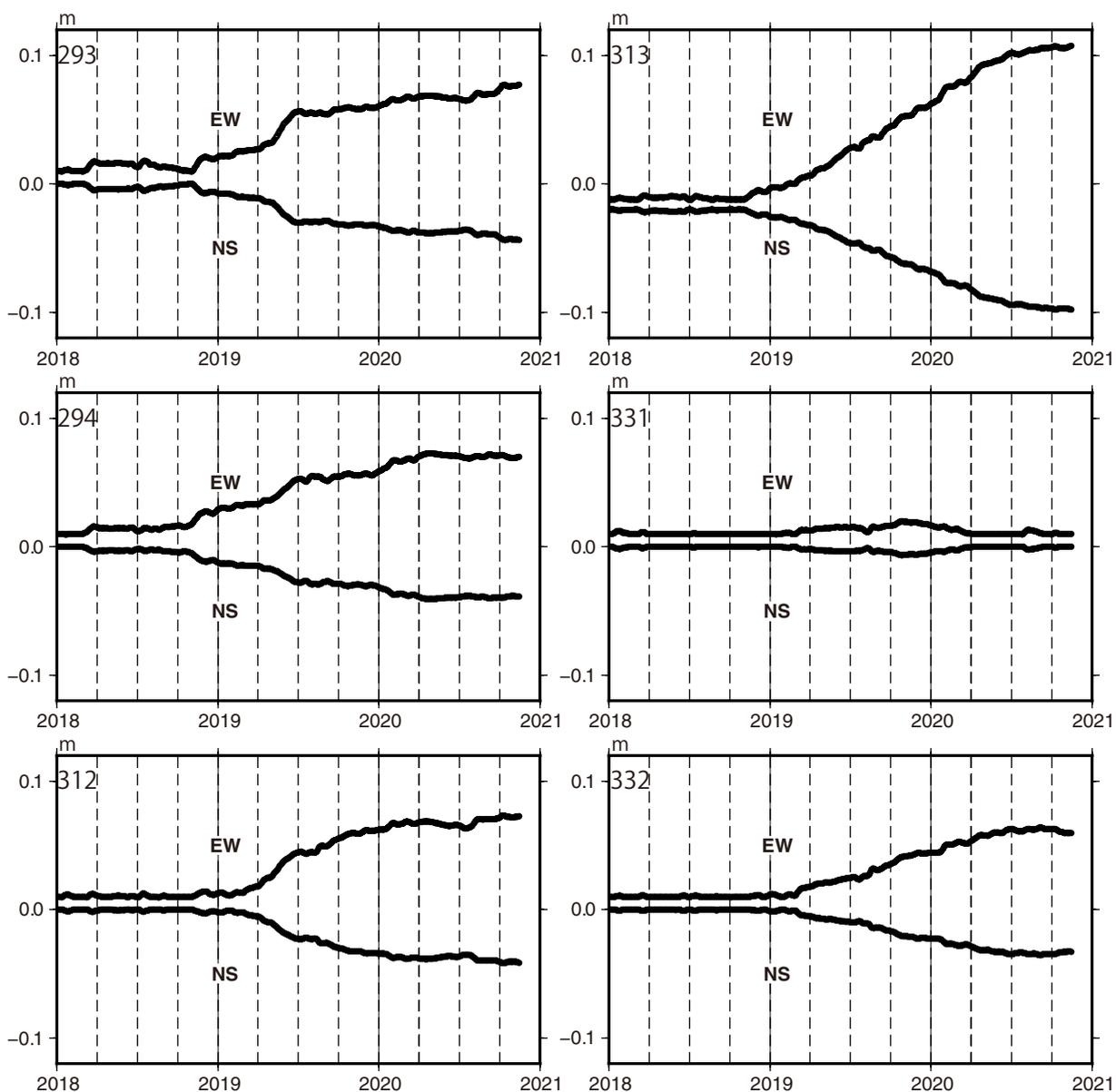


EW,NS,UD : 東西, 南北, 上下変動



各グリッドにおけるすべりの時間変化

時間依存のインバージョン



- A 四国西部の短期的ゆっくりすべり
- B 紀伊水道の長期的ゆっくりすべり
- C 豊後水道の長期的ゆっくりすべり
- D 四国中部の長期的ゆっくりすべり**

GEONET による最近の地殻変動(水平)

(1) 最近の1年間の変動ベクトル図(全国)

比較手法 : 平均値比較

基準データ : 2019年11月16日～2019年11月22日

比較データ : 2020年11月16日～2020年11月22日

(2) 最近の1か月の変動ベクトル図(全国および地方毎)

比較手法 : 平均値比較

基準データ : 2020年10月16日～2020年10月22日

比較データ : 2020年11月16日～2020年11月22日

(3) 2期間の変動ベクトルの差(期間②のベクトル-期間①のベクトル)の図(1か月)

期間①のベクトル

比較手法 : 平均値比較

基準データ : 2019年10月8日～2019年10月22日

比較データ : 2019年11月8日～2019年11月22日

期間②のベクトル

比較手法 : 平均値比較

基準データ : 2020年10月8日～2020年10月22日

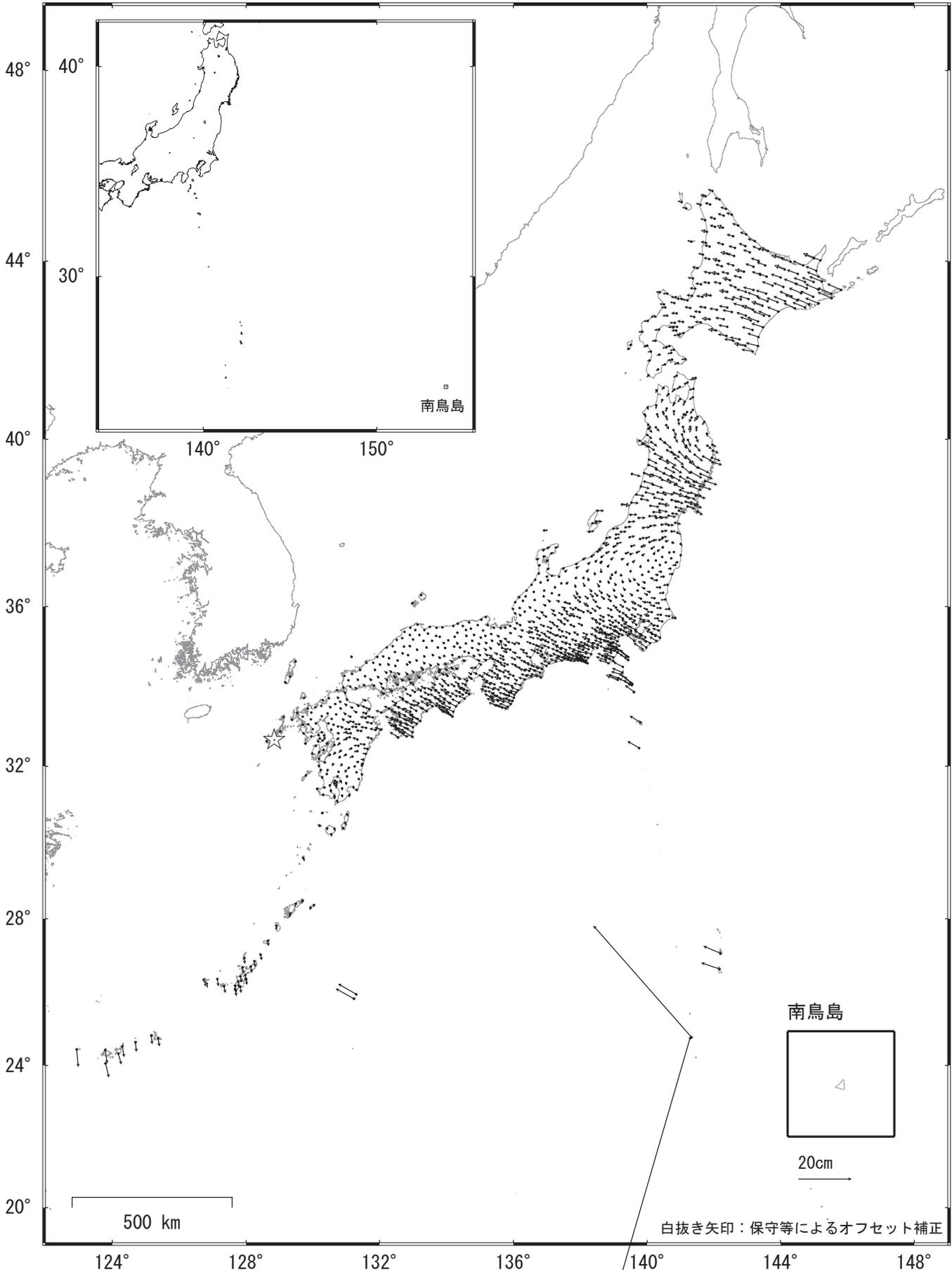
比較データ : 2020年11月8日～2020年11月22日

※第253回(2013年7月)から白抜き矢印の条件を期間①の基準期間と比較期間、期間②の基準期間と比較期間のそれぞれ間にオフセットがある場合とした。

全国の地殻変動（水平）－ 1 年間－

基準期間：2019/11/16 -- 2019/11/22 [F3：最終解]

比較期間：2020/11/16 -- 2020/11/22 [R3：速報解]



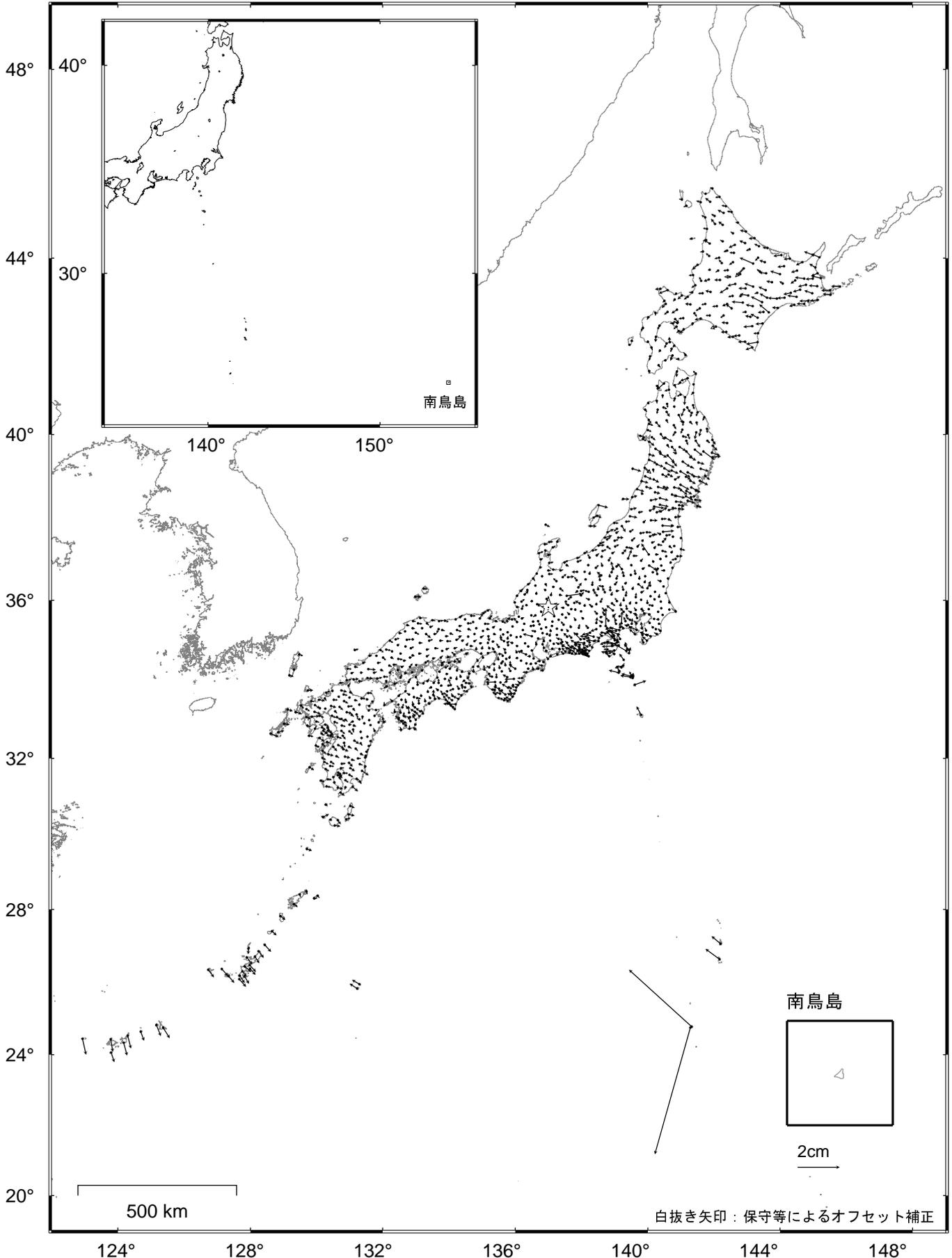
☆ 固定局：福江（長崎県）

- ・ 東北から関東・中部までの広い範囲で、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。
- ・ 硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。
- ・ その他の地方では、プレート運動による定期的な地殻変動が見られる。

全国の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2020/10/16 -- 2020/10/22 [F3：最終解]

比較期間：2020/11/16 -- 2020/11/22 [R3：速報解]



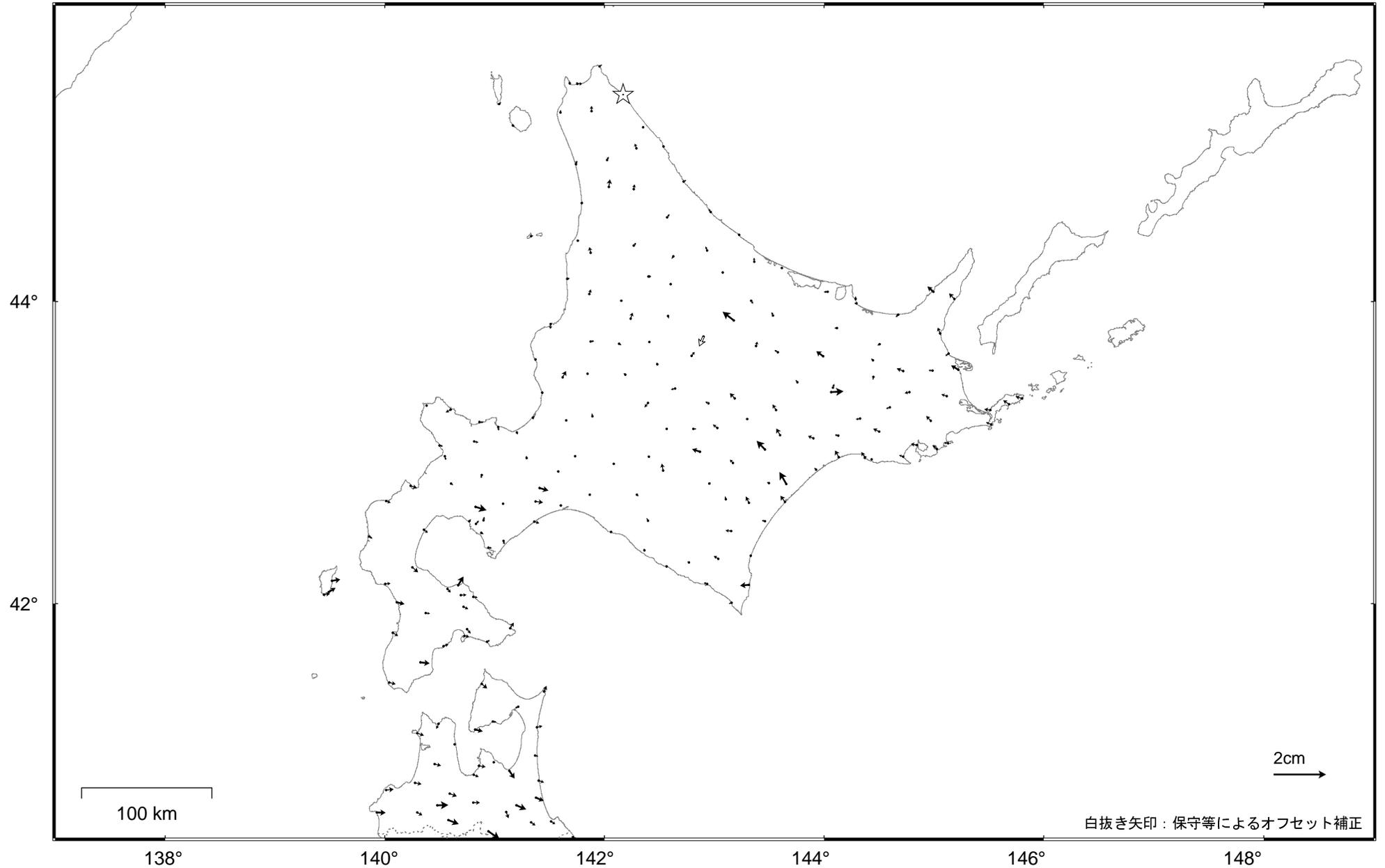
☆ 固定点：白鳥・荘川・板取・加茂白川・萩原の平均値（岐阜県）

- ・ 東日本の広い範囲で、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。
- ・ 硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。

北海道地方の地殻変動（水平）－ 1 か月－

基準期間：2020/10/16 -- 2020/10/22 [F 3：最終解]

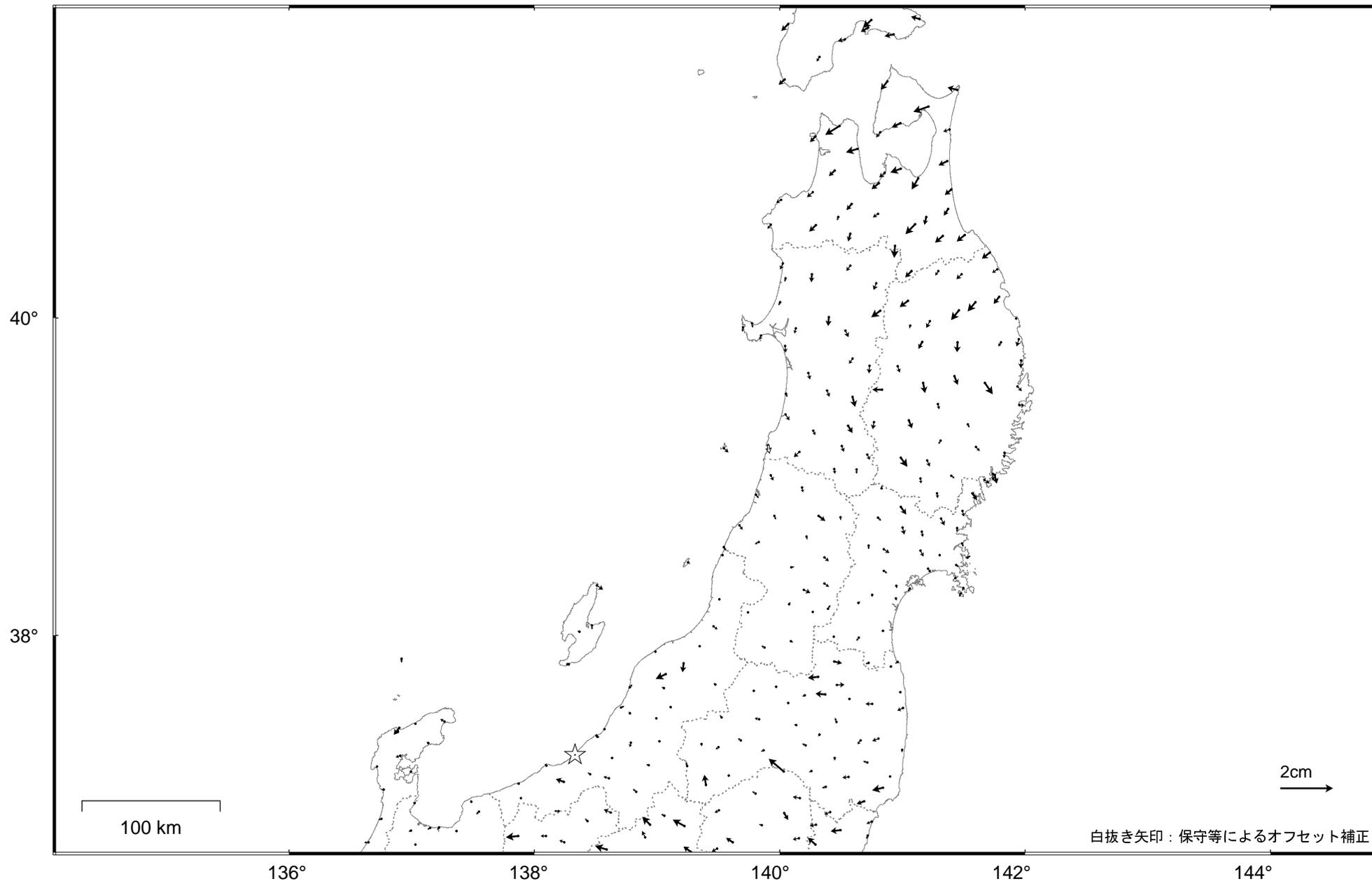
比較期間：2020/11/16 -- 2020/11/22 [R 3：速報解]



東北地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2020/10/16 -- 2020/10/22 [F3：最終解]

比較期間：2020/11/16 -- 2020/11/22 [R3：速報解]

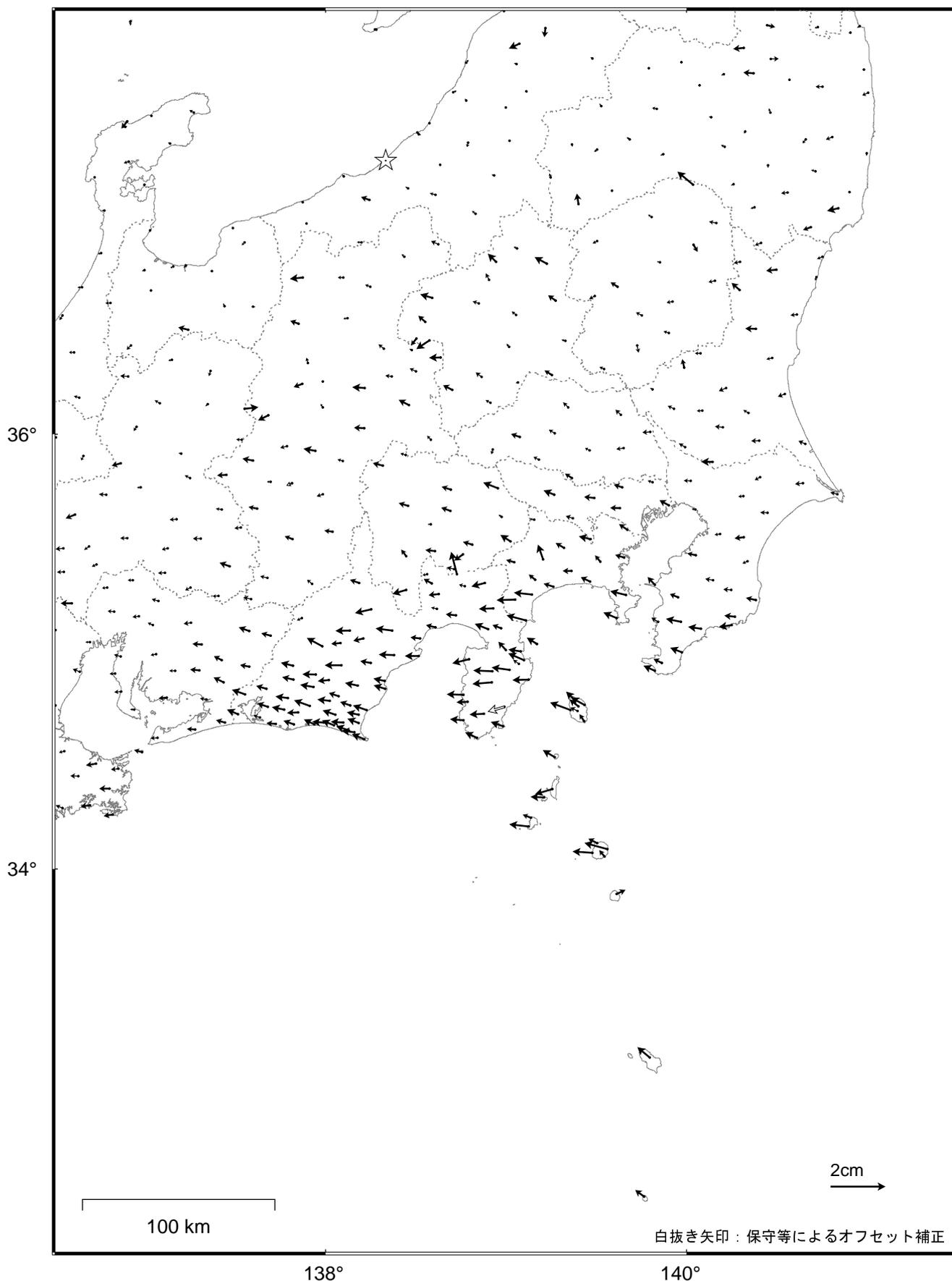


☆ 固定局：大湊（新潟県） ・ 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。

関東・中部地方の地殻変動（水平）－ 1 か月－

基準期間：2020/10/16 -- 2020/10/22 [F3：最終解]

比較期間：2020/11/16 -- 2020/11/22 [R3：速報解]

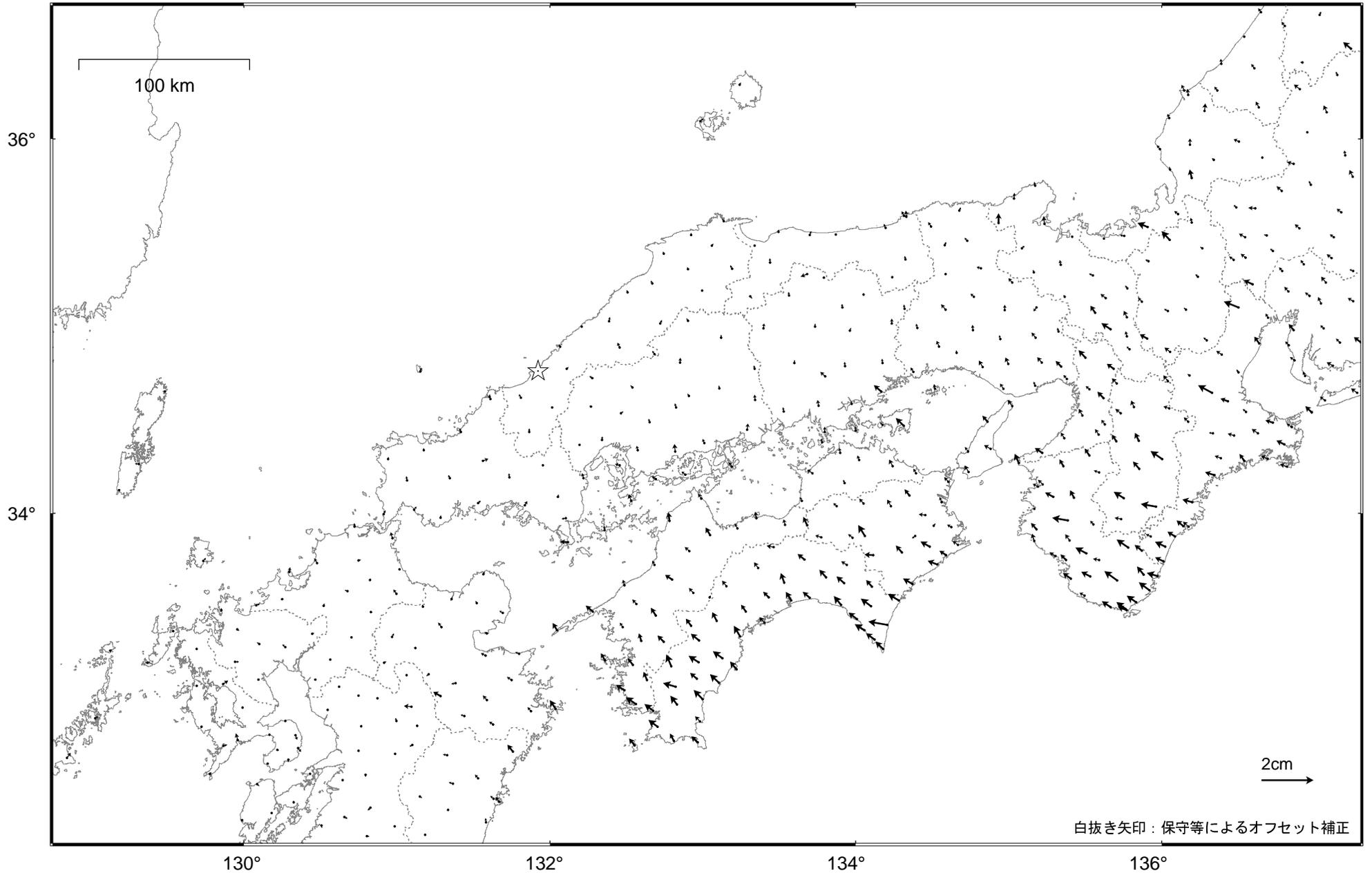


・ 特段の変化は見られない。

近畿・中国・四国地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2020/10/16 -- 2020/10/22 [F3：最終解]

比較期間：2020/11/16 -- 2020/11/22 [R3：速報解]

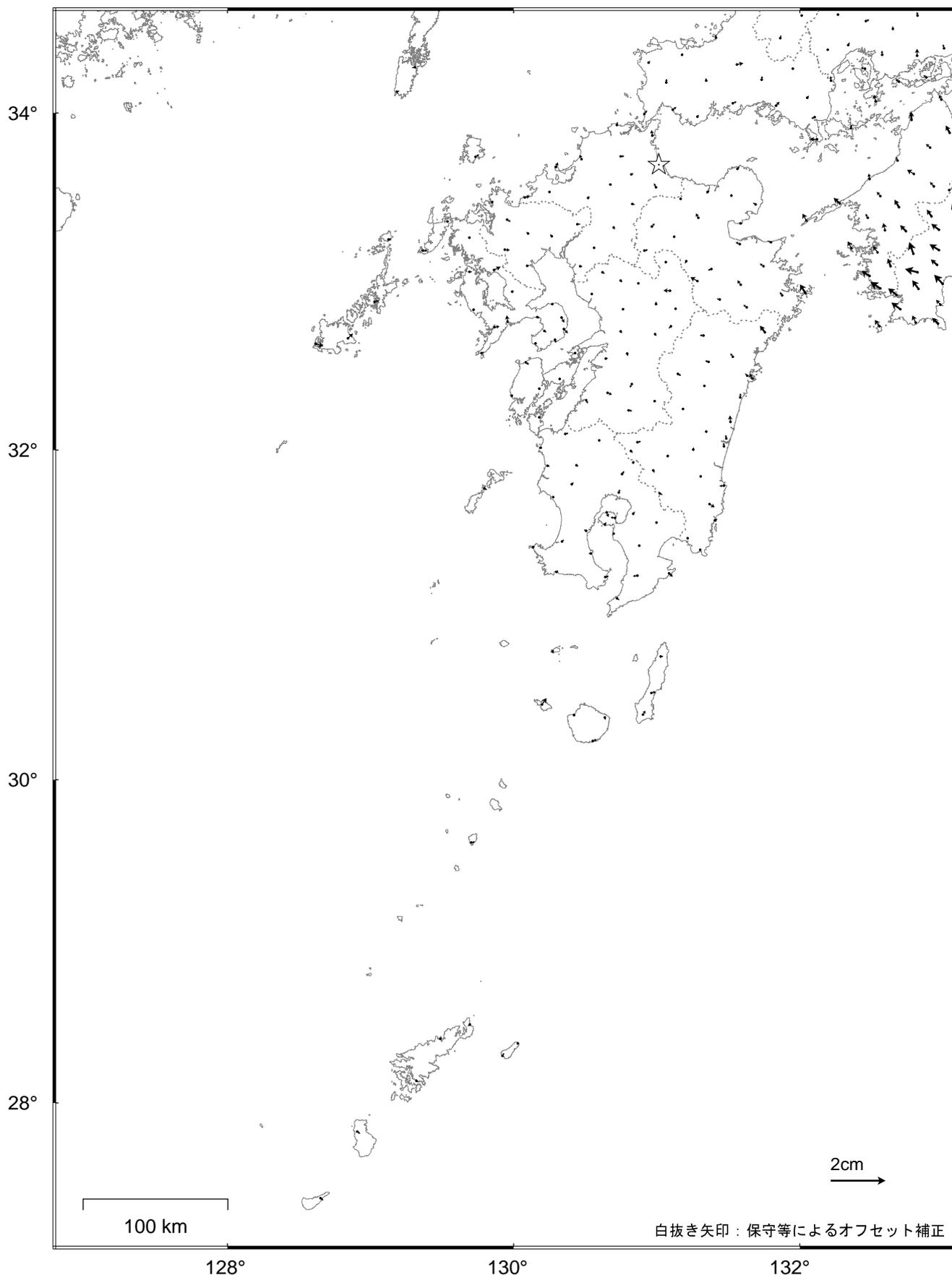


☆ 固定局：三隅（島根県） ・ 特段の変化は見られない。

九州地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2020/10/16 -- 2020/10/22 [F3：最終解]

比較期間：2020/11/16 -- 2020/11/22 [R3：速報解]



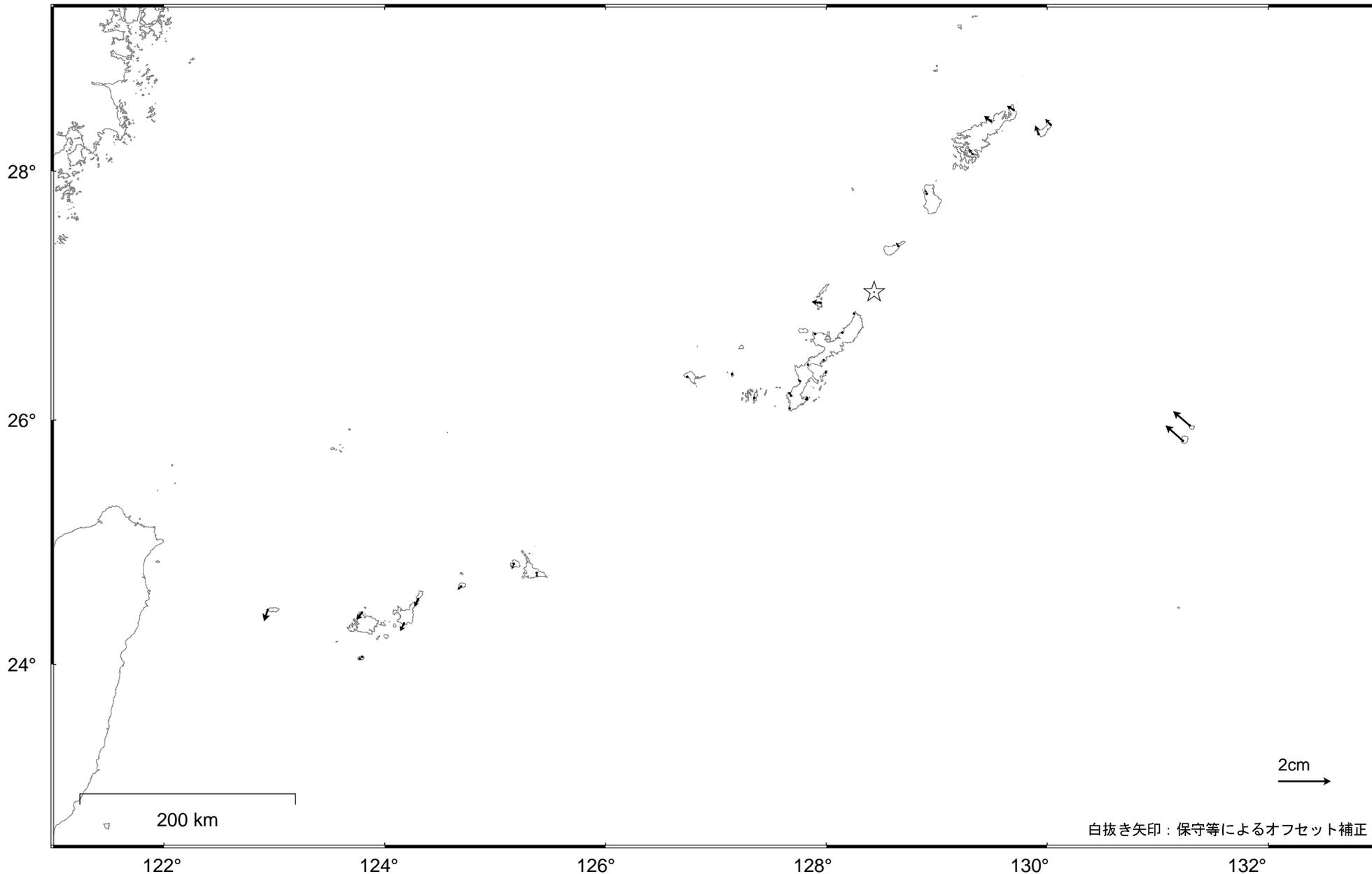
☆ 固定局：行橋（福岡県）

・ 特段の変化は見られない。

沖縄地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2020/10/16 -- 2020/10/22 [F3：最終解]

比較期間：2020/11/16 -- 2020/11/22 [R3：速報解]



☆ 固定局：与論（鹿兒島県）・特段の変化は見られない。

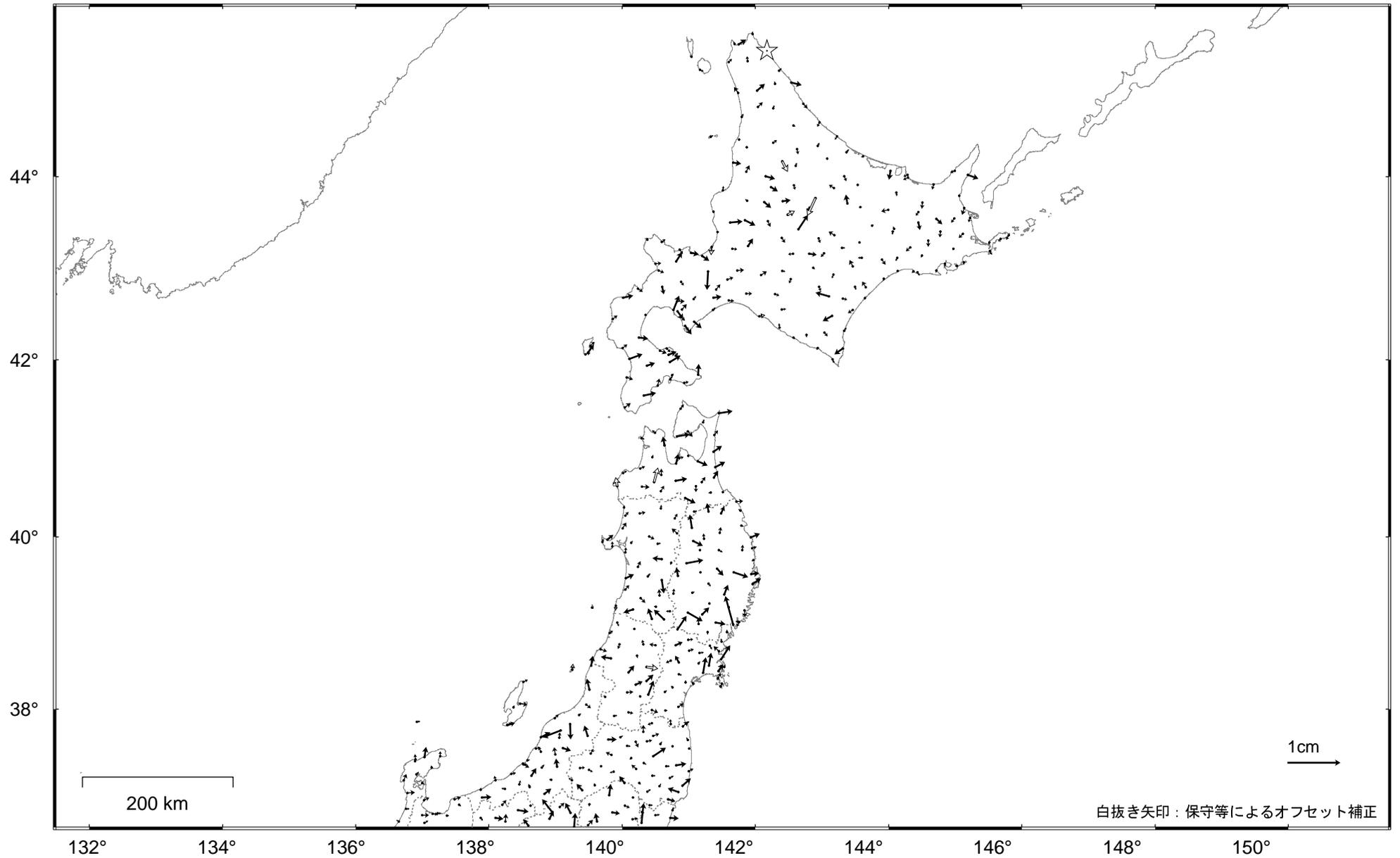
2期間の地殻水平変動ベクトルの差—1か月—

基準期間：2019/10/08 — 2019/10/22 [F3：最終解]

比較期間：2019/11/08 — 2019/11/22 [F3：最終解]

基準期間：2020/10/08 — 2020/10/22 [F3：最終解]

比較期間：2020/11/08 — 2020/11/22 [R3：速報解]



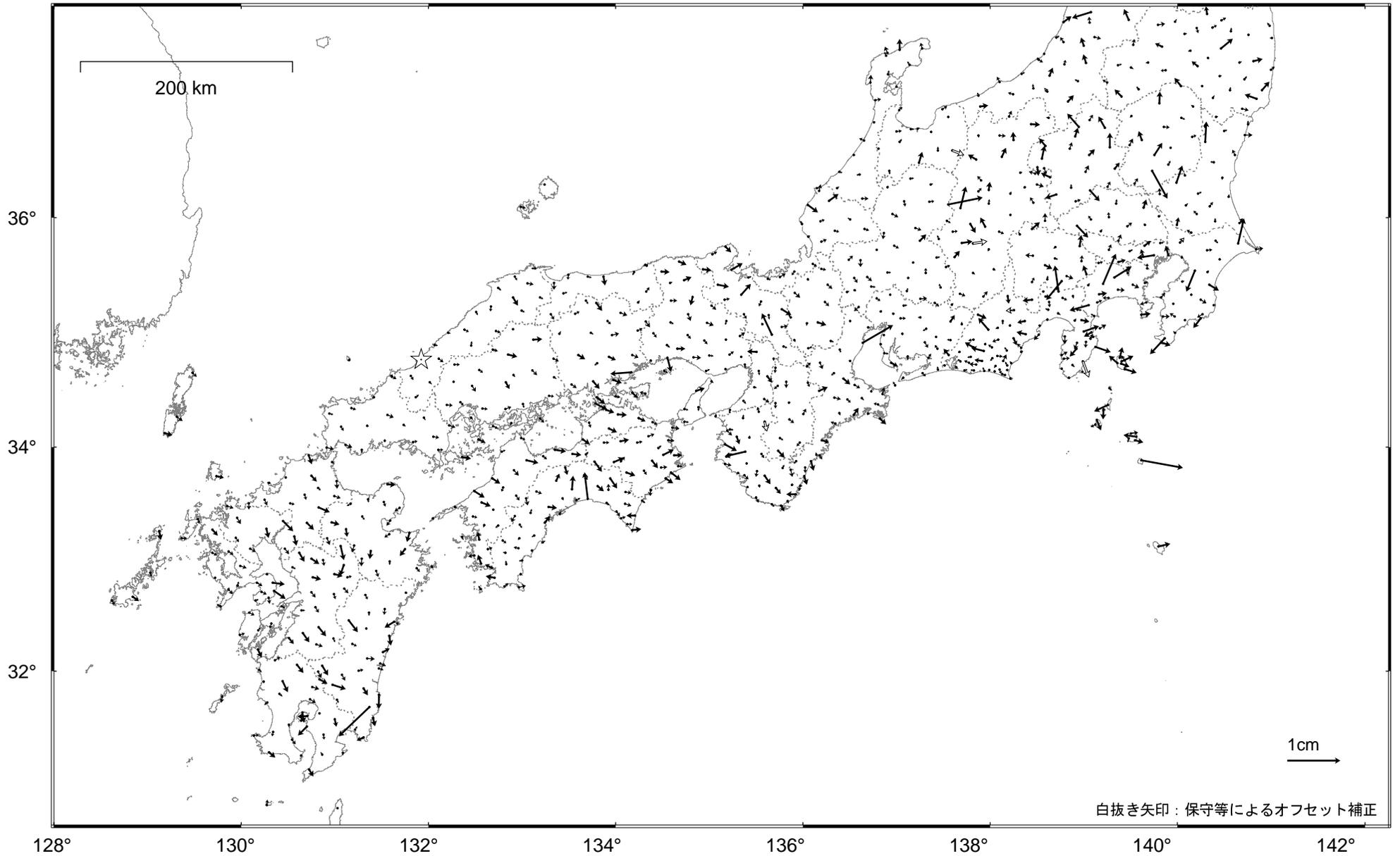
白抜き矢印：保守等によるオフセット補正

☆ 固定局：猿払（北海道） ・ 特段の変化は見られない。

2 期間の地殻水平変動ベクトルの差- 1 か月 -

基準期間 : 2019/10/08 — 2019/10/22 [F 3 : 最終解]
比較期間 : 2019/11/08 — 2019/11/22 [F 3 : 最終解]

基準期間 : 2020/10/08 — 2020/10/22 [F 3 : 最終解]
比較期間 : 2020/11/08 — 2020/11/22 [R 3 : 速報解]

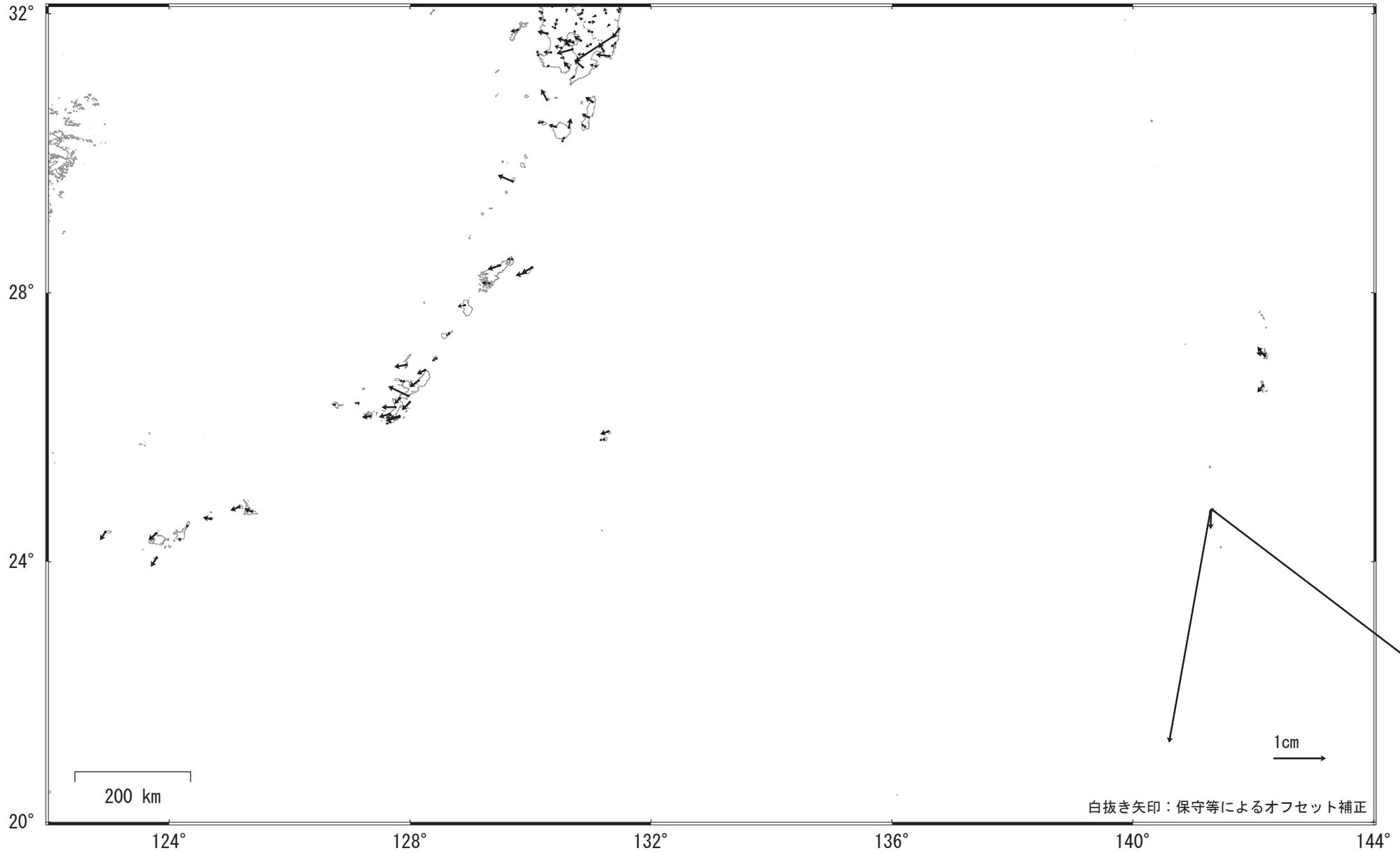


☆ 固定局 : 三隅 (島根県) ▪ 特段の変化は見られない.

2期間の地殻水平変動ベクトルの差－1か月－

基準期間：2019/10/08－2019/10/22 [F3：最終解]
比較期間：2019/11/08－2019/11/22 [F3：最終解]

基準期間：2020/10/08－2020/10/22 [F3：最終解]
比較期間：2020/11/08－2020/11/22 [R3：速報解]



☆ 固定局：福江（長崎県） ・硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。